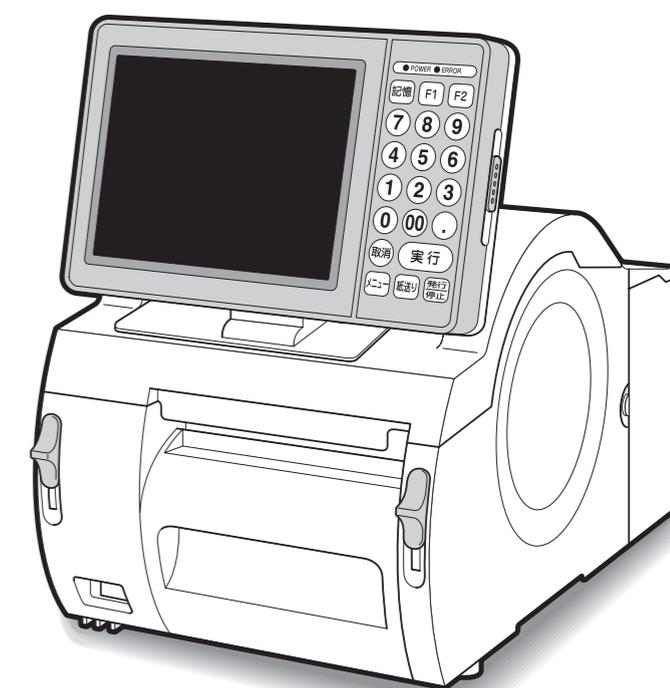


# TASSHA

## 取扱説明書

ラベルプリンタ TASSHA (FR410)

このたびは、当社ラベルプリンタTASSHA (FR410)をお買い求めいただきまして、ありがとうございます。本書は、はじめてTASSHA (FR410)をお使いになる方が、短期間で基本的な操作を習得していただくことを目的としています。本書をよくお読みいただき、TASSHA (FR410)の機能をフルに使いこなしてください。



取扱説明書 ラベルプリンタ TASSHA (FR410)

株式会社 サトー

**SATO**  
DCS & Labeling Worldwide  
株式会社 サトー



\*Q00739004\*



SIAAマークはJIS Z2801に適合し、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

## 他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

このマニュアルにおいて説明されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。ソフトウェアおよびマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約に基づき同意書記載の管理責任者のもとでのみ使用することができます。

それ以外の場合は該当ソフトウェア供給会社の承諾なしに無断で使用することはできません。

- ・本プリンタのフォントはリョービのビットマップフォントを搭載しています。

(C) 2003 RYOBI LIMITED

- ・本プリンタのCGTimes、CGTriumvirate、HG明朝、HGゴシックおよびUFSTは米国Agfa Monotype Corporation のフォントおよびフォントシステムを使用しています。

©Agfa Monotype Corporation. 2003 All rights reserved.

その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

# 目次

安全上のご注意	I
設置及び取扱い上の注意	IV

## 第1章 ご使用になる前に

◇ 箱から出しましょう	1
・添付品の確認	2
◇ 各部の名称	3
◇ 電源を入れてみましょう	6
・電源のセット	6
・電源を入れてみましょう	7
・あれ?おかしいな	7
・電源を切りましょう	7
◇ 用紙のセット	8
・ロール紙のセット	9
・ファンフォールド紙のセット	12
・ハクリ機能 用紙のセット	13
・厚紙使用の場合	16
◇ オプションタイプのセット	17
・ラベル内部巻取りタイプ	17
・カッタタイプ	19
・カッタ位置の調整	20
・カッタの交換	21
・セットしたら確認してください	21
・リボンのセット	22
・サーマルヘッドの交換	25
・COMPACT FLASHカードの着脱について	26
◇ オプションタイプについて	27
・オプションの種類	27
◇ 毎日のお手入れ	28

## 第2章 発行してみましょ

◇ 基本的な使いかた	30
◇ マスタテーブルを選択切り替えるときは	33
◇ レイアウトを選択切り替えるときは	34
◇ 品名キー以外のプリセットを発行するときは	35

◇ 複数のラベルをまとめて発行するときは	37
◇ プリンタの日付を一時変更するときは	38
◇ 発行動作を変更するときは	42
◇ 発行時の動作方法を設定したいとき	43

## 第3章 登録してみましょ

◇ 登録モードの種類	44
◇ マスタ・選択テーブル登録	44
・サンプルテーブル	45
・マスタテーブル登録	46
・選択テーブル登録	48
・マスタテーブルの基本フィールド設定	50
・マスタテーブルの特別フィールド設定	56
・マスタテーブルの特別フィールドリンク設定	65
・マスタテーブルの特別フィールド検索設定	72
・選択テーブルのフィールド設定	73
◇ マスタ・選択データ登録	77
・マスタデータ登録	77
・選択データ登録	81
◇ レイアウト登録	84
・レイアウト登録の概要	84
・マスタテーブルのフィールド指定	88
・計算機能を使用して販売価格 を印字するときは	104
・選択テーブルのフィールド指定	123
・テキストを選択した場合	129
・罫線・枠線を選択した場合	132
・グラフィックを選択した場合	133
・白黒反転を選択した場合	135

## 第4章 プリンタを使いこなす

◇ 文字の入力について	136
・原材料ビタミン表示の仕方	143
・単語テーブル(マスタデータ入力時)	144
・単語テーブル選択画面(マスタデータ入力時)	146
◇ 履歴を出力するときは	147

◇ 環境設定	151
・ 環境設定の種類	151
・ プリンタ設定	151
・ カレンダ設定	156
・ カードメンテナンス	156
・ 起動画面設定	159
・ データメンテナンス	159
・ 発行画面設定	164
・ パスワード設定	166
◇ スケジュール発行について	167
◇ スケジュール登録	169
◇ バーコード検索発行について	172
◇ オンライン発行について	173
◇ 登録したグラフィックデータを 表示するときは	174
◇ 文字の配置を変えて 印字するときは	176
◇ プリンタの設定(ユーザーモード)	178
・ 印字濃度の微調整	178
・ 印字位置の微調整	178
・ ヘッドチェックの範囲選択	179
◇ 単語テーブル登録	181
◇ 登録した単語テーブルデータを 番号検索するときは	183
◇ 登録した単語テーブルデータを 省略名検索するときは	185
◇ FTPクライアント機能について	187

## 第5章 付録.....208

◇ あれ? どうしたかな?	208
◇ 単語テーブルデータ一覧表	217
・ 添加物テーブル	217
・ 単位テーブル	223
・ 項目テーブル	223
◇ 基本仕様	224
◇ アフターフォローについて	227
◇ 早見表(登録のしかた)	229
◇ 早見表(発行のしかた)	230



# 安全上のご注意

本章では、プリンタのご使用時における安全について記載しております。  
プリンタをご使用になる前に必ずよくお読みください。

## ▲絵表示について

この取扱説明書やプリンタの表示では、プリンタを安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への被害や財産への被害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解して、本文をお読みください。



**警告**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 表示の例



△ 記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘ 記号は「してはいけないこと」を意味しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は「しなければならないこと」を意味しています。図の中に具体的な内容指示（左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜いてください。）が描かれています。

## 警告

### ■不安定な場所に置かない



•ぐらついた台の上や傾いた所、振動のある場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、ケガの原因になります。

### ■水などの入った容器を置かない



•プリンタの周辺に花ビン、コップなど水や薬品の入った容器や小さな金属物を置かないでください。万一、こぼしたり、中に入った場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラー又はサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



### ■内部に異物を入れない



•プリンタの開口部（ケーブルの出口やメモ리카ード取付口など）から金属物や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。万一、内部に異物が入った場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラー又はサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。



### ■指定以外の電圧は使用しない



•指定された電源電圧（AC100V）以外は、使用しないでください。火災・感電の原因になります。

## ⚠ 警告

### ■必ずアース線を接続して



- 必ずプリンタのアース線をアースへ接続してください。アース線を接続しないと感電の原因になります。



### ■電源コードの取り扱いについて



- 電源コードを傷つけたり、破損、加工したりしないでください。又、重いものを乗せたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店、ディーラー又はサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。



- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

### ■落としたり、破損したときは



- プリンタを落としたり、破損した場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラー又はサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。



### ■異常な状態で使用しない



- 万一、プリンタから煙がでて、変な臭いがするなどの異常が発生したまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラー又はサポートセンターに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。



### ■分解しないでください



- プリンタの分解や改造をしないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店、ディーラー又はサポートセンターにご依頼ください。



### ■カッタについて



- カッタに手やものを入れないでください。ケガをする恐れがあります。

### ■ヘッド清掃液の取り扱いについて



- ヘッド清掃液は、火気厳禁です。加熱したり、火の中に放り込むことは、絶対に行わないでください。



- お子様が間違っって飲み込まないように手の届かないところに保管してください。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医者と相談してください。

## ⚠ 注意

### ■湿度が高い場所に置かない



- プリンタを湿度の高い場所、結露する場所に置かないでください。結露した場合は、速やかに電源スイッチを切り、乾くまで使用しないでください。結露したまま使用すると、感電の原因となります。

### ■持ち運び



- 移動されるときは、必ず電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜き、外部との接続線を外したことを確認の上、行ってください。外さないまま移動すると、コード、接続線が傷つき火災・感電の原因になります。



- 用紙をセットしたまま、プリンタを持ち運ばないでください。用紙が落ち、ケガをする恐れがあります。



- プリンタを床や台の上などに置く場合、プリンタの足に指や手を挟まないように注意してください。
- ディスプレイ部を持って運ばないでください。

## ⚠ 注意

### ■電源



- 濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電する恐れがあります。

### ■電源コード



- 電源コードに熱器具を近付けないでください。熱器具を近付けた場合電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因になります。



- 電源コードをコンセントから抜くときは、必ず、プラグを持って抜いてください。電源コードを持って抜いた場合芯線の露出や断線し、火災・感電の原因になることがあります。



- 本プリンタに付属の電源コードセットは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

### ■カバー



- カバーの開閉には、指を挟まないように注意して行ってください。又、カバーが滑り落ちないようにしっかりと持って行ってください。

### ■サーマルヘッド



- 印字後のサーマルヘッドは、高い温度になっています。印字直後の用紙の交換、清掃は、火傷をしないように注意して行ってください。



- サーマルヘッドの端を素手で触るとケガをする恐れがあります。用紙の交換、清掃は、ケガをしないように注意して行ってください。
- サーマルヘッドの交換は、ケガ、火傷及び感電の恐れがありますので注意して行ってください。

### ■サーマルヘッドの開閉



- サーマルヘッドの開閉には、用紙以外の異物を挟まないように注意して行ってください。ケガ、破損の原因になることがあります。

### ■用紙のセット



- ロール紙をセットするとき、用紙と供給部の間に指を挟まないように注意して行ってください。



- 用紙確認窓を外すとき、ケガをしないように注意して行ってください。

### ■簡易カッタ



- 刃物の構造をしています。手を切らぬように注意してください。

### ■長期間ご使用にならないとき



- プリンタを長期間ご使用にならないときは、安全のため電源コードの抜き差しプラグをコンセントから抜いてください。

### ■お手入れ・清掃のとき



- プリンタのお手入れや清掃を行うときは、安全のため電源コードの抜き差しプラグをコンセントから抜いてから行ってください。

### ■コイン型リチウム1次電池について

- 使用済みのリチウム1次電池は、+/-の両極をテープでシールする等の絶縁処理を行い、産業廃棄物業者に委託してください。

## ご 注 意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、購入されました販売店ディーラーへご連絡ください。
- (4) この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると受信障害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

# 設置及び取り扱い上の注意

つぎのことに注意して、設置、取り扱いをおこなってください。

## ▲設置場所について

つぎのことに注意して、本機を設置してください。

### 水平な場所に置いて

設置する場所が、でこぼこや斜めの場合、きれいな印字ができません。また、故障の原因になり、プリンタの寿命を短くする恐れがあります。



### 振動のある場所はやめて

振動のある場所には設置しないでください。また、ロール紙をセットしたままプリンタを運んだり、大きな振動を与えないでください。



### 高温・多湿に注意して

温度・湿度が高くなる場所に設置しないでください。

温度・湿度が高くなりますと故障の原因になります。



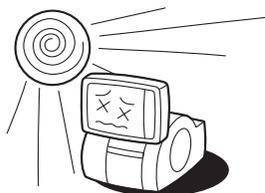
### ほこりを避けて

ほこりがつくときれいに印字できなくなることがあります。また、故障の原因になるだけでなく、製品の寿命を短くする恐れがあります。

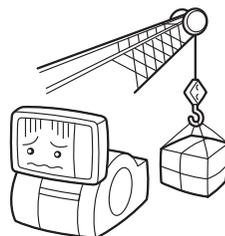


### 直射日光はきらいです

本機は光学センサを内蔵していますので、直射日光が当たるとセンサが誤作動を起こすことがあります。印字するときには必ずカバーを閉じてください。

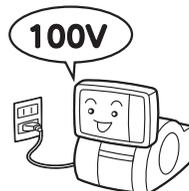


クレーンやプレス機などのそばには置かないでクレーンやプレス機など大容量の電気を使う機器は、電気ノイズや電源の電圧低下を起こす原因になります。本機の誤動作や故障のもとになりますので、これらの機器のそばに本機を置かないでください。



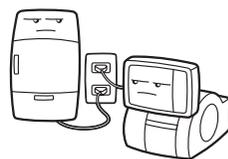
## ▲電源について

本機は、AC100Vの交流電源が必要です。



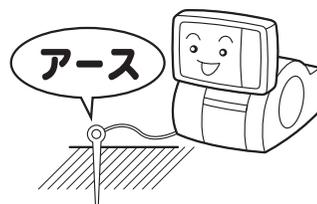
電圧の低下などの変動が少ない電源から電気を供給してください。

ヒーターや冷蔵庫などの消費電力の大きい電気製品と同じ電源や、その近くの電源から電気を供給しないでください。電源の電圧の低下などにより誤動作を起こすことがあります。



必ずアース線を接続してください。

アース設備がない場合は、アース設備工事をおこなってください。

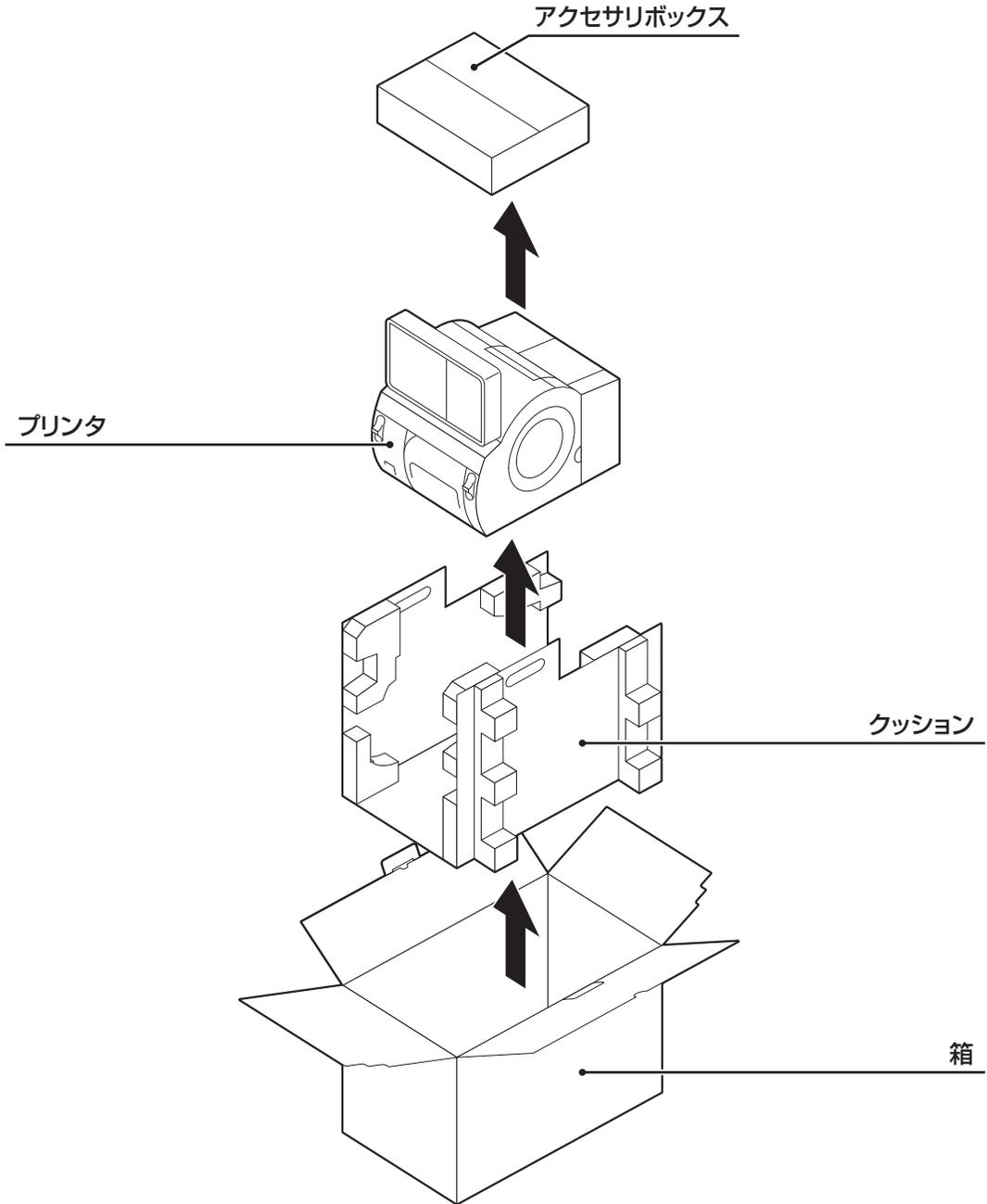


# 箱から出しましょう

本機を箱から出して設置します。  
それでは箱を開けましょう。

第1章

ご使用になる前に



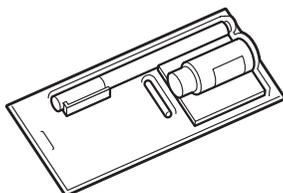
※緩衝材(プリンタ押えのクッション)の形状が一部異なる場合があります。

## 添付品の確認

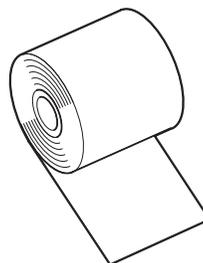
箱を開けたら、つぎの添付品が揃っているか確認してください。  
もし、足りないものがありましたら、購入されました販売店・ディーラーまでお問い合わせください。



保証書



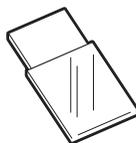
クリーニングセット



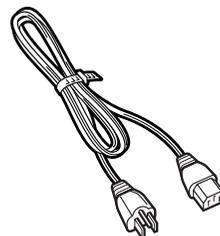
テスト用ロール紙



メンテナンス案内書  
サービスネットワーク



ヘッドクリーニングシート  
(ラッピングシート)



電源コード

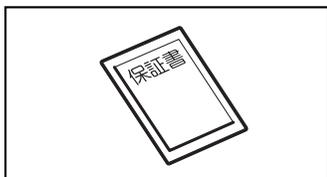


取扱説明書

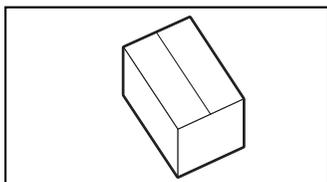


2極アダプタ

### ▲保証書と箱は大切に



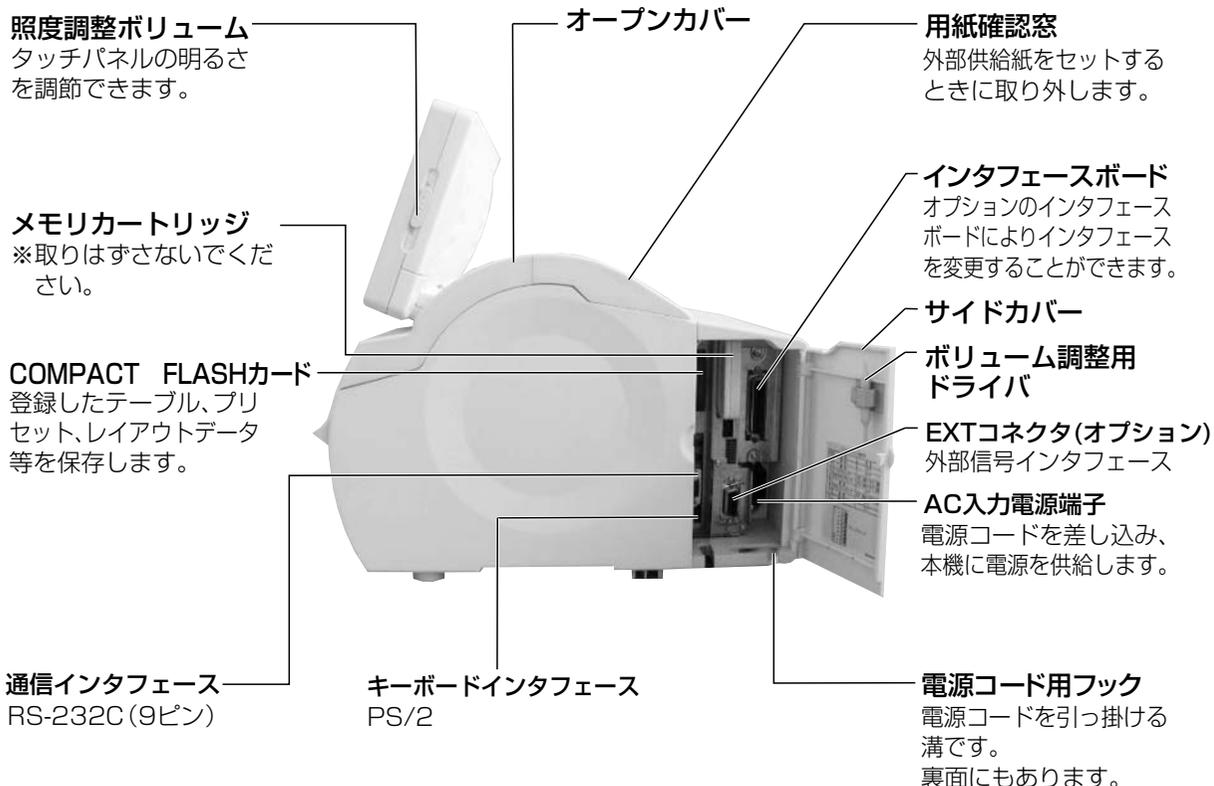
本機は、正常なご使用のもとにおける故障については、納入日より6カ月間を保証期間として無償修理いたします。修理をご依頼いただくとき、添付の保証書によるユーザー登録が必要です。保証書は大切に保管してください。万一、保証書を紛失されたときは、修理が有償となりますのでご了承ください。



また、本機を梱包していた箱とプリンタ押え（緩衝材）も保管してください。修理をご依頼いただくときに、この箱に本機を梱包して送っていただけます。

# 各部の名称

## ▲プリンタ本体



## ▲ヘッド部

### サーマルヘッド(消耗部品)

用紙に印字する部品です。  
定期的にお手入れしましょう。

### オープンカバー

用紙をセットするときは、この部分を開けます。

### ヘッドガイド

※厚紙使用の場合は左右を入れ替えます。  
(詳細は「厚紙使用の場合」を参照してください。→16ページ)

### 用紙ガイド

ロール紙を使用する場合にはこの部分に入れます。  
用紙サイズに合わせて幅を調節してください。

### 用紙センサ

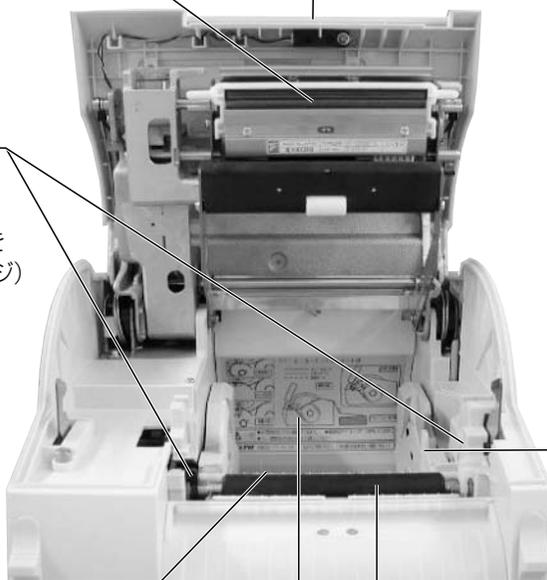
ここに用紙を通します。  
ラベルの位置を検知するものです。  
定期的にお手入れしましょう。

### 説明シール

用紙ルートを説明しています。

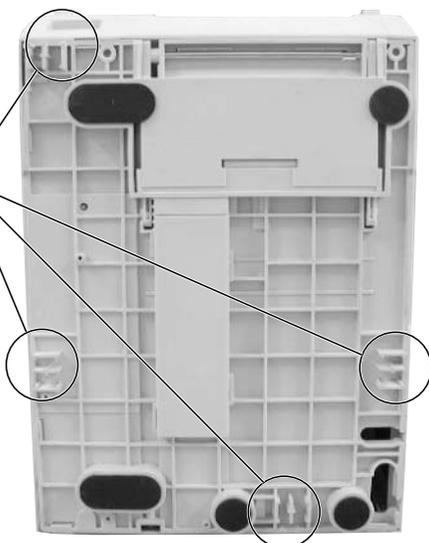
### プラテンローラ(消耗部品)

用紙を送る部分です。  
定期的にお手入れしましょう。

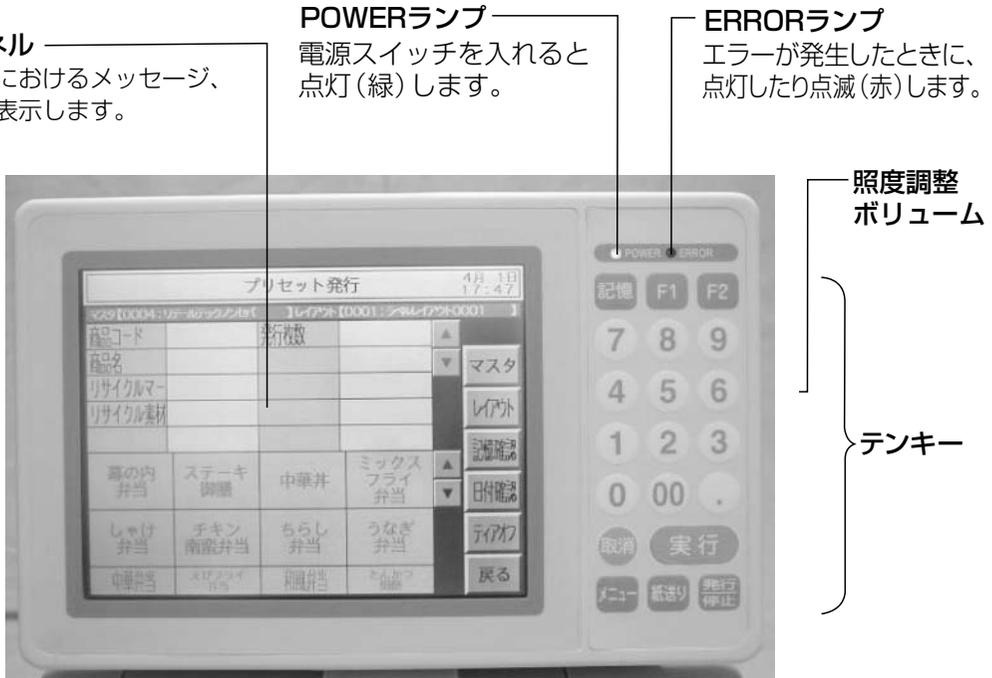


### 裏面電源コード用フック

各方向へ電源コードを引き出せるフックです。溝を使ってお好みの方向に引き出してください。



## ▲ディスプレイ部



**タッチパネル**  
各種モードにおけるメッセージ、操作キーを表示します。

**POWERランプ**  
電源スイッチを入れると点灯(緑)します。

**ERRORランプ**  
エラーが発生したときに、点灯したり点滅(赤)します。

照度調整  
ボリューム

テンキー

## テンキー

- 数字(「00」、「0」～「9」)……数値を入力するときに使用します。
- 点(「.」) ……小数点を入力するときに使用します。
- 取消 ……入力しているデータを消去します。
- 実行 ……入力しているデータを実行します。
- 記憶 ……プリセットの記憶を行います。
- メニュー ……メニュー画面に戻ります。
- 紙送り ……用紙1枚分を送り出します。
- 発行/停止 ……発行の開始と一時停止を行うときに使用します。
- F1 ……発行時ユーザーモードに切り替えるときに使用します。
- F2 ……ファンクションキー(使用しません。)

### ⚠ 注意

保護シートを剥がしてからご使用ください。

タッチパネル表面には、輸送時における傷付着を防ぐために保護シートが貼り付けてあります。シートを剥がしてからご使用ください。

# 電源を入れてみましょう

用紙のセットが終わったら、電源コードのセット手順を説明します。

## 電源のセット

設置が終わったら、つぎのように電源をセットします。

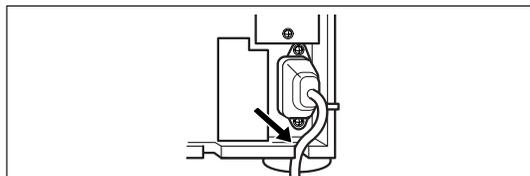
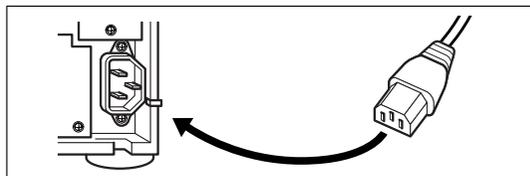
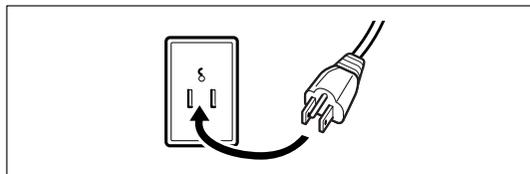
### ▲電源コードとコンセント

添付の電源コードのプラグの形は、イラストのように3極タイプになっています。

3極タイプのコンセントは3本の足のうち1本がアース用です。

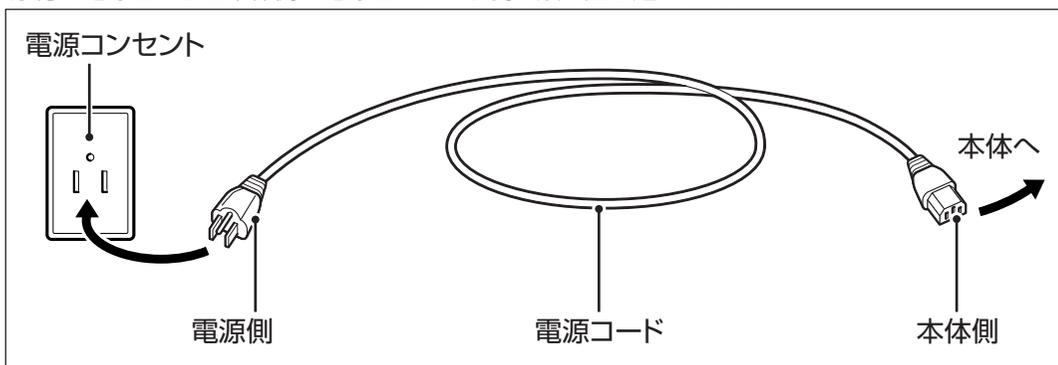
電源コンセントが3極のときは、そのまま電源コードを差し込んでください。

電源コードのコンセントを差し込むときは、コンセントの上下を確認してください。



電源コードをフックに通して下から出してください。

添付の電源コードを本体側、電源コンセント側の順に差し込みます。

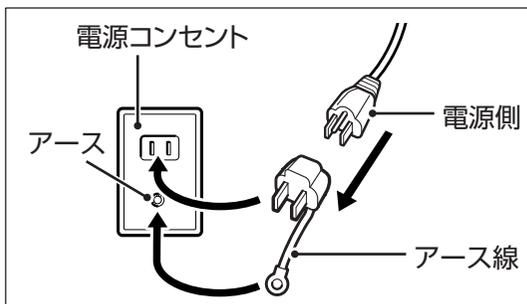


電源コンセントが2極タイプのときは、添付の2極アダプタを使い電源コンセントに差し込んでください。



**警告**

必ずアース線をアースに接続してください。アース線を接続しないと感電の原因となります。



**注意**

- 本プリンタに付属の電源コードセットは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

## 電源を入れてみましょう

本機正面の電源スイッチを入れます。「|」と書いてある側を押してください。



電源スイッチを入れるとPOWERランプが点灯し、タッチパネルにオープニング画面が表示されます。その画面にタッチすると通常モード画面に切り替ります。

オープニング画面で表示するカレンダーの日付や時間に大きなずれがないかを確認してください。



### 注意

濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。  
感電する恐れがあります。

## あれ？おかしいな

今までおこなった準備が正しくできていないときは、タッチパネル画面が正常に表示しません。準備が正しくできていないときは、タッチパネル画面にメッセージが表示されます。メッセージが表示されたときは（詳細は「あれ？どうしたのかな？」を参照してください。→208ページ）、準備をし直してください。

## 電源を切りましょう

本機が正常に動いたことを確認したら、電源を切ってみましょう。

「○」と書いてある側を押してください。いきなり電源を切らないで、電源を切ってもよいかつぎのことを確認しましょう。

### ▲電源を切る前に確認してください

ラベル発行中か？

オンライン発行時データ受信中か？

メモリカードにデータ保存中か？

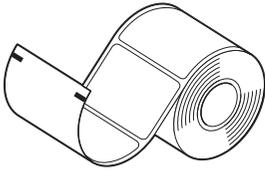
上記の動作中には、終了したことを確認してから電源を切ってください。

# 用紙のセット

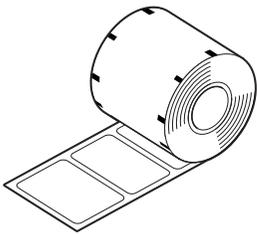
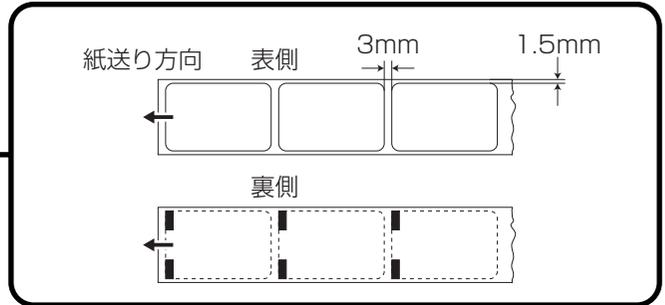
本機はロール紙・ファンフォールド紙の用紙に印字することができます。  
ロール紙とファンフォールド紙では、用紙のセットのしかたがちがいます。  
本機は、アイマークをセンサで検知することにより、適切な印字を行います。

本機用の紙は、当社純正品をお使いください。  
規格以外の用紙は使用しないでください。

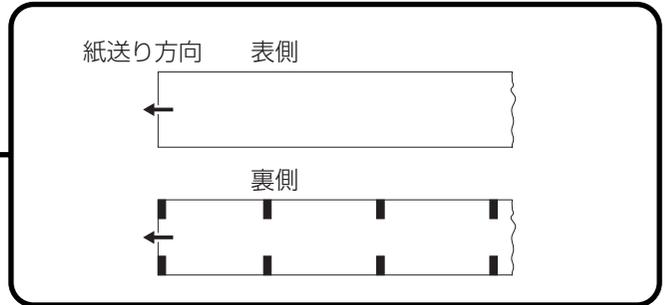
## ロール紙



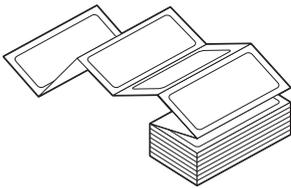
カストリ紙



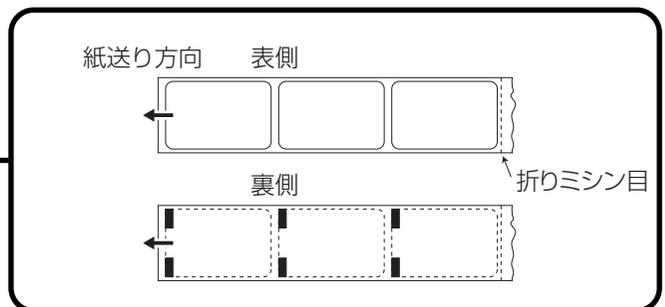
厚紙



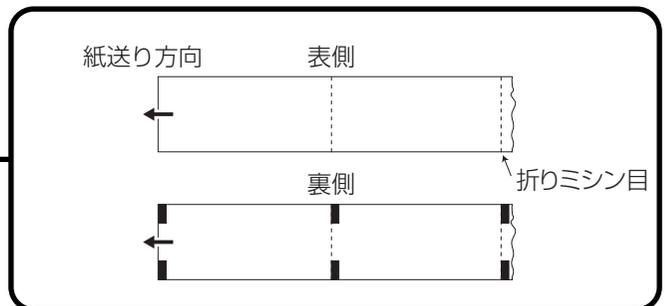
## ファンフォールド紙



カストリ紙



厚紙



### 注意

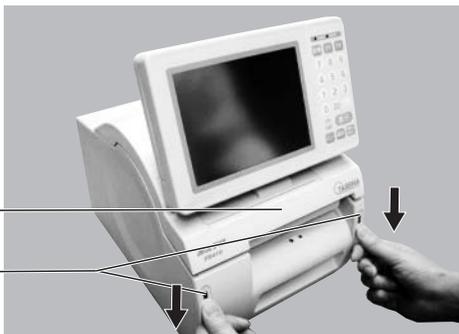
- 用紙の交換を行う場合は、電源をONの状態でご交換してください。

## ロール紙のセット

1

本体左右のオープンレバーを押し下げ、オープンカバーのロックを解除します。

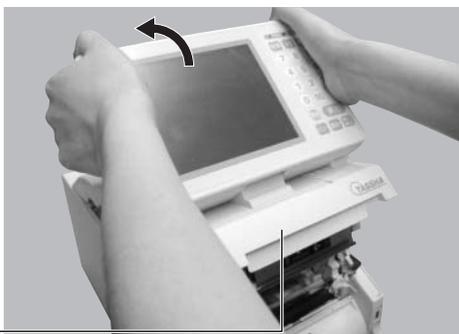
オープンカバー  
オープンレバー



2

ディスプレイ上面および背面のグリップ部を両手で持ち、オープンカバーを開けます。

オープンカバー

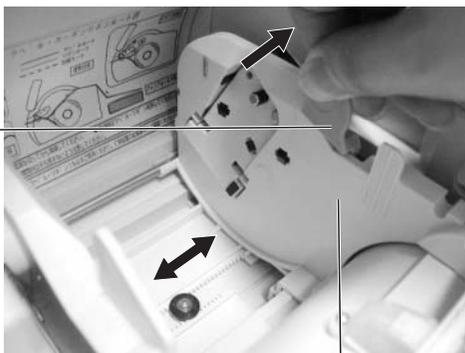


3

用紙をそえて、用紙ガイドレバーを押しながら、用紙のサイズに合わせて、用紙ガイドを調節します。

用紙ガイドレバー

用紙ガイド



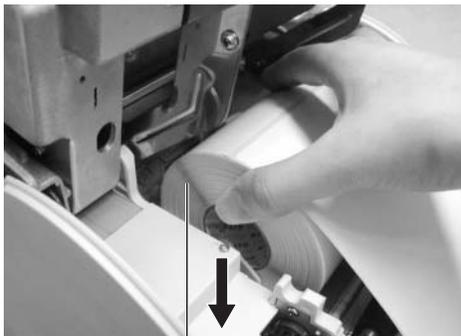
### 注意

- 印字終了直後のサーマルヘッドとその付近は、高い温度になっています。印字直後の用紙の交換は、火傷しないように注意して行ってください。
- サーマルヘッドの端に素手で触れるとケガする恐れがあります。用紙交換は、ケガをしないように注意して行ってください。
- ディスプレイ部の分解や改造をしないでください。火災、感電の原因となります。

4

用紙を用紙ガイドにセットします。

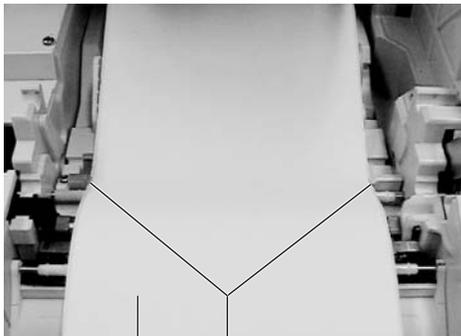
※用紙の紙管が用紙ガイドのピンにかかることを確認してください。用紙残量の少ないロール紙をセットする場合、用紙ガイドのピンがかかりにくいので、用紙ガイドを広げ、ピンを立ててからロール紙をセットしてください。



用紙

5

用紙を引き出した後、用紙の両端を用紙ガイドの爪の下に通します。



用紙

用紙ガイドの爪

6

オープンカバーを閉じます。このとき、ディスプレイ上面および背面のグリップ部を持ち、左右がカチッと音がするまでしっかりと閉じてください。



**注意**

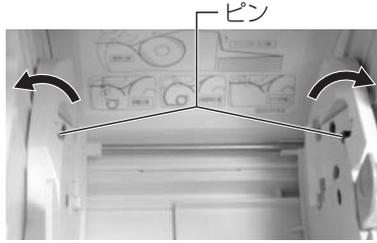
オープンカバーを閉めるときは、オープンカバーに指をはさまないように注意して行ってください。

**注意**

**ロール紙をセットする際のお願い①**

用紙ガイド部に用紙がない状態では、通常ピンは右写真のように用紙ガイドの中に倒れて隠れています。

下図左写真のようにピンが起きた状態ですと、用紙がセットし難しくなります。その場合には下図右写真のようにピンを指で持ち上げて、ピンが倒れた状態にしてから、ロール紙をセットしてください。



ピンが倒れている状態



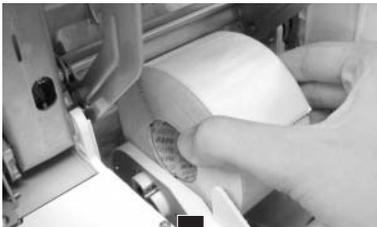
ピンが起きている状態



**ロール紙をセットする際のお願い②**

右写真のように、ロール紙は転がして入れると正しくセットされません。ロール紙をセットする際は左写真のように、手を添えてラベルの紙管が用紙ガイドのピンに確実に入るようにセットしてください。

〈良い例〉



用紙ガイドのピンが紙管に入った状態



〈悪い例〉



用紙ガイドのピンが紙管に入っていない状態



用紙ガイドのピン

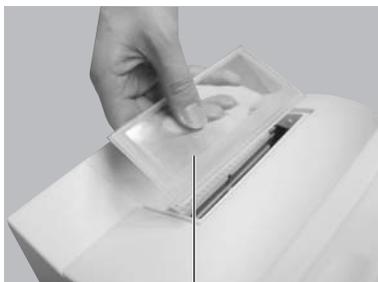
## ファンフォールド紙のセット

**1**

本体左右のオープンレバーを押し下げ、オープンカバーのロックを解除し、オープンカバーを開けます。  
ロール紙のセットの1~2項を行います。

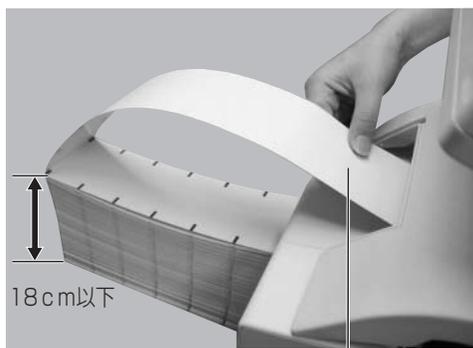
**2**

用紙確認窓を取り外して、用紙を通します。



用紙確認窓

ファンフォールド紙の積み高さは18cm以下にしてください。



18cm以下

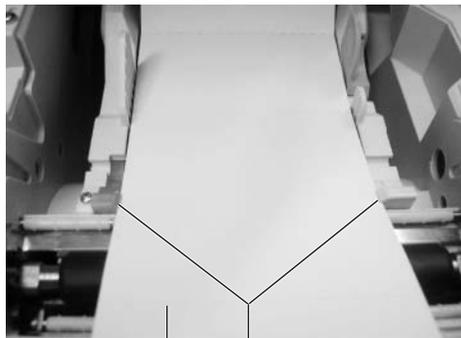
用紙

**3**

用紙ガイドレバーを押しながら、用紙サイズに合わせて、用紙ガイドを調節します。  
ロール紙のセットの3項を行います。

**4**

用紙を引き出した後、用紙の両端を用紙ガイドの爪の下に通します。



用紙

用紙ガイドの爪

5

オープンカバーを閉じます。  
このとき、ディスプレイ上面および背面のグリップ部を持ち、左右がカチッと音がするまでしっかり閉じてください。



**注意**

オープンカバーを閉めるときは、オープンカバーに指をはさまないように注意して行ってください。



**注意**

- 印字終了直後のサーマルヘッドとその付近は、高い温度になっています。印字直後の用紙の交換は、火傷しないように注意して行ってください。
- サーマルヘッドの端に素手で触れるとケガする恐れがあります。用紙交換は、ケガをしないように注意して行ってください。
- ディスプレイ部の分解や改造をしないでください。火災、感電の原因となります。

## ハクリ機能 用紙のセット

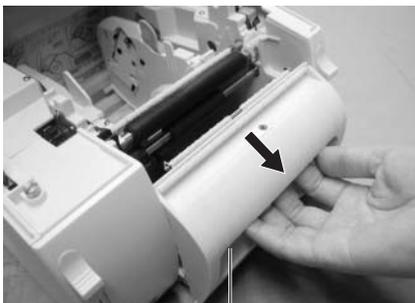
1

本体左右のオープンレバーを押し下げ、オープンカバーのロックを解除し、ディスプレイ上面および背面のグリップ部を両手で持ち、オープンカバーを開けます。ロール紙のセットの1~2項を行います。

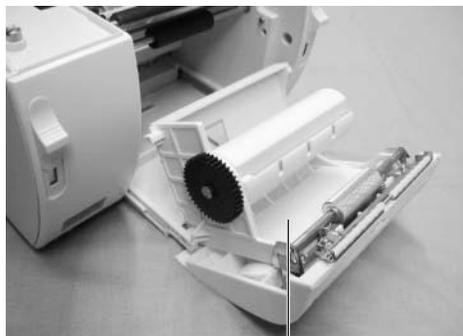
2

フロントカバー内のロックレバーを引き、ハクリユニット全体を引き出します。

約8cm引き出すと手前に回転して台紙をセット(交換)できる状態になります。



フロントカバー(ロックレバー)



ハクリユニット

**3**

用紙ガイドレバーを押しながら、用紙のサイズに合わせて、用紙ガイドを調節します。ロール紙のセットの3項を行います。

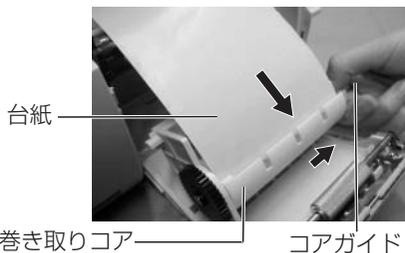
**4**

用紙を用紙ガイドにセットします。ロール紙のセットの4項を行います。



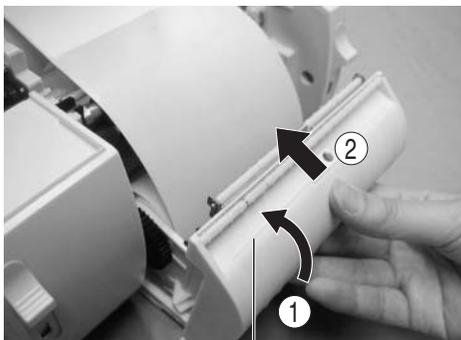
**5**

用紙を引き出した後、用紙の先端から約8cmのラベルをはがし、コアガイドを引っ張り、台紙を巻き取りコアとコアガイドの間に入れ、コアガイドを戻して、台紙をはさみます。



**6**

ハクリユニットを起こして本体に戻します。



ハクリユニット

7

用紙の両端を用紙ガイドの爪の下に通します。

用紙ガイド



用紙

8

オープンカバーを閉じます。  
このとき、ディスプレイ上面および背面のグリップ部を持ち、左右がカチッと音がするまでしっかり閉じてください。



**注意**

オープンカバーを閉めるときは、オープンカバーに指をはさまないように注意して行ってください。



**注意**

- 印字終了直後のサーマルヘッドとその付近は、高い温度になっています。印字直後の用紙の交換は、火傷しないように注意して行ってください。
- サーマルヘッドの端に素手で触れるとケガする恐れがあります。用紙交換は、ケガをしないように注意して行ってください。
- ディスプレイ部の分解や改造をしないでください。火災、感電の原因となります。

### ▲台紙の取り除き方

巻き取った台紙を持って、コアガイドを引っ張り、その状態のままコアガイドを2~3回、回します。  
ラベル1巻ごとに巻き取った台紙を必ず取り除いてください。



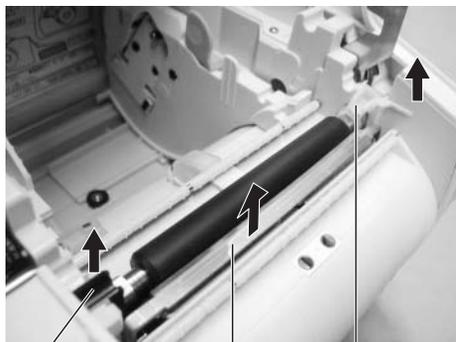
台紙 — コアガイド

## 厚紙使用の場合

厚紙とは紙厚が0.22mmを超える用紙をいいます。

- ① オープンカバーを開けた後、ハクリバーを矢印の方向に回してプラテンローラと固定しているヘッドガイドを上側に引き抜きます。
- ② ヘッドガイドを外した後、ハクリバーを元に戻します。
- ③ ヘッドガイドの左右を入れ替えて、再度プラテンローラの軸受けに取付けます。

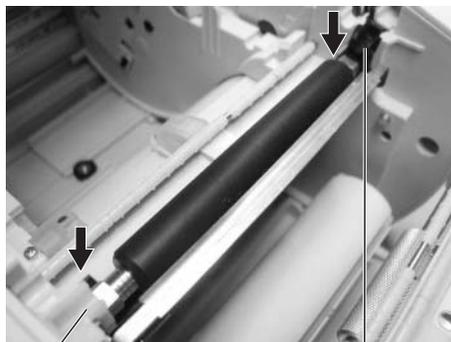
〈通常の場合〉



ヘッドガイド(紫色)    ヘッドガイド(白色)  
ハクリバー

1. 左右のヘッドガイドをそれぞれ引き抜きます。

〈厚紙使用の場合〉



ヘッドガイド(白色)    ヘッドガイド(紫色)

2. ヘッドガイドの左右を入れ替えます。

# オプションタイプのセット

## ラベル内部巻取りタイプ (工場オプション)

### ▲用紙のセット

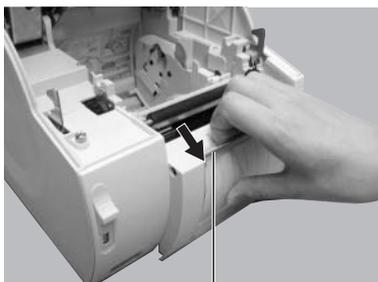
1

本体左右のオープンレバーを押し下げ、オープンカバーのロックを解除し、オープンカバーを開けます。  
ロール紙のセットの1~2項を行います。

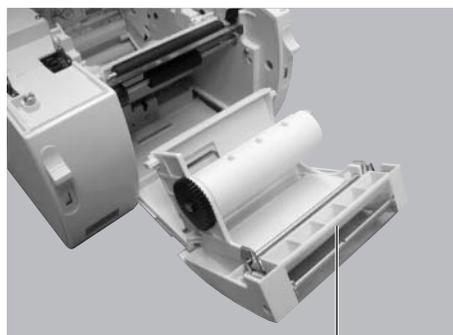
2

内部巻取りユニットのガイドカバー (透明部分) 上部を持って引き、内部巻取りユニット全体を引き出します。

約8cm引き出すと手前に回転して用紙をセット (交換) できる状態になります。



ガイドカバー



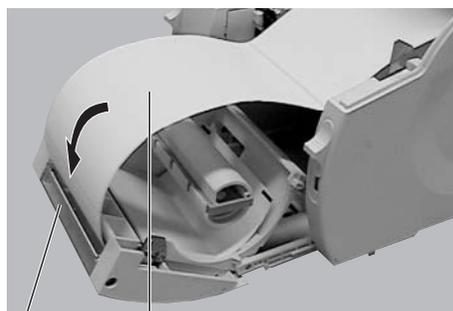
内部巻取りユニット

3

用紙をセットします。  
ロール紙のセットの3~5項を行います。

4

用紙を巻取りコアにセットできる長さ分引き出して、巻き取りユニットのガイドカバーに沿わせて、下側の穴から内側に入れて巻取ります。



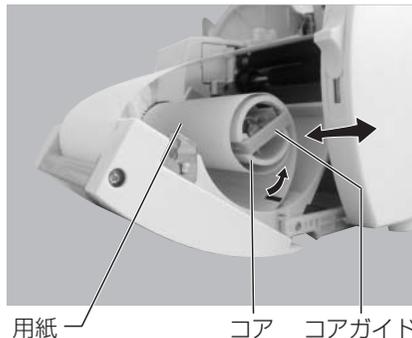
ガイドカバー

用紙

5

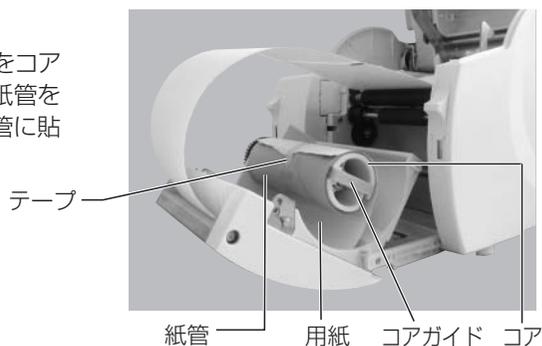
**直巻きの場合**

コアガイドを引っ張り、用紙をコアとコアガイドの間に入れ、コアガイドを戻して用紙をはさみます。



**紙管巻きの場合**

コアガイドを引っ張り、紙管をコアに挿入し、コアガイドを戻して紙管を固定します。用紙の先端を紙管に貼付けます。

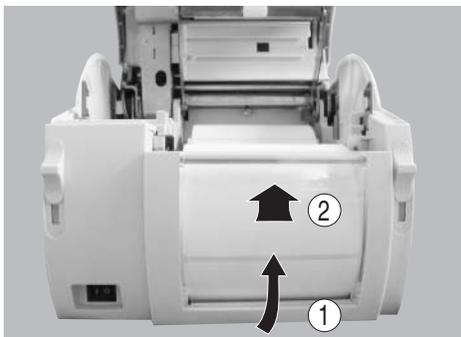


6

内部巻取りユニットを起こして本体に戻します。

※この際、用紙の弛みを取り除いてからオープンカバーを閉じてください。

ロール紙がセットされている方向に用紙を戻すことで、用紙の弛みはなくなります。



7

オープンカバーを閉じます。  
ロール紙のセットの6項を行います。



**注意**

オープンカバーを閉めるときは、オープンカバーに指をはさまないように注意して行ってください。

### ▲巻き取った用紙の取り出しかた

巻き取った用紙を持って、コアガイドを引っ張り、その状態のままコアガイドを2~3回、回します。

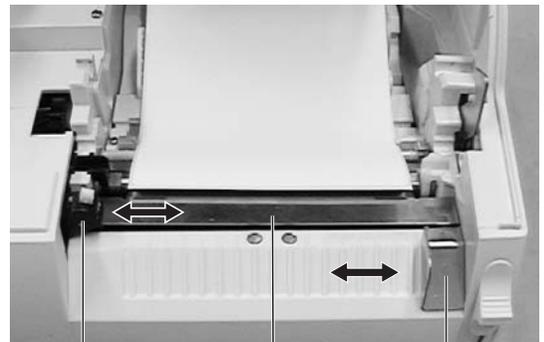


用紙      コアガイド

## カタタイプ (工場オプション)

### ▲用紙のセット

ロール紙およびファンフォールド紙のセットは8~13ページの標準タイプと同じ手順で行ってください。ただし、用紙サイズに合わせてカタガイドを調節してください。



可動刃      固定刃      カタガイド



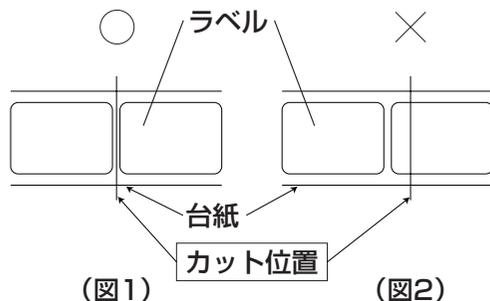
**注意**

- カッタに手やものを入れないでください。ケガをする恐れがあります。
- 刃物の構造をしています。手を切らぬように注意してください。

# カット位置の調整

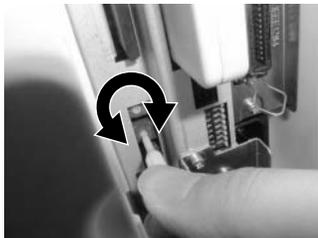
## ▲ラベルのカット

ラベル使用時のカット位置は、ラベルとラベルの間、カストリ（台紙のみの部分）が正規のカット位置となります。



カット位置が正規の位置にない場合、サイドカバーを開け、オフセット調整用ボリュームを調整します。ラベルのカットは、のりがカッタ刃に付いて切れを悪くしますので、絶対に避けてください。

右回し：印字方向に対し前にラベル停止する



左回し：印字方向に対し後ろにラベル停止する

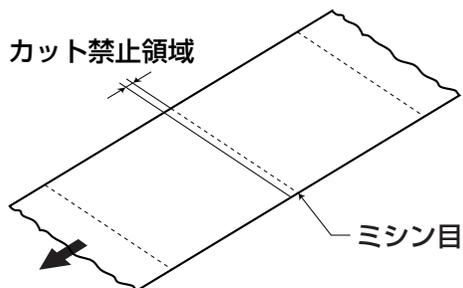
(ボリューム調整用ドライブを使用してください。)



オフセット調整用ボリューム

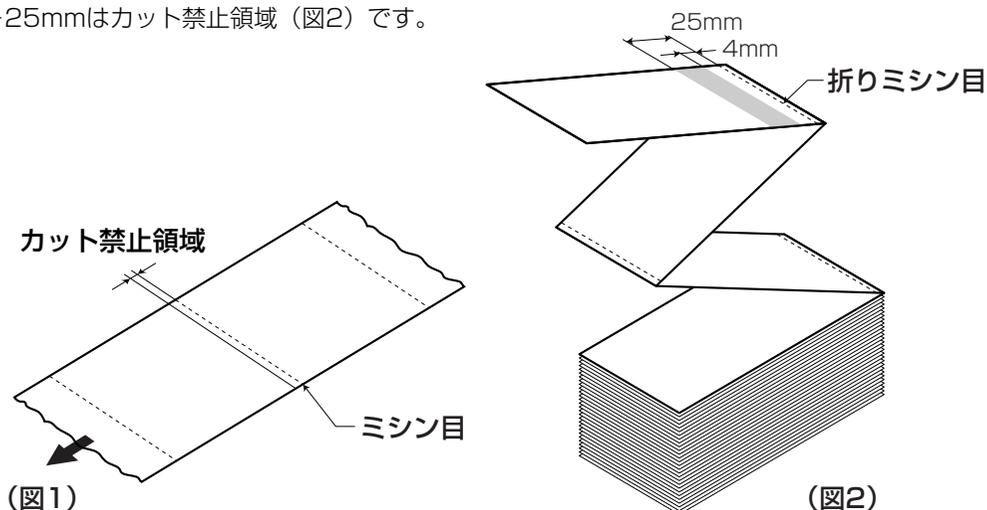
## ▲ミシン目のある用紙のカット

ミシン目のある用紙は、ミシン目およびミシン目の手前はカット禁止領域です。ミシン目およびミシン目の手前をカットしている場合、オフセット調整用ボリュームで調整します。



以下の項目は使用する用紙に関するカッタの性能ですので、使用する前にご確認ください。

- ①用紙厚さ（台紙含）は0.08mm～0.19mmです。
- ②カットピッチは25mm～206mmまで有効です。
- ③ファンフォールド紙折りミシン目の+4mm～+25mmはカット禁止領域（図2）です。



## カッタの交換

カッタを使用していきますと、切れが悪くなりカット面がケバ立ちます。このような状態になりましたら、カッタユニットの交換が必要です。その際は、販売店、ディーラーまたはサポートセンターにご連絡ください。



## セットしたら確認してください

用紙をセットしたら、つぎのことを確認してください。

- \* 用紙は、きちんとセットしていますか。
- \* 用紙の種類は合っていますか。
- \* オープンカバーは閉まっていますか。

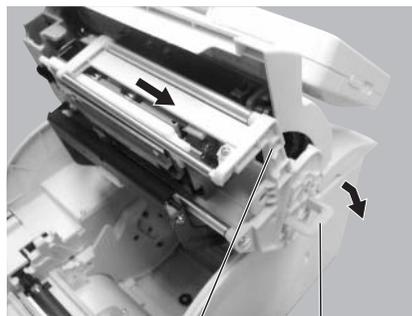
## リボンのセット (工場オプション)

1

本体左右のオープンレバーを押し下げ、オープンカバーのロックを解除し、オープンカバーを開けます。  
ロール紙のセットの1~2項を行います。

2

カセットレバーを起し、引っ張りながら、本体からリボンカセットを取り出します。



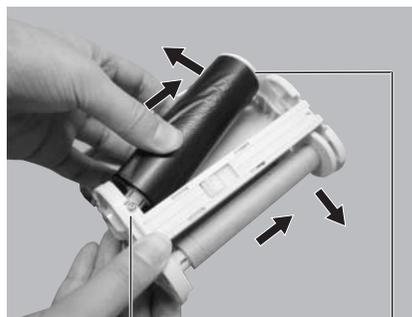
リボンカセット

カセットレバー

3

リボンカセットからリボンコアを軽く押し、それぞれ前後から取り外します。

※供給側、巻取側とも共用です。



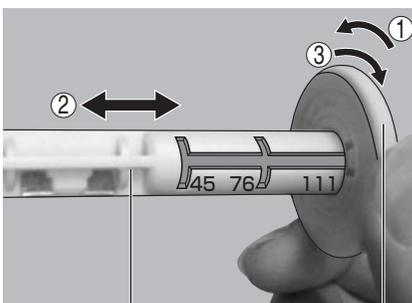
リボンカセット

リボンコア

4

リボンガイドを使用するリボン紙管幅に合わせてセットします。  
リボンガイドを左右にスライドさせて紙管幅に合わせ、溝に入れる。(紙管幅45、76、111mm)

- ① リボンガイドのロックを解除します。
- ② リボンガイドを紙管幅に合わせてスライドさせます。
- ③ リボンガイドをロックします。

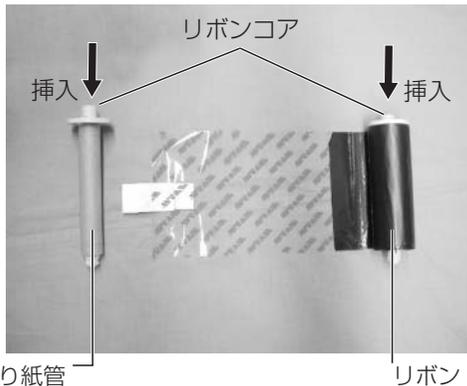


リボンコア

リボンガイド

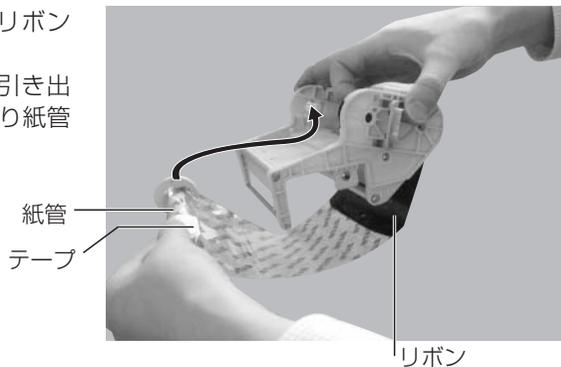
5

リボンと巻取り紙管にリボンコアを取り付けます。このとき、リボンの巻き方向に注意してください。



6

それぞれのリボンコアをリボンカセットにセットします。リボンをヘッドに沿って引き出します。リボンの端を巻取り紙管にテープで貼り付けます。



7

巻取り紙管を反時計回りに回して、リボンをたるみのないように巻き取ります。

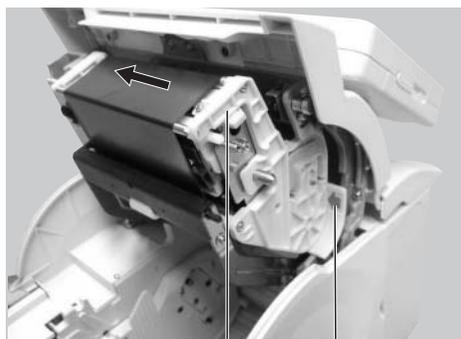
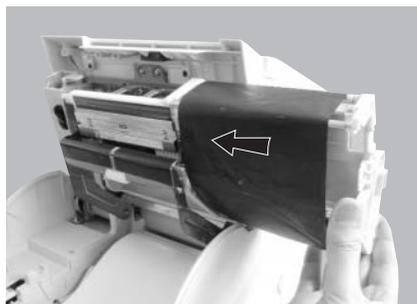
リボンの表(印字面)が巻取り紙管の内側になるようにします。



8

リボンカセットを本体にセットします。リボンガイドにリボンカセットをあてて挿入してください。このとき、カチッと音がするまで押し込んでください。

所定の位置まで押し込まれたかを目印で確認してください。



リボンカセット

目印

9

オープンカバーを閉じます。  
 ロール紙のセットの6項を行います。  
 用紙を1枚紙送りします。紙送りすることでリボンのたるみはなくなります。



**注意**

オープンカバーを閉めるときは、オープンカバーに指をはさまないように注意して行ってください。

- ▲ カッタタイプおよびノンセパタイプと併用してご使用になる場合は、リボンを使用しないときでも、リボンカセットは必ず、装着してご使用ください。

リボンの巻取り方向

〈良い例〉



〈悪い例〉



## サーマルヘッドの交換

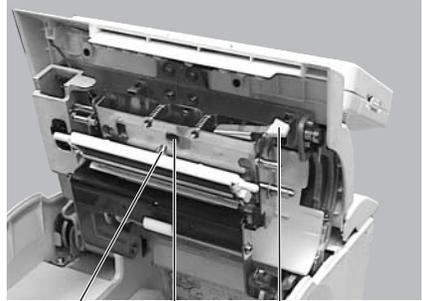
**1**

本体左右のオープンレバーを押し上げ、オープンカバーのロックを解除し、オープンカバーを開けます。

※電源を切ってから行ってください。  
リボンカセットを使用している場合は、本体から取り出してください。

**2**

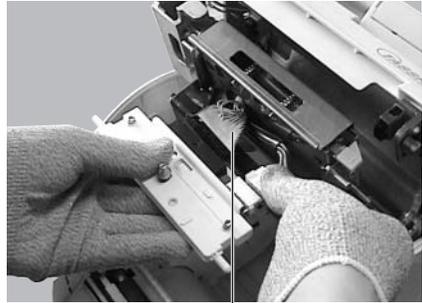
スライドレバーのつまみ(紫色)を横に引くと、サーマルヘッドがはずれます。  
スライドレバーのつまみを横に引いた状態で上に上げたまま保持します。



サーマルヘッドのピン      ヘッドフレームの穴      スライドレバーのつまみ

**3**

サーマルヘッドを前に引き出し、コネクタを抜きます。  
新しいサーマルヘッドにコネクタをつなぎ、交換します。



ヘッドケーブル



### 注意

- 印字終了直後のサーマルヘッドとその付近は、高い温度になっています。印字直後のサーマルヘッドの交換は、火傷しないように注意して行ってください。
- サーマルヘッドの端に素手で触れるとケガをする恐れがあります。サーマルヘッドの交換は、ケガをしないように注意して行ってください。

4

サーマルヘッドのピンをヘッドフレームの穴に入れ、サーマルヘッドの白い部分を押ししてセットします。

※スライドレバーが元の状態になっていることを確認してください。ヘッドケーブルがきちんと収納されていることを確認してください。



**注意**

サーマルヘッドの発熱体には素手で触れないでください。触れた場合、クリーニングペンでサーマルヘッドを清掃してください。詳細は、「毎日のお手入れ」を参照してください。→28ページ

▲サーマルヘッドの交換を行われる際は、必ず最寄りのサポートセンターにお問い合わせください。

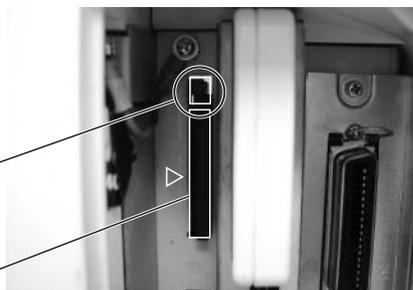
## COMPACT FLASHカードの着脱について

1

サイドカバーを開き、イジェクトボタンを押して、COMPACT FLASHカードを取り出します。

イジェクトボタン

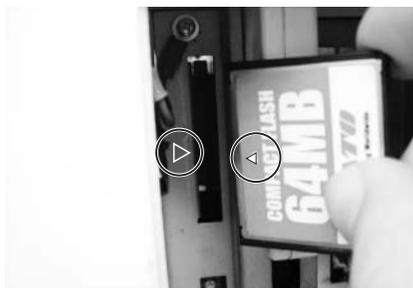
COMPACT FLASHカード



2

挿入時はCOMPACT FLASHカードの▽記号とフレームの▽記号の向きを合わせてからゆっくり、差し込んでください。

※挿入する向きを間違えるとCOMPACT FLASHカードが破損する恐れがあります。



# オプションについて

本プリンタではお客様のニーズにお答えできるように、次のオプションを用意しております。

## オプションの種類

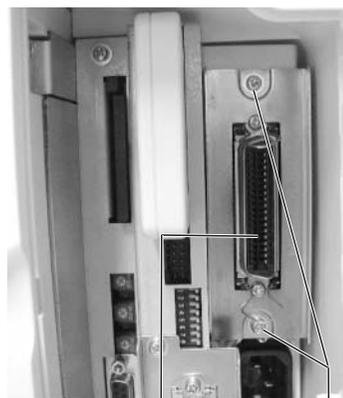
### ▲ インタフェースボード

プリンタとコンピュータとのデータをやり取りするためのボードです。

- パラレルインタフェースボード (IEEE1284)
- シリアルインタフェースボード (RS-232C 25ピン)
- USBインタフェースボード
- LAN2インタフェースボード
- 無線LAN2インタフェースボード
- ミニLANインタフェースボード

※ミニLANインタフェースボードは、FTPクライアント機能を使用する場合のみとなります。

※ご不明な点がございましたら、購入された販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。



インタフェース 取付ネジ  
ボード



### 注意

インタフェースボードの取り付け取り外しを行うときは、必ず、プリンタ本体の電源を切ってから行ってください。インタフェースボードやプリンタ本体を破損する恐れがあります。

### ▲ リボン印字タイプ

カーボンリボンを使用して印字する、リボンユニットを取り付けたタイプです。

### ▲ カッタタイプ

プリンタに用紙をカットする、カッタユニットを取り付けたタイプです。

### ▲ ノンセパタイプ

台紙のないラベルを印字し、カットする、カッタユニット(ノンセパ専用)を取り付けたタイプです。

### ▲ ラベル内部巻取り

印字したラベルをプリンタ内部に巻き取るユニットを取り付けたタイプです。

### ▲ 外部巻取り装置

印字したラベルをプリンタ外部で巻き取る装置です。

### ▲ 外部供給装置

プリンタ内に収納できない大ロールのラベルをセットし、プリンタで印字させる装置です。

# 毎日のお手入れ

本機は大切な情報を含んだバーコードや文字を印字するプリンタです。各部が汚れていると大切なバーコードや文字もきれいに印字できなくなるだけでなく、故障の原因にもなります。定期的な清掃してください。

## ▲お手入れの時期

お手入れの時期の目安は、次の通りです。

### クリーニングセットでのお手入れ

- サーマルヘッド、プラテンローラ、用紙センサ、用紙ガイドの爪 ) …用紙1巻おき、あるいは用紙75メートル印字ごと
- その他…用紙6巻おき、あるいは用紙450メートル印字ごと

### クリーニングシートでのお手入れ

- 用紙6巻おき、あるいは450メートル印字ごと

## ▲お手入れのときの注意



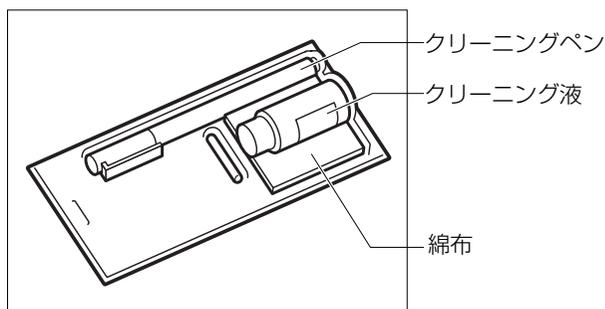
お手入れのとき、次のことに注意してください。

- 上の清掃時期は目安ですので、汚れの程度によって都合の良い時期に清掃してください。
- 各部の清掃には、クリーニングペンや綿布をご使用ください。
- ドライバーなどの堅いものを使用して清掃すると、各部を傷つける恐れがあります。特にヘッド部の清掃には絶対に使用しないでください。
- 電源は必ず切ってからおこなってください。

## ▲お手入れのしかた (1)

付属のクリーニングセットを使って、次の部分を清掃してください。

### ヘッドクリーニングセット



- ① オープンカバーを開け、ヘッド部分を見えるようにします。
- ② クリーニングペンで、サーマルヘッドの汚れを拭き取ります。
- ③ クリーニング液を綿布に浸して、プラテンローラ、用紙センサ、ディスプレイの汚れを拭き取ります。

※ノンセパ仕様をお使いの方は、その他に綿布で用紙ガイド、カッタガイド、クリーニングペンでカッタ固定刃の汚れもふき取ってください。

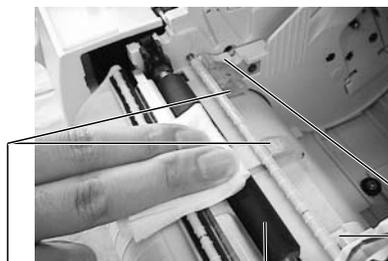
※リボン仕様をお使いの場合は、必ずリボンカセットをはずしてからクリーニングしてください。

### サーマルヘッドのクリーニング



サーマルヘッド

### プラテンローラおよび用紙センサのクリーニング



用紙センサ プラテンローラ 用紙ガイドの爪

## ▲お手入れのしかた (2)

付属のヘッドクリーニングシートを使って次の部分をクリーニングしてください。

- ① オープンカバーを開けます。ラベルをはずします。リボン仕様はラベル、リボンをはずします。
- ② ヘッドクリーニングシートをサーマルヘッドとプラテンローラの上に挟み、オープンカバーを閉じます。
- ③ 両手でヘッドクリーニングシートを手前に引きます。  
これを2～3回繰り返してください。  
これでサーマルヘッドの付着カスは除去されます。まだカスが残っている時は、さらに数回繰り返してください。
- ④ サーマルヘッドをクリーニングペンでクリーニングし、ヘッド面をきれいにしてください。

※ヘッドクリーニングシートは、ザラザラしている面がサーマルヘッド側になるようにはさんでください。

※リボン仕様をお使いの場合は、必ずリボンカセットをはずしてからクリーニングしてください。

### サーマルヘッドのクリーニング



## ▲抗菌効果についてのご注意

- 表面に菌が付着したときに抗菌効果を発揮しますが、ホコリ・油膜等が表面を覆った場合は、十分な抗菌効果を発揮できません。
- 菌の繁殖を抑制する効果を持ちますが、菌がまったくなくなるわけではなく、感染等が、完全に防げるわけではありません。

# 発行してみましょ

ラベル発行してみましょ。ラベルを発行するのに必要な操作のしかたを説明します。

## 基本的な使いかた

本機を本格的に動かしてみる前に、操作の手順を説明します。

本機はタッチパネルとテンキーにあるキーで、簡単に操作できます。

タッチパネルは先のとがったものでタッチすると故障の原因になります。

### ▲操作の流れ(プリセット発行の場合)

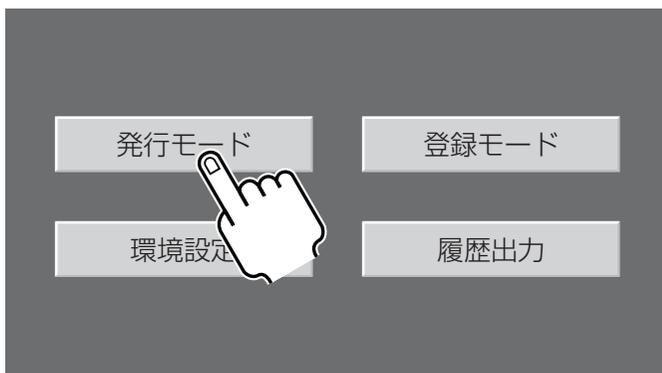
① 電源を入れます。

オープニング画面が表示されます。  
カレンダーICの性能によって、時間が多少ずれる場合もあります。  
定期的に日付、時間を確認してください。



② タッチパネルにタッチします。  
右のメニュー画面が表示されます。

キーをタッチして画面を切り変えてください。



③ **発行モード** にタッチします。



④ **プリセット発行** にタッチします。

- ⑤ 商品を呼び出します。  
品名キーをタッチするか、テンキーでプリセットNo.を入力し、**(実行)**キーを押すと商品の画面が表示されます。

プリセット発行				4月 1日 17:45
マスタ【0001:マスタテーブル】 レイアウト【0001:レイアウトテーブル】				
プリセット		発行枚数		
内容量				▲
単位				▼
価格				
日替わり弁当	幕の内弁当	えびシュウマイ弁当	和風弁当	▲
うなぎ弁当	中華弁当	ちらし弁当	生姜焼き	▼
から揚げ弁当	カレー弁当	中華丼	親子丼	
オムライス	エビピラフ	スパゲティ	さば寿司	
おにぎり梅	おにぎり鮭	おにぎりたらこ	おにぎり昆布	



- ⑥ 入力項目、発行枚数を入力します。  
テンキーで価格や内容量等と発行枚数を入力します。



幕の内弁当				4月 1日 17:45
マスタ【0001:マスタテーブル】 レイアウト【0001:レイアウトテーブル】				
プリセット	00001	発行枚数	00001	
内容量	1			▲
単位	個			▼
価格	780			
日替わり弁当	幕の内弁当	えびシュウマイ弁当	和風弁当	▲
うなぎ弁当	中華弁当	ちらし弁当	生姜焼き	▼
から揚げ弁当	カレー弁当	中華丼	親子丼	
オムライス	エビピラフ	スパゲティ	さば寿司	
おにぎり梅	おにぎり鮭	おにぎりたらこ	おにぎり昆布	



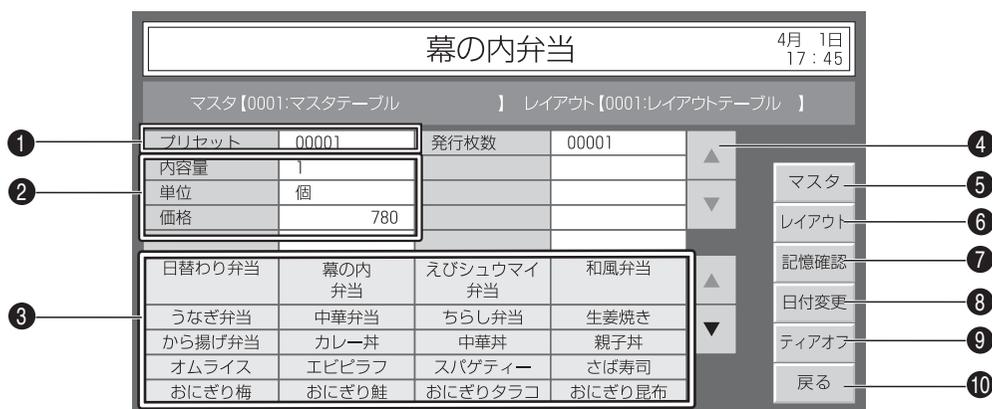
幕の内弁当				4月 1日 17:45
マスタ【0001:マスタテーブル】 レイアウト【0001:レイアウトテーブル】				
プリセット	00001	発行枚数	00020	
内容量	1			▲
単位	個			▼
価格	780			
残り発行枚数		000010		
発行中です。				

- ⑦ **(発行/停止)**キーを押します。  
ラベルが発行されます。

- 発行を終了するとプリセット発行画面に戻ります。
- 発行を途中で停止する場合は**(発行/停止)**キーを押してください。再度**(発行/停止)**キーを押すと発行を再開します。
- **(取消)**キーを押すと発行中の内容(データ)を消去し、発行を中止します。

## タッチパネル

タッチキーの説明をします。



〈プリセット発行画面の例〉

番号	タッチキー名	はたらき
①	プリセット	<ul style="list-style-type: none"> <li>マスタテーブルのプリセットになります。プリセットNoを入力します。</li> <li>プリセットフィールドで指定したフィールド名称が表示されます。マスタテーブルの登録時に「プリセット」以外のフィールド名称でも登録できます。</li> <li>直接タッチするとプリセットの一覧が表示されます。</li> </ul>
②	データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>マスタテーブルで「参照」を有りに設定しているフィールドを表示します。</li> <li>レイアウト登録時に選択テーブルを設定しているフィールドを表示します。</li> <li>レイアウト登録時に「発行時入力」を許可に設定しているフィールドを表示します。入力許可に設定してある場合は直接タッチすることで入力の変更が可能になります。</li> </ul>
③	品名キー	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリセットが設定されている場合は、ワンタッチキーの機能となります。</li> </ul>
④	▲・▼	<ul style="list-style-type: none"> <li>データ表示欄、またはプリセット表示欄がスクロールします。</li> </ul>
⑤	マスタ	<ul style="list-style-type: none"> <li>マスタテーブルの一覧を表示します。</li> </ul>
⑥	レイアウト	<ul style="list-style-type: none"> <li>レイアウトの一覧を表示します。</li> </ul>
⑦	記憶確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>記憶(予約)したプリセットの一覧を表示します。</li> </ul>
⑧	日付変更	<ul style="list-style-type: none"> <li>日付の一時変更を行う場合に使用します。</li> </ul>
⑨	ティアオフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>発行動作を変更する場合に使用します。「ティアオフ」、「バクリ」、「カット」、「連続」、「ノック」の中から現在選択されている動作が表示されます。</li> </ul>
⑩	戻る	<ul style="list-style-type: none"> <li>前画面に戻ります。</li> </ul>

# マスタテーブルを選択切り替えするときは

プリセットを発行するとき、予め登録してあるマスタテーブルを選択切り替えすることができます。

## マスタテーブルの選択

1. プリセット発行画面で **マスタ** にタッチします。  
マスタテーブルの選択画面が表示されます。

幕の内弁当				4月 1日 17:45
プリセット	00001	発行枚数	00001	▲ ▼
内容量	1			
単位	個			
価格	780			
日替わり弁当	幕の内弁当	えびシュウマイ弁当	和風弁当	▲
うなぎ弁当	中華弁当	ちらし弁当	生姜焼き	▼
から揚げ弁当	カレー丼	中華丼	親子丼	
オムライス	エビピラフ	スパゲティー	さば寿司	
おにぎり梅	おにぎり鮭	おにぎりたらこ	おにぎり昆布	



2. ▲・▼でマスタテーブルの一覧を切り替え、マスタテーブル名リストを確認し、選択するマスタテーブルにタッチします。

レイアウト選択画面が表示します。

変更がないときは **戻る** にタッチします。  
プリセット発行画面に戻ります。

マスタテーブルの選択		
番号検索	0001	▲ ▼
No.	マスタ名	
0001	マスタテーブル 1	
0002	マスタテーブル 2	
0003	マスタテーブル 3	
0004	マスタテーブル 4	
0005	マスタテーブル 5	
0006	マスタテーブル 6	
0007	マスタテーブル 7	戻る



3. ▲・▼でレイアウト一覧を切り替え、レイアウト名リストを確認し、選択するレイアウトにタッチします。

プリセット発行画面に戻ります。

レイアウト選択		
番号検索	0001	▲ ▼
No.	レイアウト名	
0001	レイアウト 1	
0002	レイアウト 2	
0003	レイアウト 3	
0004	レイアウト 4	
0005	レイアウト 5	
0006	レイアウト 6	
0007	レイアウト 7	戻る

## レイアウトを選択切り替えするときは

プリセットを発行するとき、予め登録してあるレイアウトを選択切り替えすることができます。

### レイアウトの選択

1. プリセット発行画面で **レイアウト** にタッチします。

レイアウト選択画面が表示されます。

2. **▲**・**▼** でレイアウトの一覧を切り替え、レイアウト名リストを確認し、選択するレイアウトにタッチします。

プリセット発行画面に戻ります。

変更がないときは **戻る** にタッチします。

プリセット発行画面に戻ります。

No.	レイアウト名
0001	レイアウト1
0002	レイアウト2
0003	レイアウト3
0004	レイアウト4
0005	レイアウト5
0006	レイアウト6
0007	レイアウト7

- マスタデータ、レイアウトリンク設定機能について  
プリセット発行・バーコード検索発行の際に指定されたマスタデータにレイアウトが設定されている場合、そのレイアウトを優先的に設定する機能です。  
マスタデータが選択されている場合に「記憶」キーを押してからレイアウトを選択するとマスタデータに登録されているレイアウトNo.を設定、更新することができます。  
尚、バーコード検索発行についても同様の操作となります。

## 品名キー以外のプリセットを発行するときは

プリセットを発行するとき、品名キー以外のプリセットを選択することができます。

### マスターデータ一覧

1. プリセット発行画面で **プリセット** にタッチします。

マスターデータ一覧画面が表示されます。

2. ▲・▼でマスターデータの一覧を切り替え、マスターデータ名リストを確認し、選択する品名にタッチします。

変更がないときは **戻る** にタッチします。

プリセット発行画面に戻ります。

検索フィールド	品名
検索文字	
No.	品名
00001	日替わり弁当
00002	幕の内弁当
00003	えびシューマイ弁当
00004	和風弁当
00005	うなぎ弁当
00006	中華弁当

3. **検索フィールド** にタッチし、フィールド名を選択します。

マスターテーブル、選択テーブルを検索する際のフィールド名を選択します。

テーブル作成時に「参照あり」に設定されているフィールド名が選択できます。

マスターデータは「参照」設定以外に「品名」も選択できます。

ここでは、検索フィールドを「品名」から、「参照3」に変更したときを例に説明します。「品名」のフィールド名は品名、「参照3」のフィールド名は価格としています。

- ① 検索フィールドが「品名」のマスターデータ一覧画面で検索フィールド名の **品名** にタッチします。検索フィールド選択画面が表示されます。

検索フィールド	品名
	品名
	参照1
	参照2
	参照3

- ② **参照3** にタッチし、検索フィールドを「品名」から「参照3」に変更します。マスターデータ一覧画面が表示されます。

- ③ 検索フィールド「参照3」の価格のマスターデータ一覧画面になります。

検索フィールド	参照3
検索文字	
No.	価格
00001	450
00002	520
00003	480
00004	480
00005	750
00006	480

#### 4. 「検索文字」にタッチします。

文字の入力画面が表示されます。

検索文字を入力し、文字入力を終了すると同時に、検索フィールドで指定したフィールド名を対象に検索します。

検索可能な文字数は最大16文字となります。

ここでは、検索文字に「おにぎり」を入力したときを例に説明します。

- ① マスタデータ一覧画面で検索文字の空欄にタッチします。文字の入力画面が表示されます。

- ② 「おにぎり」を入力し、「確定」にタッチして文字を確定します。「閉じる」にタッチします。マスタデータ一覧画面が表示されます

- ③ 検索文字「おにぎり」の品名データのマスタデータ一覧画面になります。検索文字「おにぎり」を含んだマスタデータ一覧画面になります。

文字の入力

おにぎり

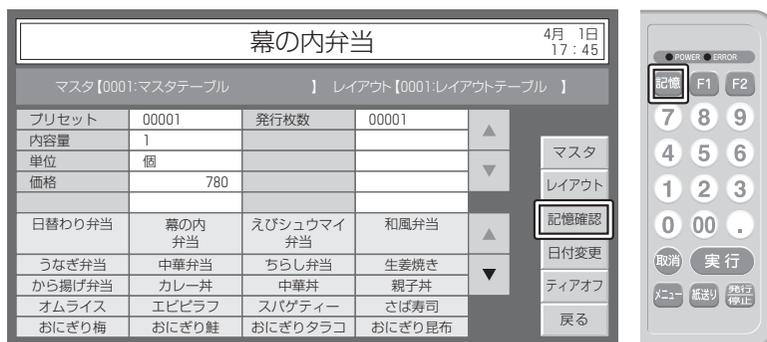
小	かな	カナ	英	記号	特殊	JIS	ローマ	半角	▲	▼	↑	←	↓	→
、	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ	後退	全クリア		
・	を	り	（	み	ひ	に	ち	し	き	い	下線	クリア		
・	ん	る	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う	変換	確定		
ー	°	れ	）	め	へ	ね	て	せ	け	え	テーブル	閉じる		
	。	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ	お				

マスタデータ一覧

検索フィールド	品名	
検索文字	おにぎり	
No.	品名	
00017	おにぎり梅	
00018	おにぎり鮭	
00019	おにぎりタラコ	
00020	おにぎり昆布	
		戻る

## 複数のラベルをまとめて発行するときは

プリセットを発行するとき、便利な種機能があります。各種機能を有効にお使いください。



### 記憶確認

予め記憶した複数の商品ラベルをまとめて発行することができます。

1. プリセット発行時に発行枚数を入力し、**記憶** キーを押すことで、複数の商品ラベルを記憶させることができます。
2. **記憶確認** にタッチすると、記憶確認画面が表示されます。
3. **▲**・**▼** で記憶したプリセットデータの一覧を切り替え、プリセットデータリストを確認します。
4. **発行/停止** キーを押します。  
記憶したプリセットデータが指定枚数発行されます。



#### ● 指定したプリセットを削除するときは？

- ① 削除するプリセットデータにタッチして選択し、**削除** にタッチします。  
削除確認画面が表示されます。
  - ② **はい** にタッチします。  
削除の実行後に記憶確認画面に戻ります。
- ※ **いいえ** にタッチしたときは削除をキャンセルします。  
※ 記憶したプリセットデータは、レイアウト変更または電源を切るとクリアされます。

# プリンタの日付を一時変更するときは

## 日付一時変更

プリンタの日付（カレンダー）を一時的に変更できます。電源を切るまで有効となります。

1. **日付変更** にタッチすると日付一時変更画面が表示されます。

通常はカレンダーが黒色で表示されていますが、日付一時変更すると、赤色になります。

幕の内弁当				4月 1日
				17:45
マスタ【0001:マスタテーブル】 レイアウト【0001:レイアウトテーブル】				
プリセット	00001	発行枚数	00001	
内容量	1			
単位	個			
価格	780			
日替わり弁当	幕の内弁当	えびシュウマイ弁当	和風弁当	
うなぎ弁当	中華弁当	ちらし弁当	生姜焼き	
から揚げ弁当	カレー丼	中華丼	親子丼	
オムライス	エビピラフ	スパゲティ	さば寿司	
おにぎり梅	おにぎり鮭	おにぎりタラコ	おにぎり昆布	



2. 変更する項目に直接タッチし、テンキーや文字の入力画面を使って変更します。

→・← でカーソル位置を左右に移動します。

変更がないときは**戻る** にタッチします。  
プリセット発行画面に戻ります。

日付一時変更		
西暦日付	2003年04月01日	
時間	17:45:00	
和暦	平成	15年
別途表現	商品上部に記載	
表示選択	日付	別途表現

3. **戻る** にタッチします。  
プリセット発行画面に戻ります。

### ● 西暦日付、時間を変更するときは？

→・←で変更する位置まで移動し、テンキーで変更する日付、時間を入力して「確定」にタッチします。

西暦日付、時間、XXXX日、XX時間を入力し「実行」キーを押すと「確定」が有効になります。

日付一時変更	
西暦日付	2002年01月01日
時間	17:35:59
+	0000日
	00時間

クリア  
→  
←  
確定  
戻る

一時変更を行うと、西暦日付、時間、加減算日数、加減算時間が赤色に表示します。

西暦日付	2005年01月01日
時間	17:35:59

＋、－にタッチすると、＋の場合は青色、－の場合は赤色に表示します。

—	0000日
	00時間

### ● 和暦年号を変更するときは？

①和暦の「平成」にタッチします。文字の入力画面が表示されます。

②変更する和暦年号を入力します。

詳細は、「文字の入力について」を参照してください。→136ページ

### ● 和暦を変更するときは？

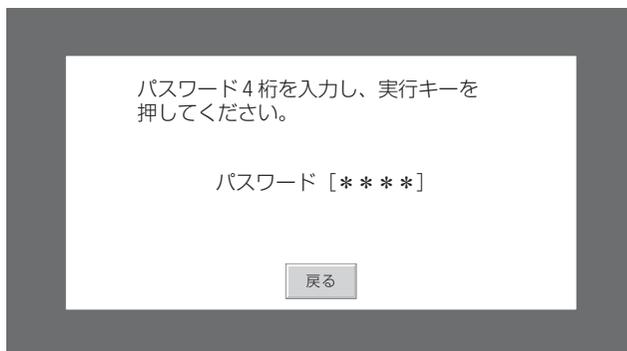
→・←で変更する位置まで移動し、テンキーで変更する年を入力して「確定」にタッチします。

### ● 日付変更キータッチ後のパスワード入力について

「**プリンタ設定**」-「**他**」の日付一時変更設定を「パスワード」に設定した場合、プリセット発行、バーコード検索発行で「**日付変更**」にタッチすると、パスワード入力画面が表示します。詳細は、「**6他**」を参照してください。→155ページ

「**戻る**」にタッチすると、前画面に戻ります。

パスワードは  
「.」「3」「1」「0」  
固定となります。



### ● 日付一時変更画面クリア機能について

日付一時変更情報をクリアしてプリンタ内蔵の日時に戻ります。

日付一時変更を行うと、「**クリア**」が有効になります。

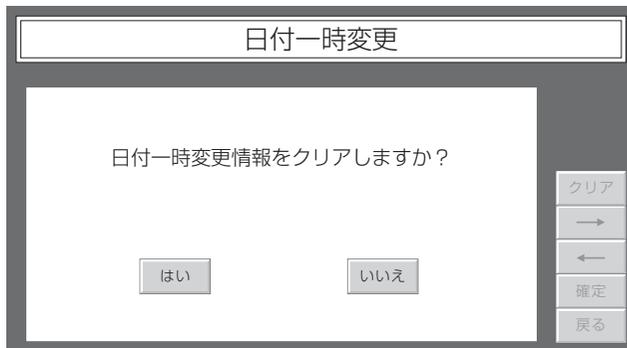
「**クリア**」にタッチすると、日付一時変更情報クリア確認画面が表示されます。



日付一時変更で設定した情報のクリア有無を指定します。

「**はい**」にタッチすると、日付一時変更で設定した情報をクリアします。

「**いいえ**」にタッチすると、クリアをキャンセルして前画面に戻ります。



● 別途表現を変更するときは？

- ① 別途表現の **商品上部に記載** にタッチします。

日付テーブルデータ選択画面に切り替わります。

- ② ▲・▼ で日付テーブルデータの一覧を切り替えます。

- ③ 「番号検索」するときには、テンキーでテーブルNoを入力し、**(実行)** キーを押します。

入力したテーブルNoのテーブルデータから一覧表示します。詳細は「登録した単語テーブルデータを番号検索するときは」を参照してください。→183ページ

- ④ 省略名検索するときには、**省略名検索** にタッチし、文字の入力画面に切り替え、検索する省略名を入力します。

入力した省略名のテーブルデータを一覧表示します。詳細は「登録した単語テーブルデータを省略名検索するときは」を参照してください。→185ページ

※ **戻る** にタッチしたときは、内容を確定せずに、日付一時変更画面に戻ります。

日付テーブル		
番号検索	1001	省略名検索
No.	テーブル名	省略名
1001	別途記載	べっ
1002	商品上部に記載	しよ
1003	商品下部に記載	しよ
1004	個々に記載	ここ

● 表示選択を変更するときは？

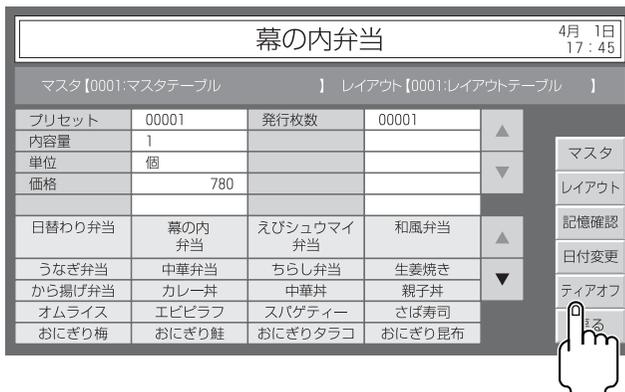
- ・ カレンダ日付を印字するときは、**日付** にタッチします。
- ・ 別途表現を印字するときは、**別途表現** にタッチします。

# 発行動作を変更するときは

ラベル発行動作を選ぶことができます。

[ティアオフ] にタッチすると発行動作  
選択画面が表示されます。

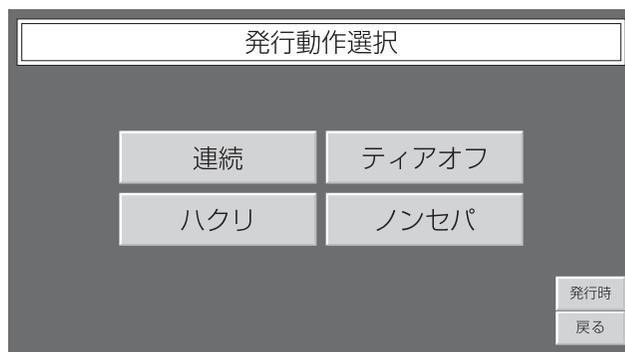
※ 画面が [連続]、[ハクリ]、[カッタ]  
[ノンセパ] の表示のときは、表示  
されているキーにタッチします。



## 1. 変更する発行動作のキーにタッチ します。

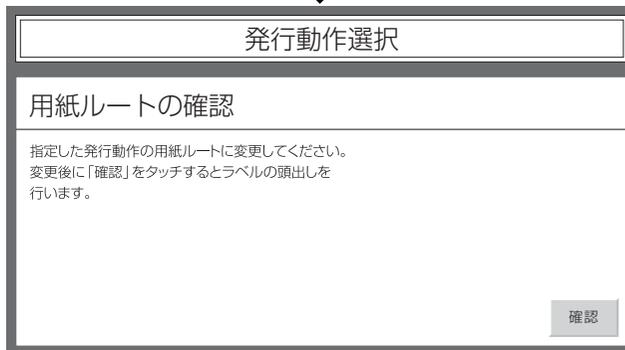
用紙ルートの確認画面が表示され  
ます。

変更がないときは [戻る] にタッチし  
ます。  
プリセット発行画面に戻ります。



## 2. 用紙ルートを変更し、[確認] をタッチ します。

ラベルの頭出しを行います。

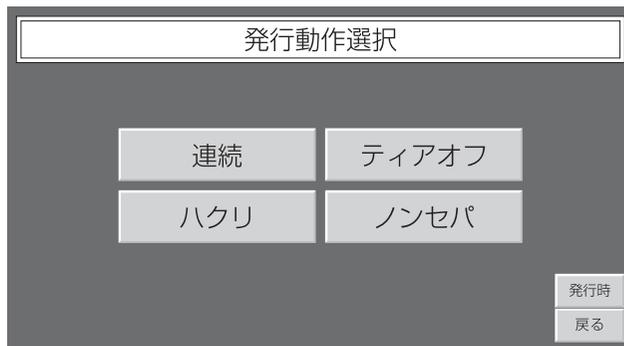


タッチキー名	はたらき
連続	連続発行に変更します。
ティアオフ	ティアオフ発行に変更します。
ハクリ	ハクリ発行に変更します。カッタユニットが装着されている場合は [カッタ] と表示され、カッタ発行に変更します。
ノンセパ	ノンセパ発行に変更します。

## 発行時の動作方法を設定したいとき

### 1. 発行動作選択画面で「発行時」にタッチします。

発行時動作設定画面が表示されます。

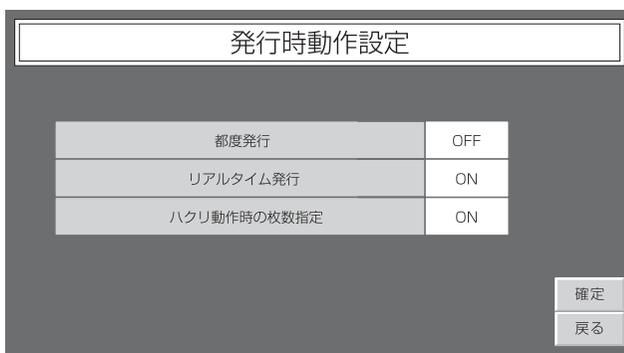


### 2. 発行時動作を設定し、「確定」にタッチしてください。

発行時動作設定を確認し、発行動作選択画面に戻ります。

変更がないときは「戻る」にタッチします。

発行動作選択画面に戻ります。



タッチキー名	はたらき
都度発行	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ONに設定すると、ワンタッチキー（またはプリセット番号+<b>実行</b>キー）でラベルが1枚発行されます。</li> <li>●工場出荷時はOFFです。</li> </ul>
リアルタイム発行	<ul style="list-style-type: none"> <li>●OFFに設定すると、1枚目発行時のカレンダー情報で印字します。</li> <li>●ONに設定すると、発行毎にカレンダー情報を取得し、カレンダー印字を更新して印字します。</li> <li>●工場出荷時はONです。</li> </ul>
ハクリ動作時の枚数指定	<ul style="list-style-type: none"> <li>●発行動作をハクリに設定した場合にのみ有効な設定です。</li> <li>●OFFに設定すると、ハクリ発行時に発行枚数を指定せず、発行をキャンセルするまで継続して発行されます。</li> <li>●工場出荷時はOFFです。</li> </ul>

# 登録してみましょう

ここではデータを登録する方法について、説明します。

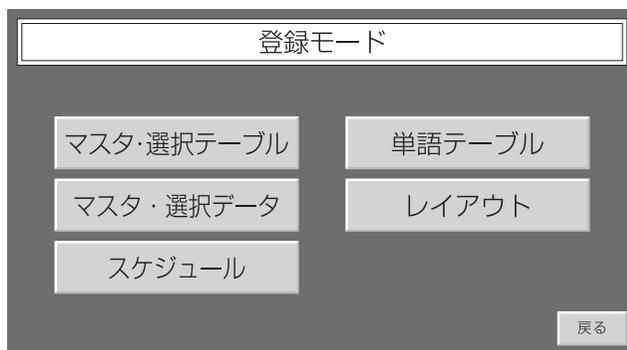
## 登録モードの種類

登録モードは **マスタ・選択テーブル** **単語テーブル** **マスタ・選択データ** **レイアウト** **スケジュール** の5つのモードがあります。

### ▲操作の流れ

- ① 電源を入れる。
- ② タッチパネルにタッチする。
- ③ **登録モード** にタッチする。
- ④ 登録するモードにタッチする。  
詳しくはそれぞれのモードで説明します。

登録モード選択画面



▲変更がないときは **戻る** にタッチします。メニュー画面に戻ります。

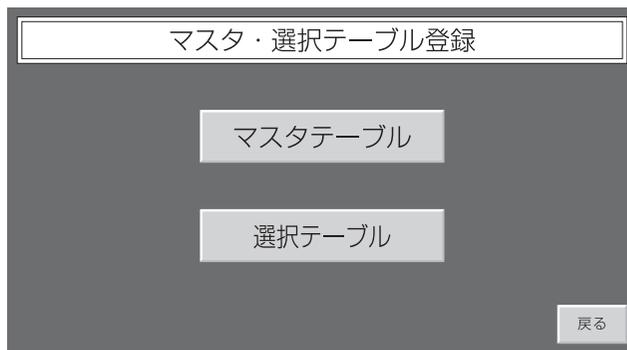
## 1. マスタ・選択テーブル登録

登録モード選択画面で **マスタ・選択テーブル** にタッチします。

マスタ・選択テーブル登録画面が表示されます。

- **マスタテーブル** または **選択テーブル** にタッチします。

マスタ・選択テーブル登録画面



### マスタテーブルとは

商品マスタとして登録する項目を設計することを目的としています。

品名、原材料名、賞味日数等のラベル印字に必要な項目を設定します。

### 選択テーブルとは

マスタテーブルに関係なく共通に使うことができる補助的なテーブルです。

例) 同じ商品であっても納入先により、販売者名を変える必要がある場合に選択テーブルに会社名、住所、電話番号を登録しておくことで簡単に切り替えて印字できます。

## ① サンプルテーブル

マスタ・選択テーブルには、あらかじめサンプルのテーブルが登録されています。

サンプルマスタテーブル、サンプル選択テーブルをそのまま使用することもできますが、フィールドの追加、設定されているフィールドデータの修正、削除を行い、自由に変更することもできます。

また、マスタ・選択テーブルを新規登録時にサンプルテーブルを「参照」して、別のテーブルNo.、テーブル名にコピーして使用することができます。

サンプルマスタテーブルのテーブルNo.は9999、サンプル選択テーブルのテーブルNo.は9999になります。

〈サンプルマスタテーブルのテーブルNo.9999 基本フィールド〉

フィールド名	データ型	桁数	入力確認	重複	履歴	参照	詳細	関連	機能
呼出し番号	プリセット	005	未入力不可 (全桁必須入力)	無	無				
品名	全角フリー	015	無	有	有	無			品名
名称	全角フリー	015	無	有	無	無			
原材料名	全角フリー	250	無	有	無	無		添加物テーブル	
製造日	日付時間タイプ	001	無	有	無	無		日付テーブル	
加算日付	日付時間(加算)タイプ	008	無	有	無	無		日付テーブル	
保存方法	全角フリー	030	無	有	無	無			
取扱注意	全角フリー	030	無	有	無	無			
内容量	全角フリー	005	無	有	無	無			
価格	価格タイプ	005	無	有	無	無			
単価	価格タイプ	005	無	有	無	無			
JAN13桁	半角数字	012	無	無	無	無			
アイテムコード	半角数字	005	無	無	無	無			
計算(定量)	半角数字	005	無	有	無	無			計算機能(定量)
計算(単価)	価格タイプ	005	無	有	無	無			計算機能(単価)
計算(内容量)	半角数字	005	無	有	無	無			計算機能(内容量)
単位	全角フリー	005	無	有	無	無		単位テーブル	
計算(価格)	価格タイプ	005	無	有	無	無			計算機能(販売価格)

〈サンプルマスタテーブルのテーブルNo.9999 特別フィールド〉

フィールド名	データ型	構成	C/D設定	入力型	桁数	検索設定
JAN13桁	JAN/EAN	単一		自動生成	0013	全桁

〈サンプル選択テーブル テーブルNo.9999〉

フィールド名	データ型	桁数	入力確認	重複	参照
社名番号	プリセット	005	未入力不可 (全桁必須入力)	無	
見出し	全角フリー	003	無	有	無
社名	全角フリー	010	無	有	無
住所	全角フリー	030	無	有	無
電話番号	全角フリー	015	無	有	無

## ② マスタテーブル登録

登録済みのマスタテーブルが表示されます。

修正、削除を行う場合は、マスタテーブルを選択してください。

- ▲・▼ でマスタテーブルの一覧を切り替えます。
- テンキーで数字を入力し、**(実行)** キーを押すと、入力したテーブルNo. のマスタテーブルから表示されます。

マスタ画面 1

## 1 マスタテーブルを追加する。

- ① **追加** にタッチします。  
自動的に設定されていない空番号が表示されます。
- ② 変更する場合はテンキーで数字を入力し、マスタテーブルNo.を指定します。
- ③ テーブル名の空欄にタッチします。  
文字の入力画面が表示されます。  
マスタテーブル名を入力します。

マスタ画面 2

- ④ **(実行)** キーまたは **閉じる** を押します。  
マスタテーブルが登録され、**(実行)** キーまたは **閉じる** を押すと右のマスタテーブル詳細画面3が表示されます。

マスタ画面 3

- ⑤ フィールドデータの空欄にタッチして選択し、**編集** にタッチします。  
各項目の設定画面に切り替わります。  
詳細は、「マスタテーブルの基本フィールド設定」を参照してください。→50ページ  
基本フィールドは最大50フィールドまで登録できます。

## 2 マスタテーブルを修正する。

① 修正するマスタテーブルにタッチして選択し、**修正** にタッチします。

② マスタテーブル名にタッチします。

文字の入力画面が表示されます。  
マスタテーブル名を修正します。

③ **実行** キーまたは **閉じる** を押します。

マスタテーブル名が登録され、マスタテーブル登録画面に戻ります。

④ 詳細内容を修正したい場合は **詳細** にタッチします。

マスタ画面3が表示されます。その先の操作は追加と同じです。

● **修正** のマスタ画面2は **参照** が **詳細** の表示に代わります。

## 3 マスタテーブルを削除する。

① 削除するマスタテーブルにタッチして選択し、**削除** にタッチします。

削除確認画面が表示されます。

② **はい** または **いいえ** にタッチします。

**はい** にタッチすると、削除してマスタ画面1に戻ります。

● マスタ画面2において **参照** にタッチすると登録されているマスタテーブルを参照します。

● マスタ画面2において **戻る** にタッチすると内容を確定せずに、マスタテーブル登録画面に戻ります。

＜マスタ画面3のキー説明＞

タッチキー名	はたらき
特別フィールド 設定	●バーコードデータの設定を行います。
▲・▼	●フィールドの一覧を切り替えます。
挿入	●フィールドの挿入を行います。
削除	●フィールドの削除を行います。
コピー／貼付け	●選択したフィールドのコピー／貼付けを行います。 ●コピーするフィールドにタッチして選択し、 <b>コピー</b> をタッチし、貼付けるフィールドにタッチしてフィールドのコピーを行います。 ●キーの表示はコピーと貼付けが交互に切り替わります。
編集	●選択したフィールドの編集を行います。
閉じる	●設定内容が変更されている場合は、警告メッセージが表示されます。変更内容を保存する場合は「はい」を、保存しない場合は「いいえ」を選択してください。

### ③ 選択テーブル登録

登録済みの選択テーブルが表示されます。

修正、削除を行う場合は、選択テーブルを選択してください。

選択画面 1

選択テーブル登録	
番号検索	
No.	テーブル名
0001	選択テーブル1

- ▲・▼ で選択テーブルの一覧を切り替えます。
- テンキーで数字を入力し、**(実行)** キーを押すと入力したテーブルNo. の選択テーブルから表示されます。

## 1 選択テーブルを追加する。

- ① **追加** にタッチします。  
自動的に設定されていない空番号が表示されます。
- ② 変更する場合はテンキーで数字を入力し、**選択テーブルNo.**を指定します。
- ③ **テーブル名**の空欄にタッチします。  
文字の入力画面が表示されます。  
選択テーブル名を入力します。
- ④ **実行** キーまたは **閉じる** を押します。  
選択テーブルが登録され、**実行** キーまたは **確定** を押すと、右の**選択テーブル詳細画面3**が表示されます。
- ⑤ **フィールドデータ**の空欄にタッチして選択し、**編集** にタッチします。  
各項目の設定画面に切り替わります。  
それぞれの項目を参照してください。

選択画面 2

選択画面 3

< 選択画面3のキー説明 >

タッチキー名	はたらき
▲・▼	●フィールドの一覧を切り替えます。
挿入	●フィールドの挿入を行います。
削除	●フィールドの削除を行います。
コピー／貼付け	●選択したフィールドのコピー／貼付けを行います。 ●コピーするフィールドにタッチして選択し、 <b>コピー</b> をタッチし、貼付けるフィールドにタッチしてフィールドデータのコピーを行います。 ●キーの表示はコピーと貼付けが交互に切り替わります。
編集	●選択したフィールドの編集を行います。
閉じる	●設定内容が変更されている場合は、警告メッセージが表示されます。 変更内容を保存する場合は「はい」を、保存しない場合は「いいえ」を選択してください。

▲修正および削除は「マスタテーブル登録」を参照してください。→46ページ

## ④ マスタテーブルの基本フィールド設定

マスタテーブルの基本フィールドを設定します。  
 マスタ画面3においてフィールドデータの空欄にタッチして選択し、**編集** にタッチします。文字の入力画面（マスタ画面5）が表示されます。

### 1 フィールド名を設定する。

マスタ画面 5

- ① **フィールド名を入力します。**  
 ここでは品名と入力しています。

- ② **確定** → **実行** キーまたは **閉じる** を押します。  
 マスタ画面6が表示されます。



● 他のフィールドと重複したフィールド名を入力することはできません。



### 2 データ型を設定する。

マスタ画面 6

- ① **設定する項目をタッチします。**  
 マスタ画面7が表示されます。



- 半角フリー、半角数字、全角フリー、全角半角混在、価格タイプ、日付(加算)タイプ、日付タイプ、日付時間(加算)タイプ、日付時間タイプ、カウンター、プリセット、プリセット(フリー型)、グラフィック、税抜価格入力タイプ、税込価格入力タイプから選択します。
- 1つのマスタテーブルに必ずプリセットまたはプリセット(フリー型)フィールドを指定してください。設定されていない場合、登録できません。

### 3 桁数を設定する。

マスタ画面 7

① テンキーより数字を入力します。

② **(実行)** キーを押します。  
マスタ画面8が表示されます。

● データ型の内容と桁数については次の表を参照してください。

<データ型の内容と桁数について>

データ型	内 容	桁 数
半角フリー	半角のアルファベット、数字、記号、カタカナ文字	1～250桁
半角数字	半角の数字のみ	1～250桁
全角フリー	全角の漢字、アルファベット、数字、記号	1～250桁
全角半角混在	全角の漢字、アルファベット、数字、記号 半角のアルファベット、数字、記号	1～250桁
価格タイプ	価格表示（数字のみ）（“¥” “,” “円” 補填機能有）	1～14桁
日付（加算）タイプ	賞味期限、品質保持期限、有効期限表示等に利用します。	4桁固定 （桁数の入力はありません）
日付タイプ	製造日表示等に利用します。	1桁固定 （桁数の入力はありません）
日付時間（加算）タイプ	賞味期限、品質保持期限時間の表示等に利用します。	8桁固定 （桁数の入力はありません）
日付時間タイプ	製造日表示等に利用します。	1桁固定 （桁数の入力はありません）
カウンター	連番半角数字、前“0” 補填固定、最終データ保持機能有	1～10桁
プリセット	呼び出しコードとなります。半角数字（自動0補填）タイプのプリセットです。	5桁
プリセット（フリー型）	呼び出しコードとなります。半角数字（自動0補填）タイプのプリセットです。	3～15桁
グラフィック	グラフィック呼び出しコード	4桁固定 （桁数の入力はありません）
税抜価格入力タイプ	税抜きの価格表示（数字のみ）（“¥” “,” “円” 補填機能有）	1～14桁
税込価格入力タイプ	税込みの価格表示（数字のみ）（“¥” “,” “円” 補填機能有）	1～14桁

#### 4 入力確認を設定する。

データ入力時のチェック機能を選択します。

マスタ画面 8

- ① 設定する項目をタッチします。  
マスタ画面9が表示されます。

タッチキー名	はたらき
無	●入力データのチェックなし（未入力可能）。 マスタデータ登録時に入力データのチェックをしません。
未入力不可	●マスタデータ登録時にデータが入力されていないと登録できません。
未入力不可 (全桁必須)	●マスタデータ登録時に全桁データが入力されていないと登録できません。

#### 注 意

- データ型が日付(加算)タイプ、日付タイプ、日付時間(加算)タイプ、日付時間タイプを選択した場合は入力不可で自動設定となります。
- バーコード、カウンターは必ず“未入力不可(全桁必須)”を選択してください。

#### 5 重複を設定する。

マスタデータ登録時に入力データで同じデータが重複しているかをチェックするか否かを選択します。

マスタ画面 9

- ① 設定する項目をタッチします。  
マスタ画面10が表示されます。

タッチキー名	はたらき
有	同じデータの登録を可能とします。
無	同じデータの登録を不可とします。

## 6 履歴を設定する。

ラベル発行時に、発行履歴データとして保存するか否かを選択します。

マスタ画面 10

- ① 設定する項目をタッチします。  
マスタ画面11が表示されます。

マスタテーブル登録

基本フィールド設定 特別フィールド設定

フィールド名	データ型	桁数	入力確認	重複	履歴	参照	詳細	関連	機能
履歴					有				
					無				

操作ボタン: 挿入, 削除, コピー, 編集, 閉じる

## 7 参照を設定する。

プリセット発行画面で指定した項目を表示するか否かを設定します。

マスタ画面 11

- ① 設定する項目をタッチします。  
マスタ画面12が表示されます。

マスタテーブル登録

基本フィールド設定 特別フィールド設定

フィールド名	データ型	桁数	入力確認	重複	履歴	参照	詳細	関連	機能
参照						有1	有2	有3	
						無			

操作ボタン: 挿入, 削除, コピー, 編集, 閉じる

### 注意

- 「有」の設定可能数は1マスタテーブルに最大3項目になります。
- 有1～有3は「プリセット発行」、「バーコード検索発行」フィールド名を表示する順番になります。
- 「有」にしたフィールドは発行時に検索項目として使用できます。

## 8 詳細を設定する。

データ型を『カウンター』に設定した場合のみ有効になります。  
その他の場合は、マスタ画面13に進みます。

マスタ画面 12

### ① 設定する項目をタッチします。

- 同一内容枚数、カウント、連番有効桁数、下位無効桁数にタッチし、テンキーで数字を入力後(実行)キーを押します。
- カウント方法、カウント保持はタッチし、選択します。

フィールド名	データ型	桁数	入力確認	重複	履歴	参照	詳細	関連	機能
同一内容枚数									0001
カウント									0001
連番有効桁数									01
下位無効桁数									00
カウント方法									加算 減算
カウント保持									無 有

### ② すべてを入力後、**確定**にタッチします。

マスタ画面13が表示されます。

タッチキー名	はたらき
同一内容枚数	●カウントせずに同じデータで発行する枚数を設定します。設定範囲は1～9999です。
カウント	●カウント数を設定します。設定範囲は1～9999です。
連番有効桁数	●連番を有効とするデータの桁数を設定します。設定範囲は1～10です。
下位無効桁数	●連番するデータの低位無効桁数を設定します。設定範囲は0～10です。設定した桁数(下から)はカウントしません。
カウント方法	●カウント方法を「加算」、「減算」から選択します。
カウント保持	●カウント保持を「無」、「有」から選択します。

#### 【補足説明】

- カウント保持を「有」に選択した場合、プリセット発行、バーコード検索発行、記憶発行、スケジュール発行において、カウント保持対象となるマスタデータのカウンターフィールドデータを更新します。
- カウントを保持するタイミングは1アイテム発行終了後に行います。また、発行途中で電源をOFFにした場合にはカウントを保持することは出来ません。  
尚、プリセット発行、バーコード検索発行においてレイアウト登録でカウンターフィールドを発行時入力許可、またはマスタテーブルでカウンターフィールドを参照設定にした場合にはカウンターフィールドの画面表示を1アイテム発行終了ごとに更新します。

## 9 関連テーブルを設定する。

データ入力時に使用する単語テーブルを選択します。

マスタ画面 13

### ① フィールドに関連する単語テーブルをタッチし、選択します。

マスタ画面14が表示されます。

データ入力時に文字の入力画面で **テーブル** にタッチすると選択したテーブルのデータのみ入力できます。

フィールド名	データ型	桁数	入力確認	重複	履歴	参照	詳細	関連	機能
関連するテーブル									無し
									添加物テーブル
									単位テーブル
									日付けテーブル
									項目テーブル

## 10 フィールドの機能を設定する。

フィールドに関連付ける機能を設定します。

マスタ画面 14

### ① 設定する項目をタッチします。

マスタ画面3に戻ります。

次のような計算を行うときに指定する機能です。

【計算機能例】

150g ÷ 100g × 125円

(内容量) (定量) (単価)

= 187.50 → ¥190

販売価格 (1円の位四捨五入)

タッチキー名	はたらき
品名	●発行画面においてキー表示に使用されます。
計算機能 (定量、内容量)	●計算機能として使用されます。 ●データ型が半角数字に設定されているフィールドのみ指定可能です。
計算機能 (単価、販売価格)	●計算機能として使用されます。 ●データ型が価格タイプ、税抜価格入力タイプ、税込価格入力タイプに設定されているフィールドのみ指定可能です。

マスタ画面3で「閉じる」にタッチし、警告メッセージ表示画面で「はい」をタッチすると、データが保存されます。

〈データ型の設定項目と設定内容について〉

	桁数	入力確認	重複	履歴	参照	詳細	関連	機能
半角フリー	○	○	○	○	○	×	×	○
半角数字	○	○	○	○	○	×	×	○
全角フリー	○	○	○	○	○	×	○	○
全角半角混在	○	○	○	○	○	×	○	○
価格タイプ	○	○	○	○	○	×	×	○
日付(加算)タイプ	—	—	○	○	○	×	×	—
日付タイプ	—	×	○	○	○	×	×	—
日付時間(加算)タイプ	—	—	○	○	○	×	×	—
日付時間タイプ	—	×	○	○	○	×	×	—
カウンター	○	—	○	○	○	○	×	○
プリセット	—	—	—	○	×	×	×	○
プリセット(フリー型)	○	—	—	○	×	×	×	○
グラフィック	—	○	○	○	○	×	×	○
税抜価格入力タイプ	○	○	○	○	○	×	×	○
税込価格入力タイプ	○	○	○	○	○	×	×	○

○：設定項目    ×：設定不可項目    —：自動設定

### 注意

- 計算機能を使用する場合；計算機能(定量)、計算機能(単価)、計算機能(内容量)、計算機能(販売価格)の全てのフィールドを登録してください。

## ⑤ マスタテーブルの特別フィールド設定

マスタテーブルの特別フィールドを設定します。

マスタ画面3において **特別フィールド設定** にタッチすると、次の画面（マスタ画面15）が表示されます。

### 1 基本フィールドの設定を確認する。

特別フィールド設定を行う前に基本フィールドの設定を行う必要があります。

マスタ画面 15

#### ① **はい** をタッチします。

基本フィールド設定を登録し、マスタ画面16が表示されます。

**いいえ** にタッチすると設定せずにマスタ画面3に戻ります。

### 2 特別フィールドを設定する。

マスタ画面 16

- ① フィールドデータの空欄にタッチして選択し、**編集** にタッチします。各バーコードの設定画面が表示されます。それぞれの項目を参照してください。

<マスタ画面16のキー説明>

タッチキー名	はたらき
基本フィールド設定	●品名、原材料、内容量などの商品データの設定を行います。
▲・▼	●フィールドの一覧を切り替えます。
挿入	●フィールドの挿入を行います。
削除	●フィールドの削除を行います。
リンク設定	●バーコードのデータを生成するフィールドの設定を行います。
編集	●選択したフィールドの編集を行います。
検索設定	●バーコード検索発行時の検索バーコードを設定します。
閉じる	●設定内容が変更されている場合は、警告メッセージが表示されます。変更内容を保存する場合は「はい」を、保存しない場合は「いいえ」を選択してください。



### 3 フィールド名を設定する。

マスタ画面 17

① フィールド名を入力します。

ここでは商品コードと入力しています。

② **確定**→**実行**キーまたは**閉じる**

を押します。

マスタ画面18が表示されます。

## 4 データ型を設定する。

バーコード種を選択します。

- ① 設定するバーコードをタッチします。  
マスタ画面19が表示されます。

▲・▼でバーコード一覧を切り替えます。



マスタ画面 18

フィールド名	データ型	構成	C/D設定	入力型	桁数
JAN/EAN13	JAN13 (プライスCD)			JAN/EAN8	
UPC-A	UPC-E			NW-7	
CODE39	インターリブド 2of5			インダストリアル 2of5	
マトリックス 2of5	CODE93			CODE128	
UCC/EAN128	カスタマバーコード			UPCアドオンコード	



フィールド名	データ型	構成	C/D設定	入力型	桁数
EAN128	PDF 417			マイクロPDF	
MAXI コード	QRコード (モデル2)			QRコード (モデル1)	
マイクロ QR コード	データマトリックス			EAN, UCC合成シンボル	



## 5 バーコードのフィールド設定をする。

### 5-1 データ型がEAN128以外の場合

※EAN128の場合は、「5-2 EAN128の場合」62ページを参照してください。

#### 5-1-1 構成を設定する。

バーコードデータを生成するフィールドが単一か複数かを選択します。

- ① 設定する項目をタッチします。  
マスタ画面20が表示されます。

マスタ画面 19

フィールド名	データ型	構成	C/D設定	入力型	桁数
		単一			
		複数			

タッチキー名	はたらき
単一	●基本フィールドの単一フィールドのデータを全桁バーコードに反映する場合に選択します。
複数〔複数(数字)、複数(英数)、 複数(漢字)、複数(混在)〕	●基本フィールドの複数フィールドのデータを全桁バーコードに反映する場合に選択します。

**【補足説明】**

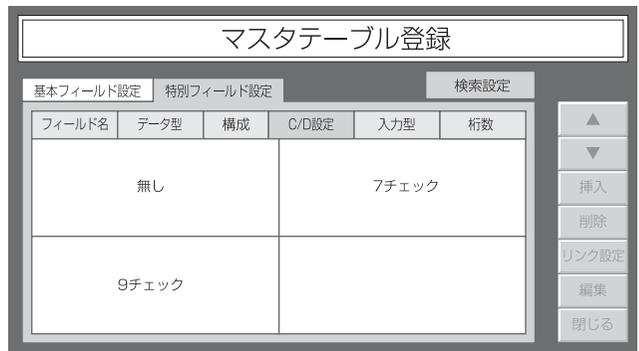
- EAN.UCC合成シンボルの場合、「複数」が自動設定されます。

### 5-1-2 C/Dを設定する。

C/Dを使用するバーコードでC/Dの有無と種類を設定します。

マスタ画面 20

- ① 設定する項目をタッチします。  
マスタ画面 21 が表示されます。



バーコードの種類によりC/Dの種類も異なります。

バーコード種	C/D設定
JAN/EAN 1 3	モジュラス10
JAN 1 3 (プライスCD)	モジュラス10
JAN/EAN8	モジュラス10
UPC-A	自動付加
UPC-E	自動付加
NW-7	7チェック/9チェック/無し
CODE39	モジュラス43/無し
インターリブド 2of5	モジュラス10/無し
CODE93	自動付加
CODE128	自動付加
UCC/EAN128	自動付加
カスタマバーコード	自動付加

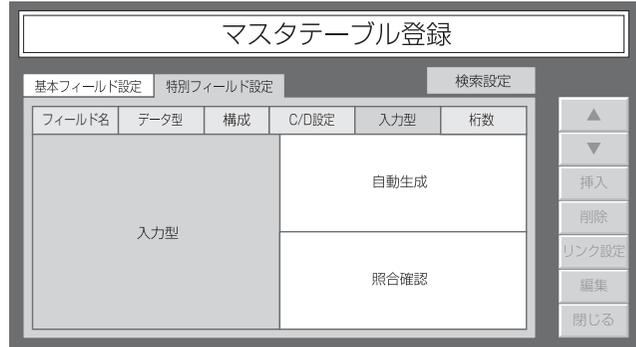


### 5-1-3 入力型を設定する。

C/Dを使用するバーコードで「自動生成」か「照合確認」の設定を行います。

マスタ画面 21

- ① 設定する項目をタッチします。  
マスタ画面 22 が表示されます。



タッチキー名	はたらき
自動生成	●C/Dを除くデータを入力し、C/Dを自動計算して生成する機能です。
照合確認	●C/Dを含む全桁データを入力した場合、入力したC/Dが合っているか照合チェックする機能です。

#### 【補足説明】

- EAN/JAN、UPC-A、CODE39、インターリブド2of5で構成が単一を選択した場合は「自動生成」か「照合確認」を選択することができます。
- EAN/JAN、UPC-A、CODE39、インターリブド2of5 で構成が複数を選択した場合と「自動生成」を選択した場合は「自動生成」に自動で設定されます。変更は行えません。
- CODE39、インターリブド2of5を選択した場合でC/D無しを選択した場合は入力型「自動生成」、「照合確認」設定できません。

## 5-1-4 桁数を設定する。

バーコードのデータ桁数を（C/D含む、スタート・ストップコードは除く）設定します。

マスタ画面 22

① テンキーで数字を入力します。

② **実行** キーを押します。

マスタ画面16に戻ります。

- NW-7の場合はスタート/ストップコードを含む桁数を設定します。  
CODE128の場合は、スタートコードを含む桁数を設定します。
- UPCアドオンコードでは2、5桁のみの設定となります。
- EAN.UCC合成シンボルでは1次元コードと2次元コードを合わせて最大120桁となります。

※1次元コードに指定可能な最大桁数

RSS-14	13桁
RSS-14 Truncated	13桁
RSS-14 Stacked	13桁
RSS-14 Stacked Omnidirectional	13桁
RSS Limited	13桁
UPC-A	11桁
UPC-E "XX00000XXX" (Xが可変部分)の形式で1次元データを指定します。	10桁固定
EAN13	12桁
EAN8	7桁
UCC/EAN128 with CC-A/B	48桁
UCC/EAN128 with CC-C	48桁

尚、1次元コードと2次元コードの区切りとしてリンクフィールド名に「区切り指定」の設定を行います。



## 5-2 データ型がEAN128の場合

※EAN128以外の場合は、「5-1 EAN128以外の場合」58ページを参照してください。

注) データ型EAN128は、原材料入出荷・履歴情報遡及システムガイドライン第1版（流通システムセンター、流通コードセンターが発行）に基づくEAN128を発行することができます。

### 5-2-1 構成を設定する。

「原材料現品表示用」を選択します。

マスタ画面 23

- ① 「原材料現品表示用」をタッチします。  
マスタ画面 24 が表示されます。

フィールド名	データ型	構成	工場コード	文字種	桁数
原材料現品表示用					



### 5-2-2 工場コードを設定する。

原材料工場コードの有り・無しを設定します。

マスタ画面 24

- ① 設定する項目をタッチします。  
マスタ画面 25 が表示されます。

フィールド名	データ型	構成	工場コード	文字種	桁数
原材料工場コード無し					
原材料工場コード有り					

タッチキー名	はたらき
原材料工場コード無し	原材料コードの設定が無効となります。
原材料工場コード有り	原材料コードの設定が有効となります。

### 5-2-3 文字種を設定する。

ロット番号文字種の設定を行います。

マスタ画面 25

- ① **ロット番号文字種**をタッチします。  
マスタ画面 26 が表示されます。

フィールド名	データ型	構成	工場コード	文字種	桁数
ロット番号文字種	数字		はたらき	英数字	10

タッチキー名	はたらき
数字	数字のみのデータとなります。
英数字	英数字のデータとなります。

### 5-2-4 桁数を設定する。

ロット番号のデータ桁数を設定します。

マスタ画面 26

- ① **テンキー**で数字を入力します。
- ② **実行**キーを押します。  
マスタ画面16に戻ります。

フィールド名	データ型	構成	工場コード	文字種	桁数
ロット番号桁数	数字		はたらき		[ 10 ] 桁

#### 【補足説明】

- ロット番号桁数は1～20桁まで設定可能です。

〈バーコードの設定項目と設定内容について〉

	構成	入力確認	関連	機能
JAN/EAN13	○	－	○ (－)	－
JAN13 (プライスCD)	－	－		－
JAN/EAN8	○	－	○ (－)	－
UPC-A	○	－	○ (－)	－
UPC-E	○	－	×	－
NW-7	－	－	×	○
CODE39	○	○	○	○
インターリブド2of5	○	○	○	○
インダストリアル2of5	○	○	×	○
マトリックス2of5	○	×	×	○
CODE93	○	×	×	○
CODE128	－	×	×	○
UCC/EAN128	○	×	×	－
カスタマバーコード	○	×	×	○
UPCアドオンコード	○	×	×	○
EAN128	○	×	×	○
PDF417	○	×	×	○
マイクロPDF	○	×	×	○
MAXIコード	○	×	×	○
QRコード (モデル2)	○	×	×	○
QRコード (モデル1)	○	×	×	○
マイクロQRコード	○	×	×	○
データマトリックス	○	×	×	○
EAN.UCC合成シンボル	－	×	×	○

○：設定項目    ×：設定不可項目    －：自動設定

※JAN/EAN13、JAN/EAN8、UPC-Aの入力型は、構成で単一を設定した場合は設定項目になり、複数を設定した場合は自動設定になります。

## ⑥ マスタテーブルの特別フィールドリンク設定

### 1 データ型がEAN128以外の場合

※EAN128の場合は、「2 データ型がEAN128の場合」68ページを参照してください。

リンク設定の詳細設定追加、修正、削除を行います。

マスタ画面16において「リンク設定」にタッチすると、次の画面（マスタ画面27）が表示されます。

マスタ画面 27

- ▲・▼でリンクフィールド一覧を切り替えます。
- リンクフィールド数は最大50フィールドです。

リンクフィールド名	桁数	固定値/補填	取得位置	取得位置
固定	002	02		
価格	005	右寄せ0補填	001	005
アイテムコード	005	右寄せ0補填	001	005

#### 1-1 リンクフィールド名を設定する。

マスタ画面 28

- ① **追加**または設定されているリンクフィールドにタッチして選択し、**修正**にタッチします。  
右のマスタ画面28が表示されます。

- ② **設定する項目**をタッチします。  
**固定値**、基本フィールドの項目から選択します。

リンクフィールド名	桁数	固定値/補填	取得位置	取得桁
固定値				
F01 : [005] 価格				
F03 : [005] アイテムコード				

- NW-7の場合は先頭にスタートコード、最後尾にストップコードを設定します。  
CODE128の場合は先頭にスタートコードを設定します。
- EAN.UCC合成シンボルの場合1次元コードと2次元コードの区切りとしてリンクフィールド名に「区切り指定」の設定を行います。

## 1-2 桁数、固定値を設定する。

- ① 桁数の入力になります。
- ② テンキーで数字を入力し、**実行**キーを押します。  
文字の入力画面が表示されます。
- ③ 固定値の入力になります。
- ④ 固定値を入力します。
- ⑤ **実行**キーまたは**閉じる**を押します。  
桁数、固定値が登録され、マスタ画面 27 に戻ります。

固定を選択した場合



マスタ画面 29

マスタテーブル登録

リンクフィールド名	桁数	固定値/補填	取得位置	取得桁
桁数		[ 02] 桁		
固定値		49		

- 桁数で設定できるデータは最大10桁です。
- 固定値で桁数分の設定を行っていない場合は入力エラーとなります。

## 1-3 補填を設定する。

生成するデータの補填機能を選択します。

- ① 設定する項目をタッチします。  
画面30が表示されます。

基本フィールドを選択した場合



マスタ画面 30

マスタテーブル登録

リンクフィールド名	桁数	固定値/補填	取得位置	取得桁
補填		0：補填なし 1：右寄せ0補填 2：左寄せ0補填 3：右寄せスペース補填 4：左寄せスペース補填		

### 注 意

- リンクフィールドにデータ型が価格タイプ、税抜価格入力タイプ、税込価格入力タイプのフィールドを選択した場合、補填機能は自動的に右寄せ0補填になります。
- 基本フィールドマスタテーブル登録の入力確認を「無」、「未入力不可」に設定した場合、生成するデータに注意して補填機能を設定してください。  
入力確認を「未入力不可(全桁必須入力)」に設定した場合、本項目の設定は無効になります。

## 1-4 取得位置、取得桁を設定する。

① 取得位置の入力になります。

② テンキーで数字を入力し、**実行**キーを押します。

③ 取得桁の入力になります。

④ テンキーで数字を入力し、**実行**キーを押します。

取得位置、取得桁が登録され、  
マスタ画面27に戻ります。



マスタ画面 31

リンクフィールド名	桁数	固定値/補填	取得位置	取得桁
取得位置			[001]	
取得桁			[005] 桁	

タッチキー名	はたらき
取得位置	先頭何桁目からのデータを取得するかを設定します。
取得桁	取得位置から何桁のデータを取得するかを設定します。

## 2 データ型がEAN128の場合

※EAN128以外の場合は、「1 データ型がEAN128以外の場合」65ページを参照してください。

リンク設定の詳細設定追加、修正、削除を行います。

マスタ画面32において **リンク設定** にタッチすると、次の画面（マスタ画面32）が表示されます。

マスタ画面 32

- ▲・▼でリンクフィールド一覧を切り替えます。
- リンクフィールド数は最大50フィールドです。



### 2-1 リンクフィールド名を設定する。

マスタ画面 33

#### 2-1-1 AIの場合

- ① **追加** または設定されているリンクフィールドにタッチして**選択**し、**修正** にタッチします。  
右のマスタ画面33が表示されます。

- ② **設定する項目**をタッチします。  
AIの項目から選択します。AIは必ず設定します。

〈AIの設定順序について〉

AI	内容
01	商品コード 数字13桁
17	賞味期限 数字6桁
11	製造日 数字6桁
10、21	ロット番号 指定桁数
412	原材料工場コード 数字13桁

- AI : 412は原材料工場コード設定で「原材料工場コード有り」にした場合のみ設定可能となります。
- AI : 10の設定時にはAI : 21を代用して設定することができます。
- 賞味期限では数字「999999」をデータとして有効とします。
- 全てのAI指定が終了すると「確定」キーが有効となります。

## 2-1-2 固定、基本フィールド設定の場合

マスタ画面 34

- ① **追加**または設定されているリンクフィールドにタッチして選択し、**修正**にタッチします。

右のマスタ画面34が表示されます。

- ② **設定する項目をタッチします。**

設定する項目を直接タッチします。  
固定、基本フィールドの項目から選択します。

〈AIと選択する項目のデータ属性について〉

AI	選択項目
01の場合 10、21の場合 412の場合	固定値 プリセット プリセット（フリー型） 半角数字 半角フリー 価格タイプ 税抜価格入力タイプ 税込価格入力タイプ カウンター 日付タイプ 日付時間タイプ 日付（加算）タイプ 日付時間（加算）タイプ
17の場合 11の場合	固定値 半角数字 半角フリー 日付タイプ 日付時間タイプ 日付（加算）タイプ 日付時間（加算）タイプ

## 2-2 桁数、固定値を設定する。

- ① 桁数の入力になります。
- ② テンキーで数字を入力し、**実行**キーを押します。  
文字の入力画面が表示されます。
- ③ 固定値の入力になります。
- ④ 固定値を入力します。
- ⑤ **実行**キーまたは**閉じる**を押します。  
桁数、固定値が登録され、マスタ画面 32 に戻ります。

固定を選択した場合



マスタ画面 35

マスタテーブル登録

リンクフィールド名	桁数	固定値/補填	取得位置	取得桁
桁数		[ 02] 桁		
固定値		49		

- 桁数で設定できるデータは最大10桁です。
- 固定値で桁数分の設定を行っていない場合は入力エラーとなります。

## 2-3 補填を設定する。

生成するデータの補填機能を選択します。

- ① 設定する項目をタッチします。  
画面36が表示されます。

基本フィールドを選択した場合



マスタ画面 36

マスタテーブル登録

リンクフィールド名	桁数	固定値/補填	取得位置	取得桁
補填		0：補填なし 1：右寄せ0補填 2：左寄せ0補填 3：右寄せスペース補填 4：左寄せスペース補填		

### 注 意

- リンクフィールドにデータ型が価格タイプ、税抜価格入力タイプ、税込価格入力タイプのフィールドを選択した場合、補填機能は自動的に右寄せ0補填になります。
- 基本フィールドマスタテーブル登録の入力確認を「無」、「未入力不可」に設定した場合、生成するデータに注意して補填機能を設定してください。  
入力確認を「未入力不可(全桁必須入力)」に設定した場合、本項目の設定は無効になります。

## 2-4 取得位置、取得桁を設定する。

① 取得位置の入力になります。

② テンキーで数字を入力し、**実行**キーを押します。

③ 取得桁の入力になります。

④ テンキーで数字を入力し、**実行**キーを押します。

取得位置、取得桁が登録され、  
マスタ画面32に戻ります。



マスタ画面 37

リンクフィールド名	桁数	固定値/補填	取得位置	取得桁
取得位置			[001]	
取得桁			[005]桁	

タッチキー名	はたらき
取得位置	先頭何桁目からのデータを取得するかを設定します。
取得桁	取得位置から何桁のデータを取得するかを設定します。

## ⑦ マスタテーブルの特別フィールド検索設定

マスタテーブルの特別フィールド設定画面（マスタ画面16）でバーコード検索設定するフィールドにタッチして選択し、**検索設定**にタッチすると、次のマスタ画面28が表示されます。

### 1 バーコードを検索設定する。

バーコード検索発行で検索するフィールドと検索条件を設定します。

マスタ画面 28

① 特別フィールド設定画面で選択したフィールドがバーコード検索の対象フィールドになります。

② 検索するフィールドデータの条件を選択します。

**全桁**、**桁数指定** より選択します。

フィールド	JAN13	
検索条件	全桁	桁数指定
開始桁		
終了桁		

【検索条件を **桁数指定** に選択した場合】

③ 開始桁の入力になります。

テンキーで数字を入力し、**実行**キーを押します。

④ 終了桁の入力になります。

テンキーで数字を入力し、**実行**キーを押します。

⑤ **確定** にタッチします。

マスタ画面16に戻ります。

検索設定すると、マスタテーブルの特別フィールド設定画面(マスター画面16)の **検索設定** が赤色になります。

#### 注意

- バーコード検索設定にできるフィールドは、1マスタテーブルに1フィールドに限定されます。

## ⑧ 選択テーブルのフィールド設定

選択テーブルのフィールドを設定します。

選択画面3においてフィールドデータの空欄にタッチして選択し、**編集** にタッチします。文字の入力画面（選択画面4）が表示されます。

### 1 フィールド名を設定する。

#### ① フィールド名を入力します。

ここでは見出しと入力しています。

#### ② **確定** → **実行** キーまたは **閉じる** を押します。

選択画面5が表示されます。

選択画面 4

- 他のフィールドと重複したフィールド名を入力することはできません。

### 2 データ型を設定する。

#### ① 設定する項目をタッチします。

選択画面 5

フィールド名	データ型	桁数	入力確認	重複	参照
半角フリー	半角数字				全角フリー
全角半角混在	グラフィック				プリセット
プリセット (フリー型)					

- 半角フリー、半角数字、全角フリー、全角半角混在、グラフィック、プリセット、プリセット(フリー型)から選択します。
- 1つの選択テーブルに必ずプリセットまたはプリセット(フリー型)フィールドを指定してください。設定されていない場合、登録できません。

### 3 桁数を設定する。

選択画面 6

① テンキーで数字を入力します。

② **実行** キーを押します。  
 選択画面7が表示されます。

<データ型の内容と桁数について>

データ型	内 容	桁 数
半角フリー	半角のアルファベット、数字、記号、カタカナ文字	1～250桁
半角数字	半角の数字のみ	1～250桁
全角フリー	全角の漢字、アルファベット、数字、記号	1～250桁
全角半角混在	全角の漢字、アルファベット、数字、記号 半角のアルファベット、数字、記号	1～250桁
プリセット	呼び出しコードとなります。半角数字（自動0補填） タイプのプリセットです。	5桁固定
プリセット(フリー型)	呼び出しコードとなります。半角数字（自動0補填） タイプのプリセットです。	3～15桁
グラフィック	グラフィック呼び出しコード	4桁固定

#### 4 入力確認を設定する。

データ入力時のチェック機能を選択します。

選択画面 7

- ① 設定する項目をタッチします。  
選択画面8が表示されます。

フィールド名	データ型	桁数	入力確認	重複	参照
入力確認			無		
			未入力不可		
			未入力不可(全桁必須)		

タッチキー名	はたらき
無	●入力データのチェックなし（未入力可能）。 選択データ登録時に入力データのチェックをしません。
未入力不可	●選択データ登録時にデータが入力されていないと登録できません。
未入力不可 (全桁必須)	●選択データ登録時に全桁データが入力されていないと登録できません。

#### 5 重複を設定する。

選択データ登録時、入力データで同じデータが重複しているかをチェックするか否かを選択します。

選択画面 8

- ① 設定する項目をタッチします。  
選択画面9が表示されます。

フィールド名	データ型	桁数	入力確認	重複	参照
重複				有	
				無	

タッチキー名	はたらき
有	同じデータの登録を可能とします。
無	同じデータの登録を不可とします。



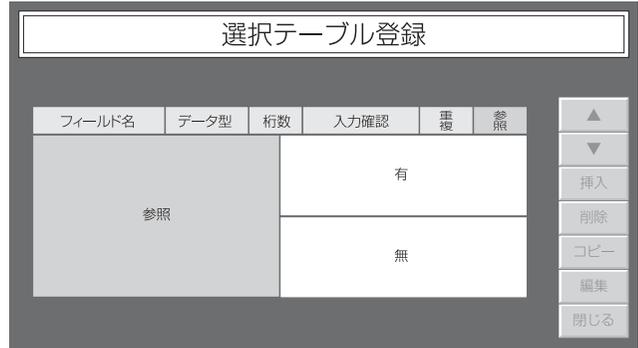
## 6 参照を設定する。

プリセット発行画面で指定した項目を表示するか否かを選択します。

選択画面 9

### ① 設定する項目を直接タッチします。

選択画面3に戻ります。



### 注意

- 「有」にしたフィールドは発行時に検索項目として使用できません。

選択画面3で「閉じる」にタッチし、警告メッセージ表示画面で「はい」にタッチするとデータが保存されます。

〈データ型の設定項目と設定内容について〉

	構成	入力確認	重複	参照
半角フリー	○	○	○	○
半角数字	○	○	○	○
全角フリー	○	○	○	○
全角半角混在	○	○	○	○
プリセット	—	—	—	×
プリセット(フリー型)	○	—	—	×
グラフィック	—	○	○	○

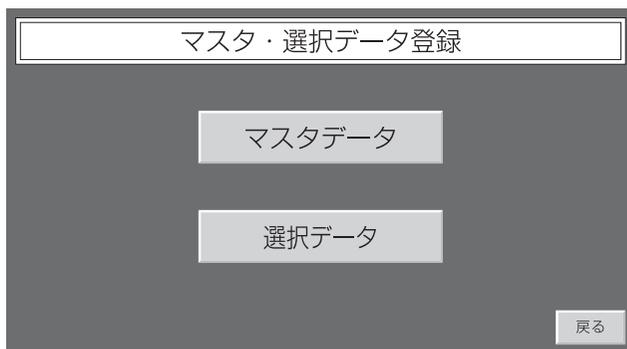
○：設定項目    ×：設定不可項目    —：自動設定

## 2. マスタ・選択データ登録

登録モード選択画面で「マスタ・選択データ」にタッチします。

マスタ・選択データ登録画面が表示されます。

- 「マスタデータ」または「選択データ」にタッチします。



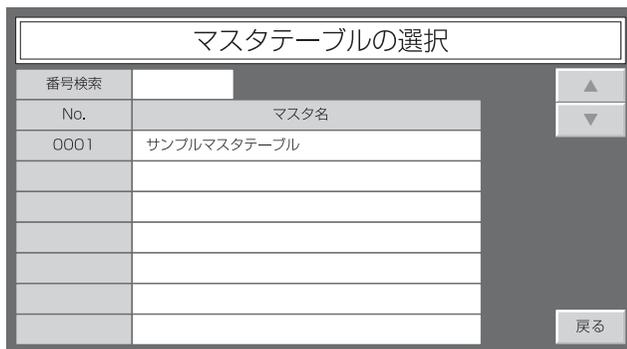
### ① マスタデータ登録

登録を行うマスタテーブルを選択します。

- ▲・▼ でマスタテーブルの一覧を切り替えます。
- テンキーで数字を入力し、(実行)キーを押すと入力したテーブルNo.のマスタテーブルから表示されます。

選択するマスタテーブルにタッチして選択します。

マスタテーブル選択画面



登録済みのマスタデータが表示されます。

修正、削除を行う場合は、マスタデータを選択してください。

- ▲・▼ でマスタデータの一覧を切り替えます。
- テンキーで数字を入力し、(実行)キーを押すと入力したプリセットNo.のマスタデータから表示されます。

マスタデータ登録画面



## 1 マスタデータを追加する。



追加処理画面

- ▲ マスタデータ登録画面で「追加」にタッチします。  
右の追加処理画面が表示されます。

マスタデータ登録	
フィールド名	データ
品種	品種01
プリセット	00004
品名	
名称	
原材料名	
製造日	
加算日	
保存方法	

▲

▼

レイアウト

リンク

複製

確定

戻る

- ① データ欄に先頭フィールドから順に入力します。

- ② 「確定」にタッチします。

マスタテーブルが登録され、登録後、マスタデータ登録画面に戻ります。

マスタテーブルで設定した項目以外に「品種」、リンクを登録することができます。

### 品種欄

品名キーに対する品種を指定します。指定する品種の色がプリセット発行画面で表示する品名キーの色になります。

指定された品種に応じて、キーの色が決定されます。

マスタデータ登録				
品種	品種	品種	品種	品種
品種	品種	品種	品種	品種
品種	品種	品種	品種	品種
品種	品種	品種	品種	品種
品種	品種	品種	品種	品種
品種	品種	品種	品種	品種
品種	品種	品種	品種	品種
品種	品種	品種	品種	品種
品種	品種	品種	品種	品種

戻る

### リンク

選択データの初期値を設定します。

プリセット発行において選択データの入力が必要なレイアウトで初期値として表示します。

選択データのリンク設定		
No.	選択テーブルNo.	選択データNo.
1	0001 選択テーブル1	00001
2	0001 選択テーブル2	00002
3	0001 選択テーブル3	00003
4		
5		

編集

削除

戻る



**レイアウト**

レイアウト一覧画面になります。  
 マスタデータにレイアウトを設定  
 します。

- ① マスタデータに設定するレイアウトをタッチします。設定後、マスタデータ登録画面に戻ります。

レイアウト選択	
番号検索	0001
No.	レイアウト名
0001	レイアウト1
0002	レイアウト2
0003	レイアウト3
0004	レイアウト4
0005	レイアウト5
0006	レイアウト6
0007	レイアウト7

▲  
▼  
解除  
戻る

- マスタデータ登録時にレイアウトNoを指定するとマスタデータの登録画面を終了するまで入力Noを一時的に保持します。マスタデータの登録画面を終了した際には保持している入力Noは破棄されます。
- マスタデータ登録時にレイアウトNoを指定するとレイアウトに登録されているマスタテーブルのフィールドを「背景：黄色、文字：黒色」として表示します。それ以外のフィールドは通常の「背景：水色、文字：黒色」で表示します。
- **解除** ボタンは、マスタデータに設定されたレイアウトを解除します。解除後、マスタデータ登録画面に戻ります。
- マスタデータにレイアウトを設定することでプリセット発行・バーコード検索発行の際に設定されたレイアウトに自動的に切り替えて発行することができます。

### 3 マスタデータを削除する。

- ① マスタデータ登録画面で登録されているマスタデータにタッチして選択し、**削除**にタッチします。  
 削除確認画面が表示されます。

- ② **はい** または **いいえ** にタッチします。  
**はい** にタッチすると削除してマスタデータ登録画面に戻ります。

## ② 選択データ登録

選択する選択テーブルにタッチして選択してください。

- ▲・▼ で選択テーブルの一覧を切り替えます。
- テンキーで数字を入力し、**実行** キーを押すと入力したテーブルNo. の選択テーブルから表示されます。

選択テーブル選択画面

選択テーブルの選択	
番号検索	
No.	選択マスタ名
0001	社名テーブル

戻る

登録済みの選択データが表示されます。  
修正、削除を行う場合は、選択データを選択してください。

- ▲・▼ で選択データの一覧を切り替えます。
- テンキーで数字を入力し、**実行** キーを押すと入力したプリセットNo. の選択データから表示されます。

選択データ登録画面

選択データ登録	
番号検索	
No.	社名
00001	サトー食品株式会社
00002	サトーフーズ株式会社
00003	有限会社佐藤商事

追加  
修正  
削除  
詳細  
戻る

### 1 選択データを追加する。

- ▲ 選択データ選択画面で**追加**にタッチします。  
右の追加処理画面が表示されます。

追加処理画面

- ① データ欄に先頭フィールドから順に入力します。
- ② **確定** にタッチします。  
選択データが登録され、選択データ登録画面に戻ります。

選択データ登録	
フィールド名	データ
プリセット	00004
社名	
住所	
電話番号	

複製  
確定  
戻る

**複製**

登録されているプリセットを複製します。

複製するプリセットを選択します。

選択データの選択	
番号検索	
No.	社名
00001	サトー食品株式会社
00002	サトーフーズ株式会社
00003	有限会社佐藤商事

戻る

## 2 選択データを修正する。

▲ 選択データ登録画面で登録されている選択データにタッチして選択し、**修正**にタッチします。

① **修正するデータ欄**にタッチし、修正します。

② **確定**にタッチします。

選択データが登録され、選択データ登録画面に戻ります。

## 3 選択データを削除する。

① 選択データ登録画面で登録されている選択データにタッチして選択し、**削除**にタッチします。

削除確認画面が表示されます。

② **はい**または**いいえ**にタッチします。

**はい**にタッチすると削除して選択データ登録画面に戻ります。

#### 4 選択テーブルの詳細。

- ▲ 選択データ登録画面で「詳細」にタッチします。  
右の詳細画面が表示されます。

- データ欄にタッチすることで詳細の情報を確認できます。
- 「前データ」、「次データ」にタッチすると、前および次の選択データを表示します。



詳細画面

選択データ登録	
フィールド名	データ
プリセット	00001
見出し	製造者
社名	株式会社サトー食品
住所	東京都渋谷区恵比寿4-9-10
電話番号	03-9999-9999

▲  
▼

前データ  
次データ  
戻る

### 3. レイアウト登録

ここではラベルを発行するために必要なフォーマットを作成するレイアウト登録について説明します。

#### ① レイアウト登録の概要

登録を行うマスタテーブルを選択します。

- ▲・▼ でマスタテーブルの一覧を切り替えます。
- テンキーで数字を入力し、(実行) キーを押すと入力したテーブルNo. のマスタテーブルから表示されます。

選択するマスタテーブルにタッチします。

登録済みのレイアウトデータが表示されます。

修正、削除を行う場合は、レイアウトを選択してください。

- ▲・▼ でレイアウト一覧を切り替えます。
- テンキーで数字を入力し、(実行) キーを押すと入力したレイアウトNo. のレイアウトデータから表示されます。

番号検索		
No.	マスタ名	
0001	サンプルマスタテーブル	
0002	サンプルマスタテーブル2	



レイアウト選択画面

番号検索		
No.	レイアウト名	
0001	ラベルレイアウト0001	
0002	サンプルラベルレイアウト	

#### 1 レイアウトを追加する。

① [追加] にタッチします。  
自動的に設定されていない空番号が表示されます。

② 変更する場合はテンキーで数字を入力し、レイアウトNo.を指定します。

③ レイアウト名の空欄にタッチします。  
文字の入力画面が表示されます。  
レイアウト名を入力します。



追加処理画面 ①

No.	0003
レイアウト名	

- ④ **実行**キーまたは**閉じる**を押します。  
レイアウト名が確定され、**実行**キーまたは**確定**をタッチすると、右の追加処理画面2が表示されます。



追加処理画面 2

レイアウト追加処理			
縦ラベルサイズ	200.00	横ラベルサイズ	104.00
印字濃度	A	印字濃度レベル	環境設定値
印字速度	環境設定値	印字方向	頭出し
カット指定	無効	カット枚数	0000
2列取り	無効	2列取りサイズ	12.50
2列取りギャップ	00.00	センサタイプ	環境設定値
縦基点補正值	+00.00	横基点補正值	+00.00
選択データNo保持	無効		
			確定
			戻る

- ⑤ レイアウトの追加処理を行います。

- 各項目にタッチし、選択してください。
- ①、②、⑧、⑩、⑪、⑬、⑭ はテンキーで数字を入力します。
- 選択後は **確定** にタッチします。レイアウト追加処理画面が表示されます。

<追加処理画面2のキー説明>

番号	タッチキー名	はたらき
①	縦ラベルサイズ	●設定範囲は15.00～200.00(mm)になります。 ●初期値は環境設定のプリンタ設定で設定している値になります。
②	横ラベルサイズ	●設定範囲は25.00～104.00 (mm)になります。 ●初期値は環境設定のプリンタ設定で設定している値になります。
③	印字濃度	●印字濃度を「A」、「B」、「C」、「E」から選択します。
④	印字濃度レベル	●印字濃度レベルを「1」、「2」、「3」、「4」、「5」、「環境設定値」から選択します。
⑤	印字速度	●印字速度を「2」、「3」、「4」、「5」、「6」、「7」、「8」、「9」、「10」、「環境設定値」から選択します。
⑥	印字方向	●印字方向を「頭出し」、「尻出し」から選択します。
⑦	カット指定	●カット動作を「無効」、「有効」から選択します。
⑧	カット枚数	●何枚毎にカットするかを指定します。本設定項目は⑦「カット指定」を「有効」に設定した場合にのみ設定可能となります。設定範囲は0000～9999になります。
⑨	2列取り	●2列取りの有無を選択します。「無効」、「有効」から選択します。
⑩	2列取りサイズ	●2列取りサイズを指定します。本設定項目は⑨「2列取り」を「有効」に設定した場合にのみ設定可能となります。設定範囲は12.50～52.00(mm)になります。
⑪	2列取りギャップ	●2列取りギャップサイズを入力します。本設定項目は⑨「2列取り」を「有効」に設定した場合にのみ設定可能となります。設定範囲は00.00～99.00 (mm)になります。
⑫	センサタイプ	●使用するセンサタイプを「反射センサ」、「ギャップセンサ」、「センサ無視」、「環境設定値」から選択します。
⑬	縦基点補正值	●縦基点補正值をテンキーで入力します。設定範囲は-66.00～66.00 (mm)になります。
⑭	横基点補正值	●横基点補正值をテンキーで入力します。設定範囲は-66.00～66.00 (mm)になります。
⑮	選択データNo.保持	●レイアウトのフィールドに選択テーブルを指定している場合、発行時に指定した選択データNo.の保持の有無を「無効」、「有効」から選択します。

⑥ 設定するフィールドを指定します。

フィールドの空欄にタッチして選択し、**編集**にタッチします。

↓ レイアウト処理追加画面

↓

フィールドのパラメータの属性を指定します。

マスタテーブル、選択テーブル、テキスト、罫線・枠線、グラフィック、白黒反転より選択します。

▲マスタテーブル設定については、「②マスタテーブルのフィールド指定」を参照してください。→88ページ  
 選択テーブル設定については、「③選択テーブルのフィールド指定」を参照してください。→123ページ  
 テキストの設定については、「④テキストを選択した場合」を参照してください。→129ページ  
 罫線・枠線の設定については、「⑤罫線・枠線を選択した場合」を参照してください。→132ページ  
 グラフィックの設定については、「⑥グラフィックを選択した場合」を参照してください。→133ページ  
 白黒反転の設定については、「⑦白黒反転を選択した場合」を参照してください。→135ページ

**プレビュー**

印字イメージを表示します。

↑、↓、→、←でプレビュー領域が上下左右にスクロールします。



## ②マスタテーブルのフィールド指定

- マスタテーブルからレイアウトで印字するフィールドを指定します。

フィールド指定画面

- ▲・▼ でフィールドパラメータの一覧を切り替えます。

- ① フィールド名にタッチします。  
フィールドパラメータ指定画面が表示されます。

- ② 各項目にタッチし、選択または、  
テンキーで入力します。  
詳細設定 にタッチすると、各フィールドの詳細設定画面に切り替わります。詳細は、表「データ型の設定項目について」を参照してください。→94ページ

- ③ **確定** にタッチします。  
レイアウト修正処理画面2に戻ります。

マスタテーブルのフィールド指定

フィールド名	データ型	桁数	入力確認	書	歴	念	詳	開	機
プリセット	プリセット	005	未入力不可(	無	無	無	無	無	無
品名	全角フリー	015	無	有	有	無	無	無	品
原材料	全角フリー	100	無	有	無	無	無	添	無
内容量	半角数字	005	未入力不可	有	無	2	無	無	無
価格	半角数字	005	無	有	無	1	無	無	無
賞味期限	日付増減(加)	008	未入力不可(	有	無	無	無	無	無
保存方法	全角フリー	030	無	有	無	無	無	日	無



フィールドパラメータ指定画面

フィールドパラメータの指定

発行時入力	不可
横位置	000.00 (mm)
縦位置	000.00 (mm)
幅×高さ	制限無し
詳細設定	x1 (30×75)

<フィールドパラメータ指定画面のキー説明>

タッチキー名	はたらき
発行時入力	<ul style="list-style-type: none"> <li>●発行時の入力を「不可」、「許可」から選択します。</li> <li>●「許可」を選択すると、ラベル発行時に入力データの変更を行うことができます。</li> </ul>
横位置	●横位置をテンキーで入力します。設定範囲は000.00~104.00(mm)になります。
縦位置	●縦位置をテンキーで入力します。設定範囲は000.00~200.00(mm)になります。
幅×高さ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●フィールドの印字範囲を入力します。 設定した範囲内で、右揃え、スペース均等、自動改行等が有効になります。</li> <li>●サイズ指定を「制限有り」に設定した場合のみ設定可能となります。</li> <li>●設定範囲は、幅000.00~104.00(mm)、高さ000.00~200.00(mm)になります。</li> <li>●詳細は、「文字の配置を変えて印字するときは」を参照してください。→176ページ</li> </ul>
詳細設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>●タッチすると詳細設定画面が表示されます。</li> <li>●フィールド名のデータタイプによって詳細設定画面が異なります。</li> </ul>

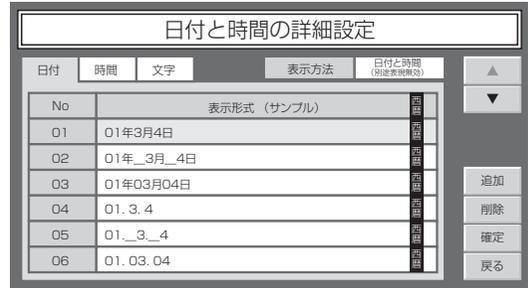
## 1 日付関連の場合

指定したフィールドのデータタイプが、「日付（加算）タイプ」、「日付タイプ」、「日付時間（加算）タイプ」、「日付時間タイプ」のいずれかであった場合、以下の画面が表示されます。

日付の表示形式画面

### 1-1 日付の表示形式設定

- 各項目にタッチし、選択、設定してください。
- **表示方法**は「日付のみ」、「時間のみ」、「日付と時間」から選択します。
- 選択後は**確定**にタッチします。フィールドパラメータの指定画面に戻ります。



<年月日の表示書式>

西暦	2001：西暦4桁、01：西暦2桁
和暦	1：和暦（左詰め）、_1:和暦（前にスペースを付加）、01：和暦（前に0を付加）
月	3：月（左詰め）、_3：月（前にスペースを付加）、03：月（前に0を付加）
日	4：日（左詰め）、_4：日（前にスペースを付加）、04：日（前に0を付加）
和暦年号	平：和暦1桁、平成：和暦2桁
スペース	□：全角スペース、_：半角スペース

<年月日のサンプル>

01年3月4日	01年_3月_4日	01年03月04日
01.3.4	01._3._4	01.03.04
010304		
2001年3月4日	2001年_3月_4日	2001年03月04日
2001.3.4	2001._3._4	2001.03.04
20010304		
1年3月4日	1年_3月_4日	1年03月04日
1.3.4	1._3._4	1.03.04
10304		
平1年3月4日	平成1年_3月_4日	1年03月04日
平成1.3.4	平成1._3._4	1.03.04
10304		

【 追加 にタッチした場合 】



日付表示形式の追加画面

年月日の表示形式を作成し、追加することができます。  
 右の日付表示追加画面が表示されます。

① 各項目にタッチし、選択します。

③ 確定 にタッチしてください。

内容を確定し、日付の詳細設定画面に戻ります。

<日付表示形式追加画面のキー説明>

タッチキー名		はたらき
年	表示形式	●年数の表示形式を「西暦2桁」、「西暦4桁」、「和暦」から選択します。
	1桁の場合	●和暦の年数が1桁の場合における表示形式を「左詰め(1~99)」、「前に空白を付加(1~99)」、「前に0を付加(01~99)」から選択します。 ●表示形式で「和暦」を選択した場合にのみ選択可能になります。
	年号	●和暦の年号の表示形式を「漢字1文字(昭・平)」、「漢字2文字(昭和・平成)」から選択します。 ●表示形式で「和暦」を選択した場合にのみ選択可能になります。
月	表示形式	●月数の表示形式を「数字(1~12)」、「英語(January)」、「英語(Jan)」から選択します。
	1桁の場合	●月数が1桁の場合における表示形式を「左詰め(1~12)」、「前に空白を付加(1~12)」、「前に0を付加(01~12)」から選択します。
日	1桁の場合	●日数が1桁の場合の表示形式を「左詰め(1~31)」、「前に空白を付加(1~31)」、「前に0を付加(01~31)」から選択します。
日付表示形式		●日付の表示形式を設定します。無の奇数番目はデータ型、偶数番目は区切り文字になります。 ●「年」、「月」、「日」の順序と各項目の区切り文字を選択します。 ●日付表示形式の選択項目はデータ型を「無」、「年」、「月」、「日」、「年号(和暦のみ)」、区切り文字を「無」、「全角スペース」、「半角スペース」、「 」、「/」、「-」、「.」、「年」、「月」、「日」から選択します。

1-2 時間の表示形式設定

時間の表示形式画面

- 各項目にタッチし、選択、設定してください。
- 表示方法は「日付のみ」、「時間のみ」、「日付と時間」から選択します。
- 選択後は 確定 にタッチします。フィールドパラメータの指定画面に戻ります。

<時間の表示書式>

午前/午後	AM : AM/PM、am : am/pm、A : A/P、a : a/p、午前 : 午前/午後
時間	_5 : 時間 (前にスペースを付加)、05 : 時間 (前に0を付加)、5 : 時間 (左詰め)
分	_6 : 分 (前にスペースを付加)、06 : 分 (前に0を付加)、6 : 分 (左詰め)
スペース	□ : 全角スペース、_ : 半角スペース

<時間のサンプル>

5時6分	AM 5時6分	午前5時6分
5時	AM 5時	午前5時
5 : 06	AM 5 : 06	午前5 : 06
5	AM 5	午前5



時間表示形式の追加画面



【追加にタッチした場合】

時間の表示形式を作成し、追加することができます。  
右の時間表示追加画面が表示されます。

① 各項目にタッチし、選択してください。

② 確定にタッチします。

内容を確定し、時間の表示形式設定画面に戻ります。

<時間表示形式追加画面のキー説明>

タッチキー名		はたらき
時	表示形式	●時間の表示形式を「12時間」、「24時間」から選択します。
	1桁の場合	●時間の値が1桁の場合における表示形式を「左詰め(1~12)」、「前に空白を付加(1~12)」、「前に0を付加(01~12)」から選択します。
	記号	●午前/午後の表示形式を「AM/PM」、「A/P」、「am/pm」、「a/p」、「午前/午後」から選択します。 ●表示形式で「12時間制」を選択した場合にのみ選択可能になります。
分	1桁の場合	●分の値が1桁の場合の表示形式を「左詰め(1~59)」、「前に空白を付加(1~59)」、「前に0を付加(01~59)」から選択します。
時間表示形式		●時間の表示形式を設定します。無の奇数番目はデータ型、偶数番目は区切り文字になります。 ●選択項目はデータ型を「無」、「時」、「分」、「記号(12時間のみ)」、区切り文字を「無」、「全角スペース」、「半角スペース」、「:」、「/」、「-」、「.」、「時」、「分」から選択します。

### 1-3 文字の詳細設定

文字の詳細設定画面

- 各項目にタッチし、選択するかテンキーで入力します。
- 表示方法は「日付のみ」、「時間のみ」、「日付と時間」から選択します。
- 選択後は「確定」にタッチします。レイアウト修正処理画面2に戻ります。



<文字の詳細設定画面のキー説明>

タッチキー名	はたらき
文字種	●文字種を選択します。タッチすると文字種の選択画面が表示されます。
文字間ピッチ	●文字間ピッチをテンキーで入力します。設定範囲は0.00～8.25(mm)になります。
横倍率	●横倍率をテンキーで入力します。設定範囲は01～12になります。 ●文字種に半角ビットマップフォントまたは漢字ビットマップフォントを指定した場合、本項目は有効になります。
縦倍率	●縦倍率をテンキーで入力します。設定範囲は01～12になります。 ●文字種に半角ビットマップフォントまたは漢字ビットマップフォントを指定した場合、本項目は有効になります。
スムージング	●スムージングの有無を「あり」、「なし」から選択します。 ●横倍率、縦倍率がそれぞれ3～12倍に設定した場合、有効になります。 ●文字種に半角ビットマップフォントまたは漢字ビットマップフォントを指定した場合、本項目は有効になります。
白黒反転	●白黒反転を「あり」、「なし」から選択します。 ●文字種にCGフォント指定した場合、本項目は無効になります。
印字方向	●印字方向を「平行1(0°)」、「シリアル1(90°)」、「平行2(180°)」、「シリアル2(270°)」から選択します。
行間	●行間をテンキーで入力します。設定範囲は0.00～8.25(mm)になります。
横配置	●横方向の配置方法を「左揃え」、「横中央揃え」、「右揃え」、「スペース均等」、「自動改行」、「文字均等」から選択します。 ●「文字均等」は文字種をCGフォントに指定した場合有効になります。 ●詳細は「文字の配置を変えて印字するときは」を参照してください。→176ページ
縦配置	●縦方向の配置方法を「上揃え」、「縦中央揃え」、「下揃え」から選択します。 ●詳細は「文字の配置を変えて印字するときは」を参照してください。→176ページ
2色印字	●印字色の選択を「黒」、「赤」から選択します。 ●「赤」で印字させる場合には2色専用のラベルを使用してください。 ●2色で使用される場合は、販売店、ディーラーまたは担当営業にご相談ください。
強調	●強調の有無を「通常」、「強調(右)」、「強調(下)」、「強調(右下)」から選択します。 ●横倍率、縦倍率がそれぞれ1～5倍に設定した場合、有効になります。 ●文字種に漢字ビットマップフォントを指定した場合、本項目は有効になります。

タッチキー名	はたらき
縦書き／横書き	<ul style="list-style-type: none"> <li>●文字方向を「縦書き」、「横書き」から選択します。</li> <li>●文字種に漢字ビットマップフォントを指定した場合、本項目は有効になります。</li> </ul>
横サイズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●横サイズをテンキーで入力します。設定範囲は4～999（ドット）または2～99（ポイント）になります。</li> <li>●文字種にCGフォントを指定した場合、本項目は有効になります。</li> </ul>
縦サイズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●縦サイズをテンキーで入力します。設定範囲は4～999（ドット）または2～99（ポイント）になります。</li> <li>●文字種にCGフォントを指定した場合、本項目は有効になります。</li> </ul>

### 【 文字種 にタッチした場合 】

右の文字種を選択画面が表示されます。

- ① 各文字種にタッチし、文字種を選択します。

日付と時間の文字の詳細設定画面に戻ります。

表示形式によって選択できる文字種は異なります。



文字種を選択画面

フィールドパラメータの指定			
X1	(30×75)	X24	(48×48)
X2	(12×30)	X80	(42×42)
X3	(20×32)	X81	(48×48)
WB	(18×30)	X82	(59×59)
WL	(28×52)	X83	(59×59)
OCR-B	(30×36)	X84	(59×59)
X20	(5×9)	X85	(59×59)
X21	(17×17)	X86	(65×65)
X22	(24×24)	X87	(89×89)
X23	(48×48)	X88	(118×118)

〈データ型の設定項目について〉

データ型	文字種	文字間ピッチ	横倍率	縦倍率	スムージング	白黒反転	印字方向	行間	横配置	縦配置	2色指定	強調	縦書き/横書き	横サイズ	縦サイズ
半角フリー	半角	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	CG	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○
半角数字	半角	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	CG	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○
全角フリー	漢字	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
	CG	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○
全角半角混在	漢字	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
	CG	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○
価格タイプ	半角	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	漢字	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
	CG	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×
日付(加算)タイプ	半角	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	漢字	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
	CG	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○
日付タイプ	半角	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	漢字	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
	CG	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○
日付時間(加算)タイプ	半角	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	漢字	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
	CG	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○
日付時間タイプ	半角	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	漢字	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
	CG	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○
カウンター	半角	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	CG	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○
プリセット	半角	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	CG	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○
プリセット(フリー型)	半角	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	CG	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○
税抜価格入カタイプ	半角	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	漢字	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
	CG	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×
税込価格入カタイプ	半角	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	漢字	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
	CG	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×

○：設定項目    ×：設定不可項目

(半角：半角ビットマップフォント、 漢字：漢字ビットマップフォント、 CG：CGフォント)

- 日付(加算)タイプ、日付タイプ、日付時間(加算)タイプ、日付時間タイプは選択した表示形式によって選択できる文字種が異なります。
- スムージングは、横倍率、縦倍率がそれぞれ3~12倍に設定した場合、有効となります。
- 強調は、横倍率、縦倍率がそれぞれ1~5倍に設定した場合、有効となります。

## 2 文字関連の場合

指定したフィールドのデータタイプが、「半角フリー」、「半角数字」、「全角フリー」、「全角半角混在」、「カウンター」、「プリセット」、「プリセット（フリー型）」のいずれかであった場合、以下の画面が表示されます。

### 2-1 「半角フリー」、「半角数字」、「カウンター」、「プリセット」、「プリセット（フリー型）」の文字の詳細設定

- 各項目にタッチし、選択または、テンキーで入力します。
- 選択後は「確定」にタッチします。  
レイアウト修正処理画面2に戻ります。

文字の詳細設定			
文字種	X1 (30×75)		
文字間ピッチ	0.00	横倍率	01
縦倍率	01	スムージング	なし
白黒反転	なし	印字方向	パラレル1 (0°)
行間	00.00	横配置	左揃え
縦配置	上揃え	2色印字	黒
			確定
			戻る

▲文字の詳細設定画面キーの説明は、「1-3 文字の詳細設定」または表「データ型の設定項目について」を参照してください。→92、94ページ

#### 【 「文字種」にタッチした場合 】

右の文字種の選択画面が表示されます。

- ① 各文字種にタッチし、文字種を選択します。  
文字の詳細設定画面に戻ります。

文字種によって印字できる文字が異なりますので注意してください。  
詳細は、「基本仕様のフォント一覧」を参照してください。→225ページ



文字種の選択画面

フィールドパラメータの指定			
X1	(30×75)	X24	(48×48)
X2	(12×30)	X80	(42×42)
X3	(20×32)	X81	(48×48)
WB	(18×30)	X82	(59×59)
WL	(28×52)	X83	(59×59)
OCR-B	(30×36)	X84	(59×59)
X20	(5×9)	X85	(59×59)
X21	(17×17)	X86	(65×65)
X22	(24×24)	X87	(89×89)
X23	(48×48)	X88	(118×118)
			戻る

## 2-2 「全角フリー」、「全角半角混在」の文字の詳細設定

- 各項目にタッチし、選択または、テンキーで入力します。
- 選択後は **確定** にタッチします。  
レイアウト修正処理画面2に戻ります。

文字の詳細設定			
文字種	X1 (16×16)		
文字間ピッチ	0.00	横倍率	01
縦倍率	01	強調	通常
スムージング	なし	白黒反転	なし
印字方向	パラレル1 (0°)	縦書き/横書き	横書き
行間	00.00	横配置	左揃え
縦配置	上揃え	2色印字	黒

▲文字の詳細設定画面キーの説明は、「1-3 文字の詳細設定」または表「データ型の設定項目について」を参照してください。→92、94ページ

### 【 **文字種** にタッチした場合 】

右の文字種の選択画面が表示されます。

- ① 各文字種にタッチし、文字種を選択します。  
文字の詳細設定画面に戻ります。



文字種の選択画面

フィールドパラメータの指定		
明朝	(16×16)	ダウンロードフォント
明朝	(22×22)	HG 明朝
明朝	(24×24)	HG ゴシック
明朝	(32×32)	
明朝	(40×40)	
ゴシック	(16×16)	
ゴシック	(22×22)	
ゴシック	(24×24)	
ゴシック	(32×32)	
ゴシック	(40×40)	

### 3 価格タイプを設定している場合

指定したフィールドのデータタイプが「価格タイプ」であった場合、以下の画面が表示されます。

#### 3-1 価格の表示形式設定

価格の表示形式画面

- 各項目にタッチし、選択、設定してください。
- 選択後は **確定** にタッチします。レイアウト修正処理画面2に戻ります。



価格表示形式の追加画面

#### 【 **追加** にタッチした場合 】

価格の表示形式を作成し、追加することができます。  
右の価格表示追加画面が表示されます。

- ① 各項目にタッチし、選択します。
- ② **確定** にタッチしてください。  
内容を確定し、価格の表示形式設定画面に戻ります。

#### < 価格表示形式追加画面のキー説明 >

タッチキー名	はたらき
価格記号	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 価格記号を「無」、「¥」、「円」、「YEN」、「-」、「¥-」、「円(中)」、「円(小)」から選択します。</li> <li>● 「円(中)」、「円(小)」は文字種で「×80」～「×89」を選択した場合のみ選択可能になります。</li> <li>● 価格記号を「無」に設定している場合、選択できません。</li> </ul>
価格記号と価格の間	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 価格記号と価格の間にスペースを付加するか否かを「スペースあり」、「スペースなし」から選択します。</li> <li>● 価格記号を「無」に設定している場合、選択できません。</li> </ul>
4桁ごとの区切り	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 価格表示の1000単位ごとに「,」を付加するか否かを「有」、「無」から選択します。</li> </ul>
0の場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 価格が0の場合の表示方法を「0」、「スペース」から選択します。</li> </ul>

## 3-2 価格の文字設定

価格の文字設定画面

- 各項目にタッチし、選択または、テンキーで入力してください。
- 選択後は **確定** にタッチします。  
フィールドパラメータの指定画面に戻ります。

価格の詳細設定			
形式	文字		
文字種	X1 (30×75)		
文字間ピッチ	0.00	横倍率	01
縦倍率	01	スムージング	なし
白黒反転	なし	印字方向	パラレル1 (0°)
行間	00.00	横配置	左揃え
縦配置	上揃え	2色印字	黒

確定  
戻る

▲文字の詳細設定画面キーの説明または、「1-3文字の詳細設定」または表「データ型の設定項目について」を参照してください。→92、94ページ

## 4 税抜価格入力タイプ・税込価格入力タイプを設定している場合

指定したフィールドのデータタイプが「税抜価格入力タイプ」か「税込価格入力タイプ」のいずれかであった場合、以下の画面が表示されます。

### 4-1 税抜価格入力・税込価格入力の表示形式設定

- 各項目にタッチし、選択、設定してください。
- 選択後は「確定」にタッチします。レイアウト修正処理画面2に戻ります。

税抜価格入力・税込価格入力の表示形式画面



価格表示形式の追加画面

#### 【 「追加」にタッチした場合 】

価格の表示形式を作成し、追加することができます。  
右の価格表示追加画面が表示されます。

- ① 各項目にタッチし、選択します。
- ② 「確定」にタッチしてください。  
内容を確定し、価格の表示形式設定画面に戻ります。

#### < 価格表示形式追加画面のキー説明 >

タッチキー名	はたらき
価格記号	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 価格記号を「無」、「¥」、「円」、「YEN」、「-」、「¥-」、「円(中)」、「円(小)」から選択します。</li> <li>● 「円(中)」、「円(小)」は文字種で「×80」～「×89」を選択した場合のみ選択可能になります。</li> <li>● 価格記号を「無」に設定している場合、選択できません。</li> </ul>
価格記号と価格の間	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 価格記号と価格の間にスペースを付加するか否かを「スペースあり」、「スペースなし」から選択します。</li> <li>● 価格記号を「無」に設定している場合、選択できません。</li> </ul>
4桁ごとの区切り	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 価格表示の1000単位ごとに「,」を付加するか否かを「有」、「無」から選択します。</li> </ul>
0の場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 価格が0の場合の表示方法を「0」、「スペース」から選択します。</li> </ul>

## 4-2 税抜価格入力・税込価格入力の印字設定

- 各項目にタッチし、選択、設定してください。
- 選択後は「確定」にタッチします。レイアウト修正処理画面2に戻ります。

税抜価格入力・税込価格入力の印字設定画面

形式	印字	文字
	税込価格で印字する	
	本体価格で印字する	
	税金で印字する	

## 4-3 税抜価格入力・税込価格入力の文字設定

- 各項目にタッチし、選択または、テンキーで入力してください。
- 選択後は「確定」にタッチします。フィールドパラメータの指定画面に戻ります。

税抜価格入力・税込価格入力の文字設定画面

形式	印字	文字	
文字種	X1 (30×75)		
文字間ピッチ	0.00	横倍率	01
縦倍率	01	スムージング	なし
白黒反転	なし	印字方向	パラレル1 (0°)
行間	00.00	横配置	左揃え
縦配置	上揃え	2色印字	黒

▲文字の詳細設定画面キーの説明または、「1-3文字の詳細設定」または表「データ型の設定項目について」を参照してください。→92、94ページ

## 端数処理方法

ここでは消費税率を5%に設定したときの「端数処理方法」を例に説明します。

例1) 税抜価格110円を入力し、消費税と総額を求める場合

110円(本体価格)×5(消費税率)/100=5.5(消費税)

端数処理方法	印字設定	消費税	税込価格(総額)
切り捨て		5円	115円
切り上げ		6円	116円
四捨五入		6円	116円

例2) 税込価格1618円を入力し、消費税と本体価格を求める場合

1618円(本体価格)×100/(100+5(消費税率))×(5(消費税率)/100)=77.0476...円(消費税)

端数処理方法	印字設定	消費税	税抜価格(本体価格)
切り捨て		77円	1541円
切り上げ		78円	1540円
四捨五入		77円	1541円

- 求められた消費税は小数点以下第3位まで計算対象とします。  
消費税10.001円を「切り上げ」した場合は11円となります。  
但し、「切り捨て」、「四捨五入」は小数点以下第1位を計算対象とします。
- 価格入力を税込価格タイプで行い、本体価格及び消費税を計算して求める場合に関して端数処理方法により求められた計算結果と入力された価格が合わない場合がありますので、ご注意ください。

## 税込価格から本体価格を導いた場合の矛盾点について

価格入力が“税込”で、“本体価格”および“税抜価格”を計算して求める場合に、端数処理方法により求められた計算結果と入力された価格が合わない場合があります。

ここでは消費税率5%設定時に税込価格入力タイプで 50000円 を入力したときを例に説明します。(端数処理方法は切り捨て)

- ① 税込価格として 50000円 を入力し、消費税と本体価格を求めます。
- $$\text{税込価格} \times 100 / (100 + \text{消費税率}) \times (\text{消費税率} / 100)$$
- $$50000 \times (100 / 105) \times 0.05 = 2380.95 \dots$$
- 消費税は ⇨ 2380円**
- $$50000 - 2380 = 47620$$
- 本体価格は ⇨ 47620円**



- ② ①の計算で求められた本体価格 47620円 から税込価格を再計算します。
- $$\text{本体価格} \times (\text{消費税率} / 100)$$
- $$47620 \times 5 / 100 = 2381$$
- 消費税は ⇨ 2381円**
- $$47620 + 2381 = 50001$$
- 税込価格は ⇨ 50001円**

以上のように、①で入力した税込価格と②で算出した税込価格に誤差が生じます。



## 5-3 定量の文字設定

定量の文字設定画面

- 各項目にタッチし、選択または、テンキーで入力してください。
- 選択後は **確定** にタッチします。  
フィールドパラメータの指定画面に戻ります。

定量の詳細設定

計算術	計算方法	文字	
文字種	X1 (30×75)		
文字間ピッチ	0.00	横倍率	01
縦倍率	01	スムージング	なし
白黒反転	なし	印字方向	パラレル1 (0)
行間	00.00	横配置	左揃え
縦配置	上揃え	2色印字	黒

確定  
戻る

▲文字の詳細設定画面キーの説明は、「1-3文字の詳細設定」または表「データ型の設定項目について」を参照してください。→92、94ページ

## 計算機能を使用して販売価格を印字するときは

定量、単価、内容量を入力して、自動的に販売価格を計算して印字することができます。

〈印字サンプル〉

定量

若鶏唐揚げ

原材料名 裏面に記載  
消費期限 03. 5. 23 AM08 加工日 03. 5. 21 PM08

100g 当り (円)  
158  
248

0 201234 000396 正味量 (g)

391 円

販売価格

単価

内容量

サトー食品株式会社  
東京都渋谷区恵比寿 4-9-10  
TEL 03-5449-3101

### 【計算式】

内容量 ÷ 定量 × 単価 = 販売価格

### 【サンプル例】

$$\frac{248\text{g}}{\text{内容量}} \div \frac{100\text{g}}{\text{定量}} \times \frac{158\text{円}}{\text{単価}} = 391.84 \rightarrow \frac{391\text{円}}{\text{販売価格}}$$

## マスターテーブル登録

計算機能を使用する場合、マスターテーブル登録のデータ型と機能で必ず次の設定にします。

### 1 データ型を設定する。

フィールド名入力後、データ型選択画面が表示されます。

データ型選択画面

- ① 各データ型にタッチし、データ型を選択します。

桁数入力画面が表示されます。

フィールド名	データ型	桁数	入力確認	重複	履歴	参照	詳細	関連	機能
	半角フリー		半角数字						全角フリー
	全角半角混在		価格タイプ						日付(加算)タイプ
	日付タイプ		日付時間(加算)タイプ						日付時間タイプ
	カウンター		プリセット						プリセット(フリー型)
	グラフィック		税抜価格入力タイプ						税込価格入力タイプ

- 定量、内容量は、**半角数字** にタッチして設定します。
- 単価、販売価格は、**価格タイプ**、**税抜価格入力タイプ**、**税込価格入力タイプ** にタッチして設定します。

### 2 フィールド機能を設定する。

**桁数**、**入力確認**、**重複**、**履歴**、**参照** 入力後、機能選択画面が表示されます。

機能選択画面

- ① 各機能にタッチし、機能を選択します。

マスターテーブル詳細画面が表示されます。

フィールド名	データ型	桁数	入力確認	重複	履歴	参照	詳細	関連	機能
									品名
									計算機能(単価)
									計算機能(販売価格)

- 定量は、**計算機能(定量)** にタッチして設定します。
- 単価は、**計算機能(単価)** にタッチして設定します。
- 内容量は、**計算機能(内容量)** にタッチして設定します。
- 販売価格は、**計算機能(販売価格)** にタッチして設定します。

## レイアウト登録

計算機能を使用する場合、他のデータタイプと異なる詳細設定が表示されます。

### 1 発行時にデータを変更するフィールドは

マスタテーブルのフィールド指定画面から、定量、単価、内容量、販売価格フィールドを選択すると、フィールドパラメータの指定画面が表示されます。

フィールドパラメータ指定画面

- ① 発行入力の「不可」にタッチすると、発行時入力画面が表示されますので、「許可」にタッチします。

● 発行入力時の設定を「許可」にすると、プリセット発行時にデータを変更することができます。

フィールドパラメータの指定	
発行時入力	不可
横位置	000.00 (mm)
縦位置	000.00 (mm)
幅×高さ	制限無し
詳細設定	x1 (30×75)

### 2 計算機能（定量）の詳細設定をするときは

フィールドパラメータの指定画面の文字種にタッチすると、定量の計算桁設定画面が表示されます。

定量の計算桁設定画面

- ① 販売価格の端数処理（四捨五入、切り上げ、切り捨て）を行う桁位置にタッチし、選択します。

- ② 「計算方法」にタッチします。  
定量の計算方法設定画面が表示されます。

定量の詳細設定		
計算桁	計算方法	文字
No	表示形式	
01	10銭の位	
02	1円の位	
03	10円の位	

#### 注意

- 計算機能を使用する場合、レイアウト登録で必ず定量のフィールドを指定してください。

③ 販売価格の端数処理にタッチし、  
選択します。

④ **文字** にタッチします。  
定量の文字設定画面が表示され  
ます。

⑤ **定量** の文字設定を行います。

⑥ **確定** にタッチします。  
フィールドパラメータの指定画面  
に戻ります。

定量の計算方法設定画面

定量の詳細設定

計算桁    計算方法    文字

No	表示形式
01	四捨五入
02	切り上げ
03	切り捨て

### 3 計算機能（単価）の詳細設定をするときは

フィールドパラメータ指定画面の詳細設定の文字種にタッチすると、単価の形式設定画面が表示されます。

単価の形式設定画面

① 単価の印字する形式をタッチし、  
選択します。

② **文字** にタッチします。  
単価の文字設定画面が表示されます。

③ 単価の文字設定を行います。

④ **確定** にタッチします。  
フィールドパラメータの指定画面  
に戻ります。

価格の詳細設定

形式    文字

No	表示形式
01	¥1,000 (¥0)
02	¥1,000 (0はスペース)
03	1,000 (0)
04	1,000 (0はスペース)
05	1,000円 (0円)
06	1,000円 (0はスペース)

## 4 計算機能（内容量）の詳細設定をするときは

フィールドパラメータ指定画面の詳細設定の文字種にタッチすると、内容量の詳細設定画面が表示されます。

内容量の詳細設定画面

- ① 内容量の文字設定を行います。

- ② **確定**にタッチします。

フィールドパラメータの指定画面に戻ります

文字の詳細設定			
文字種	X1 (30×75)		
文字間ピッチ	0.00	横倍率	01
縦倍率	01	スムージング	なし
白黒反転	なし	印字方向	パラレル1 (0°)
行間	00.00	横配置	左揃え
縦配置	上揃え	2色印字	黒
			確定
			戻る

## 5 計算機能（販売価格）の詳細設定をするときは

フィールドパラメータ指定画面の詳細設定の文字種にタッチすると、販売価格の形式設定画面が表示されます。

販売価格の形式設定画面

- ① 販売価格の印字する形式をタッチし、選択します。

- ② **文字**にタッチします。

販売価格の文字設定画面が表示されます。

- ③ 販売価格の文字設定を行います。

- ④ **確定**にタッチします。

フィールドパラメータの指定画面に戻ります。

価格の詳細設定	
形式	文字
No	表示形式
01	¥1,000 (¥0)
02	¥1,000 (0はスペース)
03	1,000 (0)
04	1,000 (0はスペース)
05	1,000円 (0円)
06	1,000円 (0はスペース)
▲	
▼	
追加	
削除	
確定	
戻る	

## プリセット発行

計算機能（定量、単価、内容量、販売価格）を使用しているプリセット発行の方法について説明します。

### プリセット発行画面

- ① 品名キーをタッチするか、テンキーでプリセットNoを入力し、**実行**キーを押します。

選択した商品名の画面が表示されます。

- ② 定量、単価、内容量の横の入力欄にタッチし、テンキーで入力します。  
定量、単価、内容量を入力すると自動的に販売価格が切り替わります。

- ③ 発行枚数の横の入力欄にタッチし、テンキーで入力します。

- ④ **発行/停止** キーを押します。

ラベルが発行されます。

若鶏唐揚げ				4月 1日
				17:45
マスタ【0001:マスタテーブル】 レイアウト【0001:レイアウトテーブル】				
プリセット	00100	発行枚数	00001	▲
販売価格	395			
定量	100			▼
単価	158			
内容量	250			
日替わり弁当	幕の内弁当	えびシューマイ弁当	和風弁当	▲
うなぎ弁当	中華弁当	ちらし弁当	生姜焼き	▼
から揚げ弁当	カレー丼	中華丼	親子丼	
オムライス	エビピラフ	スパゲティー	さば寿司	
おにぎり梅	おにぎり鮭	おにぎりタラコ	おにぎり昆布	

マスタ

レイアウト

記憶確認

日付変更

ティアオフ

戻る

### 注 意

- 上記のプリセット発行画面で、販売価格のマスタテーブルの設定は、参照を「有1」に設定しています。参照を「有1」～「有3」に設定すると、プリセット発行画面で表示項目になります。最大3項目まで設定できます。  
ただし、発行時の一時変更はできません。
- 上記のプリセット発行画面で、定量、単価、内容量のレイアウトの設定は、発行時入力を「許可」に設定しています。

## 6 バーコード（特別フィールド）の場合

### 6-1 JAN/EAN13、JAN/EAN8、UPC-Aの場合

バーコードの詳細設定画面 1

- 各項目にタッチし、選択、設定してください。
- 選択後は **確定** にタッチします。  
レイアウト登録フィールド一覧画面に戻ります。

フィールドパラメータの指定	
細バー幅	03
解説文字/ガイドバー	なし/あり
解説文字種	OCR-B
バー天地	80.0 (mm)
印字方向	パラレル(0°)
2色指定	黒

< バーコードの詳細設定画面1のキー説明 >

タッチキー名	はたらき
細バー幅	<ul style="list-style-type: none"> <li>●細バー幅を入力します。設定範囲は01～12(ドット)になります。</li> <li>●細バー幅は、印字方向がパラレルの場合3ドット以上、シリアルの場合4ドット以上に設定してください。</li> </ul>
解説文字／ガイドバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>●解説文字とガイドバーの有無を「あり／あり」、「なし／あり」、「なし／なし」から設定します。</li> <li>●「あり／あり」を選択すると、解説文字の文字種は細バー幅が3ドットの場合×22文字、4ドットの場合OCR-B文字で印字されます。</li> </ul>
解説文字種	<ul style="list-style-type: none"> <li>●解説文字に使用する文字種を「X20」、「X21」、「X22」、「X23」、「X24」、「OCR-B」から選択します。</li> <li>●解説文字／ガイドバーを「なし／あり」に設定した場合のみ設定可能になります。</li> </ul>
バー天地	<ul style="list-style-type: none"> <li>●バー天地を入力します。設定範囲は00.01～83.25(mm)になります</li> </ul>
印字方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>●印字方向を「パラレル1(0°)」、「シリアル1(90°)」、「パラレル2(180°)」、「シリアル2(270°)」から選択します。</li> </ul>
2色指定	<ul style="list-style-type: none"> <li>●印字色は「黒」を選択してください。</li> </ul>

## 6-2 UCC/EAN128の場合

- 各項目にタッチし、選択、設定してください。
- 選択後は「確定」にタッチします。レイアウト登録フィールド一覧画面に戻ります。

バーコードの詳細設定画面 2

フィールドパラメータの指定	
細バー幅	03
解説文字の位置	上部
バー天地	80.00 (mm)
印字方向	パラレル1 (0°)
2色指定	黒

< バーコードの詳細画面2のキー説明 >

タッチキー名	はたらき
細バー幅	<ul style="list-style-type: none"> <li>●細バー幅を入力します。設定範囲は01～12(ドット)になります。</li> <li>●細バー幅は、印字方向がパラレルの場合3ドット以上、シリアルの場合4ドット以上に設定してください。</li> </ul>
解説文字の位置	<ul style="list-style-type: none"> <li>●解説文字の位置を「上部」、「下部」、「無し」から選択します。</li> <li>●解説文字の文字種はOCR-B文字で印字されます。</li> </ul>
バー天地	<ul style="list-style-type: none"> <li>●バー天地を入力します。設定範囲は00.01～83.25(mm)になります。</li> </ul>
印字方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>●印字方向を「パラレル1(0°)」、「シリアル1(90°)」、「パラレル2(180°)」、「シリアル2(270°)」から選択します。</li> </ul>
2色指定	<ul style="list-style-type: none"> <li>●印字色は「黒」を選択してください。</li> </ul>

## 6-3 CODE39、インターリブド2of5、インダストリアル2of5、マトリックス2of5、NW-7の場合

バーコードとして使用するか解説文字として使用するか選択する画面が表示されます。

- 「バーコード」にタッチします。バーコードの詳細設定画面3が表示されます。

「解説文字」にタッチすると、文字の詳細設定画面が表示されます。詳細は、「2文字関連の場合」を参照してください。→95ページ

バーコードの詳細設定画面 3

- 各項目にタッチし、選択、設定してください。
- 選択後は「確定」にタッチします。レイアウト登録フィールド一覧画面に戻ります。

フィールドパラメータの指定			
比率	1.2	細バー幅	03
	ナローベース		ナローバー
	ワイドベース		ワイドバー
バーピッチ	0.00 (mm)		
バー天地	80.00 (mm)		
印字方向	パラレル1 (0°)		
2色指定	黒		

＜ バーコードの詳細画面3のキー説明＞

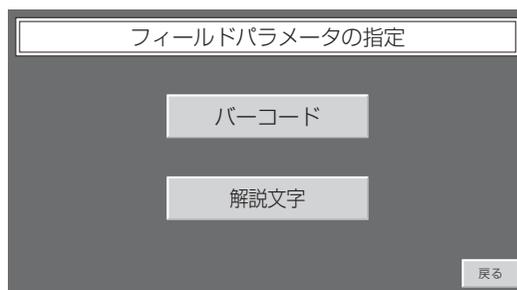
タッチキー名	はたらき
比率指定	●比率を「1:2」、「1:3」、「2:5」、「指定」から選択します。 ●「指定」を選択した場合は「ナロースペース」、「ナローバー」、「ワイドスペース」、「ワイドバー」を必ず入力してください。
細バー幅	●細バー幅を入力します。設定範囲は01～12(ドット)になります。 ●細バーは、印字方向が平行の場合3ドット以上、シリアルの場合4ドット以上に設定してください。
バーピッチ	●バーコードのキャラクタ間ピッチを入力します。設定範囲は0.00～8.25(mm)になります。 ●インターリブド2of5の場合には、設定できません。
バー天地	●バー天地を入力します。設定範囲は00.01～83.25(mm)になります。
印字方向	●印字方向を「平行1(0°)」、「シリアル1(90°)」、「平行2(180°)」、「シリアル2(270°)」から選択します。
2色指定	●印字色は「黒」を選択します。

### 6-4 UPC-E、CODE93、CODE128、UPCアドオンコードの場合

バーコードとして使用するか解説文字として使用するか選択する画面が表示されます。

- **バーコード** にタッチします。  
バーコードの詳細設定画面4が表示されます。

**解説文字** にタッチすると、文字の詳細設定画面が表示されます。  
詳細は、「2文字関連の場合」を参照してください。→95ページ



バーコードの詳細設定画面 4

- 各項目にタッチし、選択、設定してください。
- 選択後は **確定** にタッチします。  
レイアウト登録フィールド一覧画面に戻ります。



＜ バーコードの詳細画面4のキー説明＞

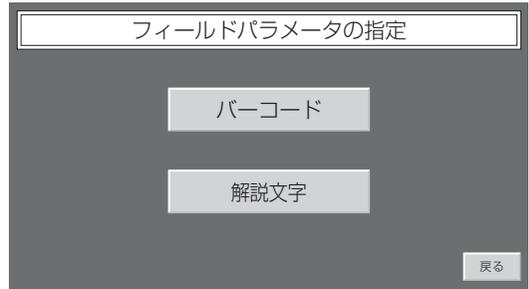
タッチキー名	はたらき
細バー幅	●細バー幅を入力します。設定範囲は01～12(ドット)になります。 ●細バーは、印字方向が平行の場合3ドット以上、シリアルの場合4ドット以上に設定してください。
バー天地	●バー天地を入力します。設定範囲は00.01～83.25(mm)になります。
印字方向	●印字方向を「平行1(0°)」、「シリアル1(90°)」、「平行2(180°)」、「シリアル2(270°)」から選択します。
2色指定	●印字色は「黒」を選択してください。

## 6-5 カスタマバーコードの場合

バーコードとして使用するか解説文字として使用するか選択する画面が表示されます。

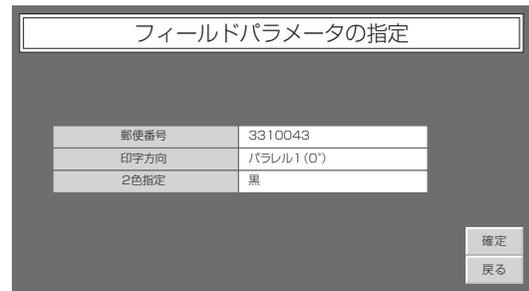
- **バーコード** にタッチします。  
バーコードの詳細設定画面4が表示されます。

**解説文字** にタッチすると、文字の詳細設定画面が表示されます。  
詳細は、「2文字関連の場合」を参照してください。→95ページ



バーコードの詳細設定画面 5

- 各項目にタッチし、選択、設定してください。
- 選択後は **確定** にタッチします。  
レイアウト登録フィールド一覧画面に戻ります。



### < バーコードの詳細画面5のキー説明 >

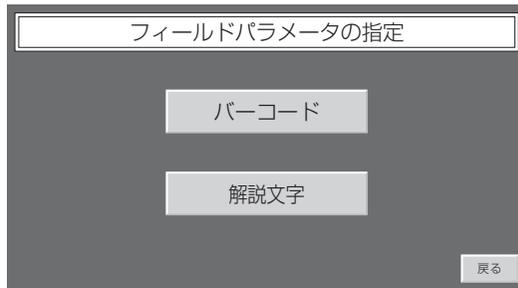
タッチキー名	はたらき
郵便番号	●郵便番号を入力します。設定範囲は0000000~9999999 (7桁固定) になります。
印字方向	●印字方向を「パラレル1(0° )」、「シリアル1(90° )」、「パラレル2(180° )」、「シリアル2(270° )」から選択します。
2色指定	●印字色は「黒」を選択してください。

## 6-6 EAN128の場合

バーコードとして使用するか解説文字として使用するか選択する画面が表示されます。

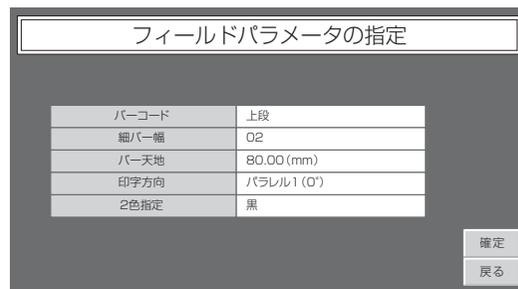
- **バーコード** にタッチします。  
バーコードの詳細設定画面6が表示されます。

**解説文字** にタッチすると、文字の詳細設定画面1が表示されます。  
詳細は、「2文字関連の場合」を参照してください。→95ページ



バーコードの詳細画面 6

- 各項目にタッチし、選択、設定してください。
- 選択後は **確定** にタッチします。  
レイアウト登録フィールド一覧画面に戻ります。



### < バーコードの詳細画面6のキー説明 >

タッチキー名	はたらき
バーコード	●バーコードを選択します。選択項目は「上段」、「下段」になります。
細バー幅	●細バー幅を入力します。有効範囲は01～12(ドット)になります。 ●細バーは、印字方向がパラレルの場合3ドット以上、シリアルの場合4ドット以上に設定してください。
バー天地	●バー天地を入力します。有効範囲は00.01～83.25(mm)になります。
印字方向	●印字方向を「パラレル1(0°)」、「シリアル1(90°)」、「パラレル2(180°)」、「シリアル2(270°)」から選択します。
2色印字	●印字色は「黒」を選択してください。

- 各項目にタッチし、選択、設定してください。
- 選択後は「確定」にタッチします。レイアウト修正処理画面に戻ります。

文字の詳細設定			
文字種	X1 (30×75)		
文字間ピッチ	0.00	横倍率	01
縦倍率	01	スムージング	なし
白黒反転	なし	印字方向	パラレル1 (0°)
行間	00.00	横配置	左揃え
縦配置	上揃え	2色印字	黒
バーコード	上段		

<文字の詳細画面1のキー説明>

タッチキー名	はたらき
文字種～2色指定	● 「文字の詳細設定」画面と共通内容となります。 ※詳細は、「2文字関連の場合」を参照してください。→95ページ
バーコード	● EAN128における上段・下段バーコードの解説文字を指定します。選択項目は「上段」、「下段」となります。

● EAN128の解説文字は他のバーコードと異なり、通常の「文字の詳細設定」画面にバーコードの解説文字上段・下段を設定します。

## 7 2次元コード（特別フィールド）の場合

### 7-1 PDF417の場合

- 各項目にタッチし、選択、設定してください。
- 選択後は **確定** にタッチします。  
レイアウト登録フィールド一覧画面に戻ります。

2次元コードの詳細設定画面 1

2次元コードの詳細設定	
最小モジュール 縦	01 (ドット)
最小モジュール 横	01 (ドット)
セキュリティレベル	2
1桁当りのデータコードワード数	自動
シンボル当りの桁数	自動
コード種	通常
印字方向	パラレル1 (0°)
2色指定	黒
<input type="button" value="確定"/> <input type="button" value="戻る"/>	

< 2次元コードの詳細画面1のキー説明 >

タッチキー名	はたらき
最小モジュール 縦	●最小モジュール縦寸法を入力します。設定範囲は1～99（ドット）になります。
最小モジュール 横	●最小モジュール横寸法を入力します。設定範囲は1～99（ドット）になります。
セキュリティレベル	●セキュリティレベルを入力します。設定範囲は0～8になります。
1桁当りのデータコードワード数	●1桁当たりのデータコードワード数を入力します。 ●設定範囲は1～30または「自動」になります。
シンボル当りの桁数	●シンボル当りの桁数を入力します。 ●設定範囲は3～90または「自動」になります。
コード種	●コード種を「通常」、「切詰め」から選択します。
印字方向	●印字方向を「パラレル1(0°)」、「シリアル1(90°)」、「パラレル2(180°)」、「シリアル2(270°)」から選択します。
2色指定	●印字色は「黒」を選択してください。

### 7-2 マイクロPDFの場合

- 各項目にタッチし、選択、設定してください。
- 選択後は **確定** にタッチします。  
レイアウト登録フィールド一覧画面に戻ります。

2次元コードの詳細設定画面 2

2次元コードの詳細設定	
最小モジュール 縦	04 (ドット)
最小モジュール 横	04 (ドット)
1桁当りのデータコードワード数	01
シンボル当りの桁数	11
印字方向	パラレル1 (0°)
2色指定	黒
<input type="button" value="確定"/> <input type="button" value="戻る"/>	

<2次元コードの詳細画面2のキー説明>

タッチキー名	はたらき
最小モジュール 縦	●最小モジュール縦寸法を入力します。設定範囲は1～99(ドット)になります。
最小モジュール 横	●最小モジュール横寸法を入力します。設定範囲は1～99(ドット)になります。
1桁当りのデータ コードワード数	●1桁当りのデータコードワード数を入力します。 ●設定範囲は1～4または「自動」です。
シンボル当の桁数	●シンボル当りの桁数を入力します。 ●設定範囲は3～44または「自動」になります。
印字方向	●印字方向を「パラレル1(0°)」、「シリアル1(90°)」、「パラレル2(180°)」、「シリアル2(270°)」から選択します。
2色指定	●印字色は「黒」を選択してください。

### 7-3 MAXIコードの場合

2次元コードの詳細設定画面 3

- 各項目にタッチし、選択、設定してください。
- 選択後は「確定」にタッチします。レイアウト登録フィールド一覧画面に戻ります。

2次元コードの詳細設定	
モード	2:配送専用(数字のみ)
サービスクラス	001
国コード	001
郵便コード	0
印字方向	パラレル1(0°)
2色指定	黒

<2次元コードの詳細画面3のキー説明>

タッチキー名	はたらき
モード	●モードを「2：配送専用(数字のみ)」、「3：配送専用(英数字)」、「4：標準記号」、「6：読取り機専用」から選択します。
サービスクラス	●サービスクラスを入力します。設定範囲は1～999になります。
国コード	●国コードを入力します。設定範囲は1～999になります。
郵便コード	●郵便コードを入力します。設定範囲は0～999999999(モード2)、000000～999999(モード3)になります。
印字方向	●印字方向を「パラレル1(0°)」、「シリアル1(90°)」、「パラレル2(180°)」、「シリアル2(270°)」から選択します。
2色指定	●印字色は「黒」を選択してください。

## 7-4 QRコード(モデル2)、QRコード(モデル1)の場合

2次元コードの詳細設定画面 4

- 各項目にタッチし、選択、設定してください。
- 選択後は **確定** にタッチします。  
レイアウト登録フィールド一覧画面に戻ります。

2次元コードの詳細設定	
エラーコレクションレベル	7%
セル1辺のサイズ	01
データ設定モード	マニュアル
連結モード	通常
連結モード分割数	
連結モードで分割した通番	
連結モードパリティデータ	
印字方向	パラレル1 (0°)
2色指定	黒

<2次元コードの詳細画面4のキー説明>

タッチキー名	はたらき
エラーコレクションレベル	●エラーコレクションレベルを「7%」、「15%」、「25%」、「30%」から選択します。
セル1辺のサイズ	●セル1辺のサイズを入力します。設定範囲は1～32(ドット)になります。
データ設定モード	●データ設定モードを「マニュアル」、「自動」から選択します。
連結モード	●連結モードを「通常」、「連結」から選択します。
連結モード分割数	●連結モード分割数を入力します。設定範囲は0～16になります。
連結モード分割した通番	●連結モード分割した通番を入力します。設定範囲は0～16になります。
連結モードパリティデータ	●連結モードパリティデータを入力します。設定範囲は0～255になります。
印字方向	●印字方向を「パラレル1(0°)」、「シリアル1(90°)」、「パラレル2(180°)」、「シリアル2(270°)」から選択します。
2色指定	●印字色は「黒」を選択してください。

## 7-5 マイクロQRコードの場合

2次元コードの詳細設定画面 5

- 各項目にタッチし、選択、設定してください。
- 選択後は **確定** にタッチします。  
レイアウト登録フィールド一覧画面に戻ります。

2次元コードの詳細設定	
エラーコレクションレベル	7%
セル1辺のサイズ	01 (ドット)
データ設定モード	マニュアル
印字方向	パラレル1 (0°)
2色指定	黒
<input type="button" value="確定"/> <input type="button" value="戻る"/>	

<2次元コードの詳細画面5のキー説明>

タッチキー名	はたらき
エラーコレクションレベル	●エラーコレクションレベルを「7%」、「15%」、「25%」から選択します。
セル1辺のサイズ	●セル1辺のサイズを入力します。設定範囲は1～32（ドット）になります。
データ設定モード	●データ設定モードを「マニュアル」、「自動」から選択します。
印字方向	●印字方向を「パラレル1(0°)」、「シリアル1(90°)」、「パラレル2(180°)」、「シリアル2(270°)」から選択します。
2色指定	●印字色は「黒」を選択してください。

## 7-6 データマトリックス(ECC200)の場合

2次元コードの詳細設定画面 6

- 各項目にタッチし、選択、設定してください。
- 選択後は **確定** にタッチします。  
レイアウト登録フィールド一覧画面に戻ります。

2次元コードの詳細設定	
横セルサイズ	01 (ドット)
縦セルサイズ	01 (ドット)
1行のセル数	000
セル行数	000
印字方向	パラレル1 (0°)
2色指定	黒
<input type="button" value="確定"/> <input type="button" value="戻る"/>	

<2次元コードの詳細画面6のキー説明>

タッチキー名	はたらき
横セルサイズ	●セル1辺のサイズを入力します。設定範囲は1～10（ドット）になります。
縦セルサイズ	●セル1辺のサイズを入力します。設定範囲は1～10（ドット）になります。
1行のセル数	●本項目は000固定値となります。
セル行数	●本項目は000固定値となります。
印字方向	●印字方向を「パラレル1(0°)」、「シリアル1(90°)」、「パラレル2(180°)」、「シリアル2(270°)」から選択します。
2色指定	●印字色は「黒」を選択してください。

## 7-7 EAN.UCC合成シンボルの場合

### 2次元バーコードの詳細画面 7

- 各項目にタッチし、選択、設定してください。
- 選択後は **確定** にタッチします。  
レイアウト登録フィールド一覧画面に戻ります。

フィールドパラメータの指定

1次元コード種	RSS-14
細バー幅	02
バー天地	41.67 (mm)
印字方向	パラレル1 (0°)
2色指定	黒

確定

#### <2次元バーコードの詳細画面7のキー説明>

タッチキー名	はたらき
1次元コード種	● 1次元コード種を「RSS-14」、「RSS-14 Truncated」、「RSS-14 Stacked」、「RSS-14 Stacked Omnidirectional」、「RSS Limited」、「UPC-A」、「UPC-E」、「EAN13」、「EAN8」、「UCC/EAN128 with CC-A/B」、「UCC/EAN128 with CC-C」から選択します。
細バー幅	● 細バー幅を入力します。有効範囲は01～12(ドット)になります。 ● 細バーは、印字方向がパラレルの場合3ドット以上、シリアルの場合4ドット以上に設定してください。
バー天地	● 「1次元コード種」が「UCC/EAN128 with CC-A/B」、「UCC/EAN128 with CC-C」の場合にバー天地を入力します。有効範囲は00.01～41.67(mm)です。
印字方向	● 印字方向を「パラレル1(0°)」、「シリアル1(90°)」、「パラレル2(180°)」、「シリアル2(270°)」から選択します。
2色印字	● 印字色は「黒」を選択してください。

## 8 グラフィックの場合

マスタテーブルからレイアウトで印字するグラフィックのフィールドを指定します。

- ① マスタテーブルのフィールド指定画面でグラフィックフィールド名にタッチします。  
グラフィックフィールドのフィールドパラメータ指定画面が表示されます。

フィールドパラメータ指定画面

フィールドパラメータの指定

発行時入力	不可
横位置	000.00 (mm)
縦位置	000.00 (mm)
幅×高さ	制限無し
詳細設定	グラフィックの詳細設定

確定  
戻る

- ② 各項目にタッチし、選択またはテンキーで入力します。  
[詳細設定]にタッチすると、グラフィックフィールドの詳細設定画面に切り替わります。

- ③ [確定]をタッチします。  
レイアウト修正処理画面2に戻ります。

<フィールドパラメータ指定画面のキー説明>

タッチキー名	はたらき
発行時入力	<ul style="list-style-type: none"> <li>●発行時の入力を「不可」、「許可」から選択します。</li> <li>●「許可」を選択すると、ラベル発行時に入力データの変更を行うことができます。</li> </ul>
横位置	●横位置をテンキーで入力します。設定範囲は000.00~104.00 (mm)になります。
縦位置	●縦位置をテンキーで入力します。設定範囲は000.00~200.00 (mm)になります。
幅×高さ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●グラフィックフィールドの印字範囲を入力します。</li> <li>●サイズ指定を「制限あり」に設定した場合のみ設定可能となります。</li> <li>●設定範囲は幅000.00~104.00 (mm)、高さ000.00~200.00 (mm)になります。</li> </ul>
詳細設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>●タッチすると詳細設定画面が表示されます。</li> <li>●グラフィックフィールドの詳細設定画面を参照してください。→122ページ</li> </ul>

【 **詳細設定** にタッチした場合 】

右のグラフィックフィールドの詳細設定画面が表示されます。

グラフィックフィールドの詳細設定画面

① **各項目**にタッチし、**選択**または、**テンキー**で入力します。

② **確定**にタッチします。

グラフィックのフィールドパラメータ指定画面に戻ります。



<グラフィックフィールドの詳細設定画面のキー説明>

タッチキー名	はたらき
横倍率	●横倍率をテンキーで入力します。設定範囲は01～12になります。
縦倍率	●縦倍率をテンキーで入力します。設定範囲は01～12になります。
印字方向	●印字方向を「パラレル1(0°)」、「シリアル1(90°)」、「パラレル2(180°)」、「シリアル2(270°)」から選択します。
2色指定	●印字色を「黒」、「赤」から選択します。 ●「赤」で印刷させる場合は2色専用のラベルを使用してください。 ●2色印字を使用される場合は、販売店、ディーラーまたは担当営業にご相談してください。

### ③ 選択テーブルのフィールド指定

● 選択テーブルからレイアウトで印字するフィールドを指定します。

● ▲・▼で選択テーブルの一覧画面を切り替えます。

① 選択テーブル名にタッチします。  
フィールド指定画面が表示されます。

② フィールド名にタッチします。  
フィールドパラメータ指定画面が表示されます。

③ 各項目にタッチし、選択または、  
テンキーで入力します。  
[詳細設定]にタッチすると、各フィールドの詳細設定画面に切り替わります。  
詳細は、表「データ型の設定項目について」を参照してください。  
→126ページ

④ **確定**にタッチします。  
レイアウト修正処理画面2に戻ります。

選択テーブル指定画面



フィールド指定画面



フィールドパラメータの指定画面

<フィールドパラメータ指定画面のキー説明>

タッチキー名	はたらき
発行時入力	<ul style="list-style-type: none"> <li>●発行時の入力を「不可」、「許可」から選択します。</li> <li>●「許可」を選択すると、ラベル発行時に入力データの変更を行うことができます。</li> </ul>
横位置	●横位置をテンキーで入力します。設定範囲は000.00～104.00(mm)になります。
縦位置	●縦位置をテンキーで入力します。設定範囲は000.00～200.00(mm)になります。
幅×高さ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●フィールドの印字範囲を入力します。 設定した範囲内で、右揃え、スペース均等、自動改行等が有効になります。</li> <li>●サイズ指定を「制限有り」に設定した場合のみ設定可能となります。</li> <li>●設定範囲は、幅000.00～104.00(mm)、高さ000.00～200.00(mm)になります。</li> <li>●詳細は、「文字の配置を変えて印字するときは」を参照してください。→176ページ</li> </ul>
詳細設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>●タッチすると詳細設定画面が表示されます。</li> <li>●フィールド名のデータタイプによって詳細設定画面が異なります。</li> </ul>

＜文字の詳細設定画面のキー説明＞

タッチキー名	はたらき
文字種	●文字種を選択します。タッチすると文字種を選択画面が表示されます。
文字間ピッチ	●文字間ピッチをテンキーで入力します。設定範囲は0.00～8.25(mm)になります。
横倍率	●横倍率をテンキーで入力します。設定範囲は01～12になります。 ●文字種に半角ビットマップフォントまたは漢字ビットマップフォントを指定した場合、本項目は有効になります。
縦倍率	●縦倍率をテンキーで入力します。設定範囲は01～12になります。 ●文字種に半角ビットマップフォントまたは漢字ビットマップフォントを指定した場合、本項目は有効になります。
スムージング	●スムージングの有無を「あり」、「なし」から選択します。 ●横倍率、縦倍率がそれぞれ3～12倍に設定した場合、有効になります。 ●文字種に半角ビットマップフォントまたは漢字ビットマップフォントを指定した場合、本項目は有効になります。
白黒反転	●白黒反転を「あり」、「なし」から選択します。 ●文字種にCGフォント指定した場合、本項目は無効になります。
印字方向	●印字方向を「平行1(0°)」、「シリアル1(90°)」、「平行2(180°)」、「シリアル2(270°)」から選択します。
行間	●行間をテンキーで入力します。設定範囲は0.00～8.25(mm)になります。
横配置	●横方向の配置方法を「左揃え」、「横中央揃え」、「右揃え」、「スペース均等」、「自動改行」、「文字均等」から選択します。 ●「文字均等」は文字種をCGフォントに指定した場合有効になります。 ●詳細は「文字の配置を変えて印字するときは」を参照してください。→176ページ
縦配置	●縦方向の配置方法を「上揃え」、「縦中央揃え」、「下揃え」から選択します。 ●詳細は「文字の配置を変えて印字するときは」を参照してください。→176ページ
2色印字	●印字色の選択を「黒」、「赤」から選択します。 ●「赤」で印字させる場合には2色専用のラベルを使用してください。 ●2色で使用される場合は、販売店、ディーラーまたは担当営業にご相談してください。
強調	●強調の有無を「通常」、「強調(右)」、「強調(下)」、「強調(右下)」から選択します。 ●横倍率、縦倍率がそれぞれ1～5倍に設定した場合、有効になります。 ●文字種に漢字ビットマップフォントを指定した場合、本項目は有効になります。
縦書き／横書き	●文字方向を「縦書き」「横書き」から選択します。 ●文字種に漢字ビットマップフォントを指定した場合、本項目は有効になります。
横サイズ	●横サイズをテンキーで入力します。設定範囲は4～999(ドット)または2～99(ポイント)になります。 ●文字種にCGフォントを指定した場合、本項目は有効になります。
縦サイズ	●縦サイズをテンキーで入力します。設定範囲は4～999(ドット)または2～99(ポイント)になります。 ●文字種にCGフォントを指定した場合、本項目は有効になります。

▲選択テーブルのフィールド指定の表「データ型の設定項目について」を参照してください。→126ページ

## 1 文字関連の場合

指定したフィールドのデータタイプが、「半角フリー」、「半角数字」、「全角フリー」、「全角半角混在」、「プリセット」、「プリセット(フリー型)」のいずれかであった場合、以下の画面が表示されます。

文字の詳細設定画面

## 1-1 「半角フリー」、「半角数字」、「プリセット」、「プリセット(フリー型)」の文字の詳細設定

- 各項目にタッチし、選択または、テンキーで入力します。
- 選択後は **確定** にタッチします。  
レイアウト修正処理画面2に戻ります。

文字の詳細設定			
文字種	X1 (30×75)		
文字間ピッチ	0.00	横倍率	01
縦倍率	01	スムージング	なし
白黒反転	なし	印字方向	パラレル1 (0°)
行間	00.00	横配置	左揃え
縦配置	上揃え	2色印字	黒
			確定
			戻る

▲文字の詳細設定画面キーの説明は、表「データ型の設定項目について」を参照してください。→126ページ

## 【 文字種 にタッチした場合 】

右の文字種の選択画面が表示されます。

- ① 各文字種にタッチし、文字種を選択します。  
文字の詳細設定画面に戻ります。

文字種によって印字できる文字が異なりますのでご注意ください。  
詳細は、「基本仕様のフォント一覧」を参照してください。→225ページ



文字種の選択画面

フィールドパラメータの指定			
X1	(30×75)	X24	(48×48)
X2	(12×30)	X80	(42×42)
X3	(20×32)	X81	(48×48)
WB	(18×30)	X82	(59×59)
WL	(28×52)	X83	(59×59)
OCR-B	(30×36)	X84	(59×59)
X20	(5×9)	X85	(59×59)
X21	(17×17)	X86	(65×65)
X22	(24×24)	X87	(89×89)
X23	(48×48)	X88	(118×118)
			戻る

文字の詳細設定画面

## 1-2 「全角フリー」、「全角半角混在」の文字の詳細設定

- 各項目にタッチし、選択または、テンキーで入力します。
- 選択後は **確定** にタッチします。  
レイアウト修正処理画面2に戻ります。

文字の詳細設定			
文字種	明朝 (16×16)		
文字間ピッチ	0.00	横倍率	01
縦倍率	01	強調	通常
スムージング	なし	白黒反転	なし
印字方向	パラレル1 (0°)	縦書き/横書き	横書き
行間	00.00	横配置	左揃え
縦配置	上揃え	2色印字	黒
			確定
			戻る

▲文字の詳細設定画面キーの説明は、「1-3文字の詳細設定」または表「データ型の設定項目について」を参照してください。→92、94ページ

【 **文字種** にタッチした場合 】



文字種を選択画面

右の文字種を選択画面が表示されます。



- ① 各文字種にタッチし、文字種を選択します。

文字の詳細設定画面に戻ります。

〈データ型の設定項目について〉

データ型	文字種	文字間ピッチ	横倍率	縦倍率	スムージング	白黒反転	印字方向	行間	横配置	縦配置	2色指定	強調	縦書き/横書き	横サイズ	縦サイズ
半角フリー	半角	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	CG	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○
半角数字	半角	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	CG	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○
全角フリー	漢字	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
	CG	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○
全角半角混在	漢字	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
	CG	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○
プリセット	半角	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	CG	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○
プリセット(フリー型)	半角	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	CG	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○

○：設定項目    ×：設定不可項目

(半角：半角ビットマップフォント、 漢字：漢字ビットマップフォント、 CG：CGフォント)

- スムージングは、横倍率、縦倍率がそれぞれ3～12倍に設定した場合、有効となります。
- 強調は、横倍率、縦倍率がそれぞれ1～5倍に設定した場合、有効となります。

## 2 グラフィックの場合

選択テーブルからレイアウトで印字するグラフィックのフィールドを指定します。

- ① 選択テーブルのフィールド指定画面でグラフィックフィールド名にタッチします。  
グラフィックフィールドのフィールドパラメータ指定画面が表示されます。

フィールドパラメータ指定画面

フィールドパラメータの指定

発行時入力	不可
横位置	000.00 (mm)
縦位置	000.00 (mm)
幅×高さ	制限無し
詳細設定	グラフィックの詳細設定

確定  
戻る

- ② 各項目にタッチし、選択またはテンキーで入力します。  
[詳細設定]にタッチすると、グラフィックフィールドの詳細設定画面に切り替わります。

- ③ [確定]をタッチします。  
レイアウト修正処理画面2に戻ります。

<フィールドパラメータ指定画面のキー説明>

タッチキー名	はたらき
発行時入力	<ul style="list-style-type: none"> <li>●発行時の入力を「不可」、「許可」から選択します。</li> <li>●「許可」を選択すると、ラベル発行時に入力データの変更を行うことができます。</li> </ul>
横位置	●横位置をテンキーで入力します。設定範囲は000.00~104.00 (mm)になります。
縦位置	●縦位置をテンキーで入力します。設定範囲は000.00~200.00 (mm)になります。
幅×高さ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●グラフィックフィールドの印字範囲を入力します。</li> <li>●サイズ指定を「制限あり」に設定した場合のみ設定可能となります。</li> <li>●設定範囲は幅000.00~104.00 (mm)、高さ000.00~200.00 (mm)になります。</li> </ul>
詳細設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>●タッチすると詳細設定画面が表示されます。</li> <li>●グラフィックフィールドの詳細設定画面を参照してください。→128ページ</li> </ul>

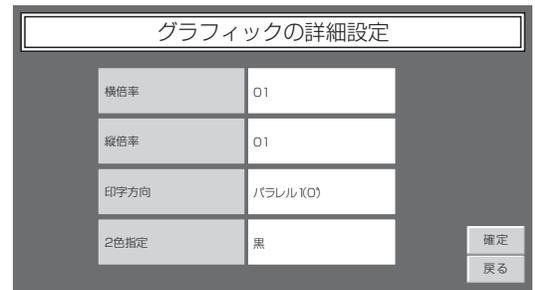
**【 詳細設定 にタッチした場合 】**

右のグラフィックフィールドの詳細設定画面が表示されます。

グラフィックフィールドの詳細設定画面

① 各項目にタッチし、選択または、  
テンキーで入力します。

② **確定** にタッチします。  
グラフィックのフィールドパラ  
メータ指定画面に戻ります。



<グラフィックフィールドの詳細設定画面のキー説明>

タッチキー名	はたらき
横倍率	●横倍率をテンキーで入力します。設定範囲は01～12になります。
縦倍率	●縦倍率をテンキーで入力します。設定範囲は01～12になります。
印字方向	●印字方向を「平行1(0°)」、「シリアル1(90°)」、「平行2(180°)」、「シリアル2(270°)」から選択します。
2色指定	●印字色を「黒」、「赤」から選択します。 ●「赤」で印刷させる場合は2色専用のラベルを使用してください。 ●2色印字を使用される場合は、販売店、ディーラーまたは担当営業にご相談してください。

#### ④テキストを選択した場合

- フィールドパラメータの発行時入力、横位置、縦位置、種類を指定します。

フィールドパラメータ指定画面

- ① 各項目にタッチし、選択または、テンキーで入力します。
- ② **確定** にタッチします。

<フィールドパラメータ指定画面のキー説明>

タッチキー名	はたらき
横位置	●横位置をテンキーで入力します。設定範囲は000.00～104.00 (mm) になります。
縦位置	●縦位置をテンキーで入力します。設定範囲は000.00～200.00 (mm) になります。
幅×高さ	●フィールドの印字有効範囲を入力します。 ●設定した範囲内で右揃え、スペース均等、自動改行等が有効になります。 ●サイズ指定を「制限あり」に設定した場合のみ設定可能となります。 ●設定範囲は幅000.00～104.00 (mm)、高さ000.00～200.00 (mm) になります。
詳細設定	●タッチすると詳細設定画面が表示されます。 ●フィールド名のデータタイプによって画面の内容は異なります。 ●詳細は「文字の配置を変えて印字するときは」を参照してください。→176ページ
データ	●印字データを入力します。タッチすると、文字の入力画面が表示されます。 ●文字入力の方法に関しては、「文字の入力について」を参照してください。→136ページ

#### 【 詳細設定 にタッチした場合 】

文字の詳細設定画面

右の文字種の選択画面が表示されます。

- 各項目にタッチし、選択または、テンキーで入力してください。
- 選択後は **確定** にタッチします。フィールドパラメータの指定画面に戻ります。

＜文字の詳細設定画面のキー説明＞

タッチキー名	はたらき
文字種	●文字種を選択します。タッチすると文字種の選択画面が表示されます。
文字間ピッチ	●文字間ピッチをテンキーで入力します。設定範囲は0.00～8.25(mm)になります。
横倍率	●横倍率をテンキーで入力します。設定範囲は01～12になります。 ●文字種に半角ビットマップフォントまたは漢字ビットマップフォントを指定した場合、本項目は有効になります。
縦倍率	●縦倍率をテンキーで入力します。設定範囲は01～12になります。 ●文字種に半角ビットマップフォントまたは漢字ビットマップフォントを指定した場合、本項目は有効になります。
スムージング	●スムージングの有無を「あり」、「なし」から選択します。 ●横倍率、縦倍率がそれぞれ3～12倍に設定した場合、有効になります。 ●文字種に半角ビットマップフォントまたは漢字ビットマップフォントを指定した場合、本項目は有効になります。
白黒反転	●白黒反転を「あり」、「なし」から選択します。 ●文字種にCGフォント指定した場合、本項目は無効になります。
印字方向	●印字方向を「平行1(0°)」、「シリアル1(90°)」、「平行2(180°)」、「シリアル2(270°)」から選択します。
行間	●行間をテンキーで入力します。設定範囲は0.00～8.25(mm)になります。
横配置	●横方向の配置方法を「左揃え」、「横中央揃え」、「右揃え」、「スペース均等」、「自動改行」、「文字均等」から選択します。 ●「文字均等」は文字種をCGフォントに指定した場合有効になります。 ●詳細は「文字の配置を変えて印字するときは」を参照してください。→176ページ
縦配置	●縦方向の配置方法を「上揃え」、「縦中央揃え」、「下揃え」から選択します。 ●詳細は「文字の配置を変えて印字するときは」を参照してください。→176ページ
2色印字	●印字色の選択を「黒」、「赤」から選択します。 ●「赤」で印字させる場合には2色専用のラベルを使用してください。 ●2色で使用される場合は、販売店、ディーラーまたは担当営業にご相談してください。
強調	●強調の有無を「通常」、「強調(右)」、「強調(下)」、「強調(右下)」から選択します。 ●横倍率、縦倍率がそれぞれ1～5倍に設定した場合、有効になります。 ●文字種に漢字ビットマップフォントを指定した場合、本項目は有効になります。
縦書き／横書き	●文字方向を「縦書き」、「横書き」から選択します。 ●文字種に漢字ビットマップフォントを指定した場合、本項目は有効になります。
横サイズ	●横サイズをテンキーで入力します。設定範囲は4～999(ドット)または2～99(ポイント)になります。 ●文字種にCGフォントを指定した場合、本項目は有効になります。
縦サイズ	●縦サイズをテンキーで入力します。設定範囲は4～999(ドット)または2～99(ポイント)になります。 ●文字種にCGフォントを指定した場合、本項目は有効になります。

【 文字種 にタッチした場合 】

右の文字種の選択画面が表示されます。

- ① 各文字種にタッチし、文字種を選択します。

データタイプの全角半角の指定に応じて、選択可能な文字種は異なります。



文字種の選択画面

フィールドパラメータの指定			
X1	(30×75)	X24	(48×48)
X2	(12×30)	X80	(42×42)
X3	(20×32)	X81	(48×48)
WB	(18×30)	X82	(59×59)
WL	(28×52)	X83	(59×59)
OCR-B	(30×36)	X84	(59×59)
X20	(5×9)	X85	(59×59)
X21	(17×17)	X86	(65×65)
X22	(24×24)	X87	(89×89)
X23	(48×48)	X88	(118×118)

戻る

## ⑤ 罫線・枠線を選択した場合

- 罫線・枠線のフィールドパラメータ指定します。

- ① 各項目にタッチし、選択または、テンキーで入力します。

- ② **確定** にタッチします。

フィールドパラメータ指定画面

フィールドパラメータの指定	
横位置	000.00 (mm)
縦位置	000.00 (mm)
線種	横線
横線幅	0.00 (mm)
縦線幅	0.00 (mm)
横罫線長	000.01 (mm)
縦罫線長	000.01 (mm)
2色印字	黒

<罫線・枠線フィールドパラメータ指定画面のキー説明>

タッチキー名	はたらき
横位置	●横位置をテンキーで入力します。設定範囲は000.00～104.00 (mm) になります。
縦位置	●縦位置をテンキーで入力します。設定範囲は000.00～200.00 (mm) になります。
線種	●線種を「横線」、「縦線」、「枠線」から選択します。
横線幅	●横線幅をテンキーで入力します。設定範囲は0.00～8.25 (mm) になります。 ●線種に「縦線」を指定した場合は入力できません。
縦線幅	●縦線幅をテンキーで入力します。設定範囲は0.00～8.25 (mm) になります。 ●線種に「横線」を指定した場合は入力できません。
横罫線長	●横罫線長をテンキーで入力します。設定範囲は000.01～104.00 (mm) になります。 ●線種に「縦線」を指定した場合は入力できません。
縦罫線長	●縦罫線長をテンキーで入力します。設定範囲は000.01～200.00 (mm) になります。 ●線種に「横線」を指定した場合は入力できません。
2色印字	●印字色の選択を「黒」、「赤」から選択します。 ●「赤」で印字させる場合には2色専用のラベルを使用してください。 ●2色で使用される場合は、販売店、ディーラーまたは担当営業にご相談してください。

## ⑥ グラフィックを選択した場合

● グラフィックのフィールドパラメータを指定します。

フィールドパラメータ指定画面

① 各項目にタッチし、選択または、  
テンキーで入力します。

② **確定** にタッチします。

<グラフィックフィールドパラメータ指定画面のキー説明>

タッチキー名	はたらき
横位置	●横位置をテンキーで入力します。設定範囲は0.00~104.00(mm)になります。
縦位置	●縦位置をテンキーで入力します。設定範囲は0.00~200.00(mm)になります。
グラフィック	●グラフィックを選択します。
横倍率	●横倍率をテンキーで入力します。設定範囲は1~12になります。
縦倍率	●縦倍率をテンキーで入力します。設定範囲は1~12になります。
印字方向	●印字方向を「パラレル1(0°)」、「シリアル1(90°)」、「パラレル2(180°)」、「シリアル2(270°)」から選択します。
2色印字	●印字色の選択を「黒」、「赤」から選択します。 ●「赤」で印字させる場合には2色専用のラベルを使用してください。 ●2色で 사용되는場合は、販売店、ディーラーまたは担当営業にご相談してください。

【 **グラフィック** にタッチした場合 】



グラフィック選択画面

右のグラフィックの選択画面が表示されます。

① 各グラフィックにタッチし、  
グラフィックを選択します。

② **確定** にタッチします。

- ▲・▼ でグラフィック一覧を切り替えます。
- テンキーで数字を入力し、**実行** キーを押すと入力したグラフィックNo. のグラフィックから表示されます。

【 **プレビュー** にタッチした場合 】

選択されたグラフィックのプレビューが表示されます。

↑、↓、→、← でプレビュー領域が上下左右にスクロールします。



プレビュー画面



## ⑦白黒反転を選択した場合

- 白黒反転のフィールドパラメータ指定します。

- ① 各項目にタッチし、選択または、テンキーで入力します。

- ② **確定** にタッチします。

フィールドパラメータ指定画面

フィールドパラメータの指定	
横位置	000.00 (mm)
縦位置	000.00 (mm)
横反転サイズ	000.01 (mm)
縦反転サイズ	000.01 (mm)
2色指定	黒

確定  
戻る

<白黒反転フィールドパラメータ指定画面のキー説明>

タッチキー名	はたらき
横位置	●横位置をテンキーで入力します。設定範囲は000.00～104.00 (mm)になります。
縦位置	●縦位置をテンキーで入力します。設定範囲は000.00～200.00 (mm)になります。
横反転サイズ	●横反転サイズをテンキーで入力します。設定範囲は000.01～104.00 (mm)になります。
縦反転サイズ	●縦反転サイズをテンキーで入力します。設定範囲は000.01～200.00 (mm)になります。
2色指定	●印字色を「黒」、「赤」から選択します。 ●「赤」で印字させる場合には2色専用のラベルを使用してください。 ●2色で使用される場合は、販売店、ディーラーまたは担当営業にご相談してください。

# 文字の入力について

ここでは文字を入力するときのキーの配置とはたらきについて説明します。

「品名の入力」、「印字データの入力」、「和暦の入力」、「スケジュール名の入力」などで文字の入力があります。各データの入力画面から文字の入力画面に切り替わります。

★文字の入力画面は共通ですが、各データの入力画面により見出しの表示が替わります。

## 1 ひらがな入力画面

「かな」にタッチすると右の画面が表示されます。通常文字の入力画面に切り替わると、ひらがな入力画面が表示されます。

- ① **文字キー**で入力します。  
漢字を入力するときは **変換** で入力したひらがなを漢字に変換します。
- ② **確定** にタッチします。
- ③ **実行** キーまたは **閉じる** を押します。



文字キー

タッチキー名	はたらき
← →	カーソル位置を左右に移動します。漢字変換中に押すと、変換候補の文字の表示を切り替えます。
↑ ↓	カーソル位置を上下に移動します。漢字変換中に押すと、変換候補の文字の表示を切り替えます。
小	入力した文字を小文字に変換します。
かな	入力モードをひらがな入力に切り替えます。
カナ	入力モードをカタカナ入力に切り替えます。
英数	入力モードを英数字入力に切り替えます。
記号	入力モードを記号入力に切り替えます。
特殊	入力モードを特殊文字入力に切り替えます。
JIS	入力モードをJIS漢字コード入力に切り替えます。
ローマ	入力モードをローマ字入力に切り替えます。
半角	入力モードを半角文字入力に切り替えます。
後退	カーソルの一つ前の文字をクリアします。 漢字変換中に押すと、漢字変換をキャンセルします。
全クリア	入力欄に表示されている全ての文字をクリアします。
下線	カーソル位置の文字に下線を引きます。但し、データ型が全角フリー、全角半角混在、半角フリーのみ有効となります。
クリア	カーソル位置の文字をクリアします。
変換	入力した文字を変換します。漢字変換中に押すと、漢字変換をキャンセルします。
確定	漢字変換した文字を確定します。
テーブル	入力した文字が単語テーブルに登録されている省略名に該当する場合、登録されている単語に変換します。またテンキーより単語テーブルに登録されている番号を入力して押すと、登録されている単語に変換します。文字や番号を入力する前に押すと、単語テーブルのリスト画面が表示され、単語を選択できます。
閉じる	文字の入力画面を終了し、各データの入力画面に戻ります。

## 2 カタカナ入力画面

[カタ] にタッチすると右の画面が表示されます。

- ① 文字キーで入力します。  
漢字に変換するときは [かな] と同じように行います。
- ② **確定** をタッチします。
- ③ **実行** キーまたは **閉じる** を押します。



## 3 英数字入力画面

[英] にタッチすると右の画面が表示されます。

- ① 文字キーで入力します。
- ② **確定** をタッチします。
- ③ **実行** キーまたは **閉じる** を押します。



## 4 記号入力画面

[記号] にタッチすると右の画面が表示されます。

- ① 文字キーで入力します。
- ② **確定** をタッチします。
- ③ **実行** キーまたは **閉じる** を押します。



## 5 特殊文字入力画面

[特殊] にタッチすると右の画面が表示されます。

- ① 文字キーで入力します。
- ② **確定** をタッチします。
- ③ **実行** キーまたは **閉じる** を押します。



## 6 JIS漢字コード入力画面

[JIS] にタッチすると右の画面が表示されます。

- ① 文字キーで入力します。  
漢字を入力するときは [変換] で入力したJIS漢字コードを漢字に変換します。
- ② [確定] をタッチします。
- ③ [実行] キーまたは [閉じる] を押します。



## 7 ローマ字入力画面

[ローマ] にタッチすると右の画面が表示されます。

- ① 文字キーで入力します。  
漢字に変換するときは [かな] と同じように行います。
- ② [確定] をタッチします。
- ③ [実行] キーまたは [閉じる] を押します。



## 8 半角文字入力画面

[半角] にタッチすると右の画面が表示されます。

- ① 文字キーで入力します。
- ② [確定] をタッチします。
- ③ [実行] キーまたは [閉じる] を押します。



## 文字の入力例

### 1 ひらがな入力

#### 【白菜あさ漬】

「白菜」、「あさ」、「漬」と分けて入力します。

- ① **は** **く** **さ** **い** の順にタッチします。

はくさいと白黒反転して表示されます。

- ② **変換** にタッチします。

下段に漢字候補文字が表示されます。

- ③ **確定** にタッチし、「白菜」を確定します。

- ④ **あ** **さ** の順にタッチします。

あさと白黒反転して表示されます。

- ⑤ **確定** にタッチし、「あさ」を確定します。

- ⑥ **つ** **け** の順にタッチします。

つけと白黒反転して表示されます。

- ⑦ **変換** にタッチします。

下段に漢字候補文字が表示されます。

←・→ にタッチして項番のカーソルを「5、漬け」に移動します。

- ⑧ **確定** にタッチし、「漬け」を確定します。



- ⑨ **後退** にタッチします。  
カーソルの一つ前の文字をクリアします。



- ⑩ 「白菜あさ漬」を確定した後、**実行**キーまたは**閉じる**を押します。



- **変換** にタッチして漢字変換し、下段に入力する漢字候補文字が表示されなかった場合、**↑**・**↓** にタッチして、漢字候補文字を切り替えます。
- 漢字候補中に入力する文字が漢字候補文字の先頭（項番1）になかった場合、下段に表示している項番のカーソルを **←**・**→** にタッチして移動し、**確定** にタッチして入力する文字を確定します。同様に、漢字変換中に入力する文字が漢字候補文字の先頭（項番1）になかった場合、漢字候補文字の項番をテンキーで押して入力する文字を確定することができます。

## 2 JIS漢字コード入力

### 【親子丼】

「親」、「子」、「丼」と分けて入力します。

- ① **3** **F** **4** **6** の順にタッチします。  
「3F46」と白黒反転して表示されます。
- ② **変換** にタッチします。  
下段にJIS漢字コードの文字が表示されます。
- ③ **確定** にタッチし、「親」を確定します。
- ④ **3** **B** **5** **2** の順にタッチします。  
「3B52」と白黒反転して表示されます。
- ⑤ **変換** にタッチします。  
下段にJIS漢字コードの文字が表示されます。
- ⑥ **確定** にタッチし、「子」を確定します。
- ⑦ **5** **0** **2** **7** の順にタッチします。  
「5027」と白黒反転して表示されます。
- ⑧ **変換** にタッチします。  
下段にJIS漢字コードの文字が表示されます。
- ⑨ **確定** にタッチし、「丼」を確定します。
- ⑩ 「親子丼」を確定した後、**実行** キーまたは **閉じる** を押します。



### 3 ローマ字入力

#### 【おにぎり梅】

「おにぎり」、「梅」に分けて入力します。

- ① **ONIGIRI** の順にタッチします。  
「おにぎり」と白黒反転して表示されます。
- ② **確定** にタッチし、「おにぎり」を確定します。



- ③ **UME** の順にタッチします。  
「うめ」と白黒反転して表示されます。
- ④ **変換** にタッチします。  
下段に候補文字が表示されます。
- ⑤ **確定** にタッチし、「梅」を確定します。



- ⑥ 「おにぎり梅」を確定した後、**実行** キーまたは **閉じる** を押します。



## 原材料ビタミン表示の仕方

文字の入力画面の特殊文字入力画面では、ビタミン記号9文字（B<sub>1</sub>、B<sub>2</sub>、B<sub>3</sub>、B<sub>5</sub>、B<sub>6</sub>、B<sub>12</sub>、B<sub>13</sub>、B<sub>15</sub>、B<sub>17</sub>）を表示し、入力することができます。

ここでは、【ビタミンB<sub>2</sub>】を例に説明します。

「ビタミン」、「B<sub>2</sub>」を分けて入力します。

- ① **カナ** にタッチします。  
カタカナ入力画面になります。
- ② **ビ**、**タ**、**ミ**、**ン** の順にタッチします。  
「ビタミン」と白黒反転して表示されます。
- ③ **確定** にタッチし、「ビタミン」を確定します。



- ④ **特殊** にタッチします。  
特殊文字入力画面の第1画面になります。
- ⑤ **▼** にタッチします。  
特殊文字入力画面の第2画面になります。



- ⑥ **B<sub>2</sub>** にタッチします。
- ⑦ 「ビタミンB<sub>2</sub>」を確定した後、**実行**キーまたは**閉じる**を押します。



## 単語テーブル（マスタデータ入力時）

入力モード画面において、文字キーで入力する前にテーブルにタッチすると単語テーブル選択画面が表示されます。



マスタテーブル登録で「関連するテーブル」設定で指定した単語テーブルデータの選択画面になります。「関連するテーブル」設定を無に設定した場合、単語テーブル選択画面になります。  
テーブル にタッチすると次の画面が表示されます。

- ① ▲・▼ でテーブルデータの一覧を切り替えます。
- ② 入力するデータが見つかったらテーブルデータをタッチします。
- ③ 文字の入力画面に戻ります。



### 重要

- 番号検索 にテンキーより数字を入力し、(実行) キーを押すと入力した番号からのテーブルデータ一覧表示に切り替わります。
- 省略名検索 にタッチすると文字の入力画面が表示されます。検索したい省略名を入力すると、入力した省略名と同じテーブルデータの表示に切り替わります。
- 番号検索と省略名検索は同時には機能しません。

文字の入力画面で、マスタテーブル登録の関連するテーブルを設定している場合、テーブルNo.を入力して、**テーブル** にタッチすると、テーブルデータを直接表示することができます。

ここでは、添加物テーブルの「No.139 合成着色料」を例に説明します。  
マスタテーブル登録で関連するテーブルの設定は、添加物テーブルとしています。

- ① テンキーで「0139」を入力します。  
テーブルNo.は4桁必須入力してください。

文字の入力

0139

小	かな	カナ	英	記号	特殊	JIS	ローマ	半角	▲	▼		
,	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ	後退	全クリア
,	を	り	(	み	ひ	に	ち	し	き	い	下線	クリア
.	ん	る	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う	変換	確定
-	れ	)	め	へ	ね	て	せ	け	え		テーブル	閉じる
.	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ	お			



- ② **テーブル** にタッチすると、テーブル番号検索して、「合成着色料」が表示されます。

文字の入力

合成着色料

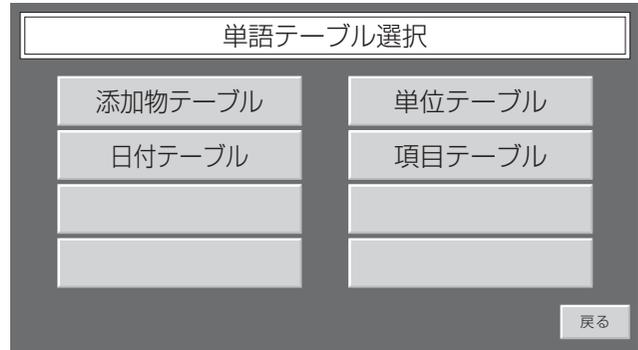
小	かな	カナ	英	記号	特殊	JIS	ローマ	半角	▲	▼		
,	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ	後退	全クリア
,	を	り	(	み	ひ	に	ち	し	き	い	下線	クリア
.	ん	る	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う	変換	確定
-	れ	)	め	へ	ね	て	せ	け	え		テーブル	閉じる
.	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ	お			

## 単語テーブル選択画面（マスタデータ入力時）

単語テーブルの選択画面になります。

[テーブル] にタッチすると次の画面が表示されます。

- ① 入力するデータの単語テーブルキーにタッチし、単語テーブルデータ一覧画面が表示されます。
- ② 入力するテーブルデータが見つかったら、テーブルデータにタッチします。
- ③ 文字の入力画面に戻ります。



タッチキー名	はたらき
添加物テーブル	添加物テーブルデータの一覧画面が表示されます。
単位テーブル	単位テーブルデータの一覧画面が表示されます。
日付テーブル	日付テーブルデータの一覧画面が表示されます。
項目テーブル	項目テーブルデータの一覧画面が表示されます。
〇〇〇テーブル	追加したテーブルデータの一覧画面が表示されます。
戻る	文字の入力画面に戻ります。

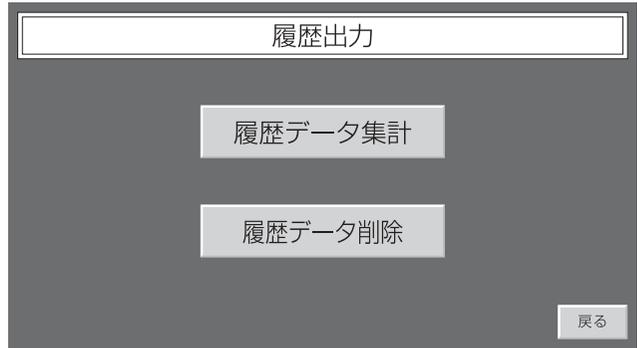
## 履歴を出力するときは

履歴出力には履歴データ集計と履歴データ削除があります。

履歴出力画面

履歴処理する項目にタッチします。

- 保存件数は最大2000件です。2000件以上は古いデータから上書きされます。



### ①履歴データ集計

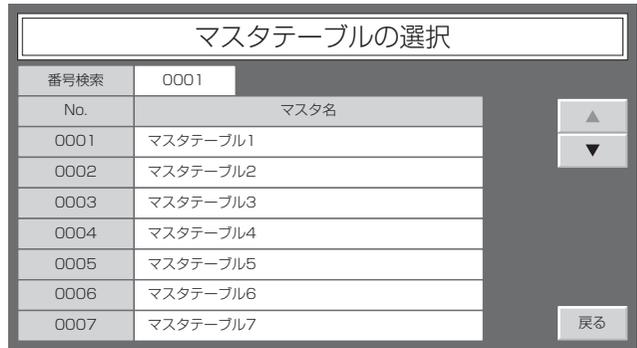
履歴データの集計と印刷を行います。

- ① 登録されているマスタテーブルにタッチして、選択します。

・テンキーで数字を入力し、(実行)キーを押すと入力したテーブルNo.のマスタテーブルが表示されます。

▲履歴データ画面が表示されます。

履歴出力マスタテーブル選択画面



### 【日付の設定】

- ② 日付にタッチし、印刷する日付の設定を行います。

▲日付指定の画面が表示されます。

履歴データ集計画面



- ▲・▼で履歴データの一覧を切り替えます。

- ③ テンキーで指定開始月、指定終了月を入力し、**実行**キーを押します。

→・← でカーソルを移動し、入力します。

- ④ **戻る** にタッチし、履歴データ集計画面に戻ります。

- ⑤ **印刷** にタッチします。  
プリンタで履歴印刷を行います。

↓

日付指定

指定開始日	2003年01月01日
指定終了日	2003年01月01日

→

←

戻る

### 注意

- 履歴印刷は、横ラベルサイズ104mm、縦ラベルサイズ200mmの用紙で行ってください。

## ②履歴データ削除

履歴データを削除します。

- ① **マスタ** にタッチし、削除するマスタテーブルを指定します。

- ② **日付** にタッチし、削除する履歴の日付設定を行います。

- ③ **削除** にタッチします。  
削除確認画面が表示されます。

- ④ **はい** または **いいえ** にタッチします。  
**はい** にタッチすると、履歴データを削除します。

履歴データ削除

マスタ情報 0001:マスタテーブル

No.	発行日付	レイアウトNo.	品名	発行枚数
0001	2001/11/09 16:32	9999	弁当	0005
0002	2001/11/09 16:45	9999	弁当	0003
0003	2001/11/09 16:52	9999	弁当	0001
0004				
0005				
0006				
0007				
0008				

▲

▼

日付

マスタ

削除

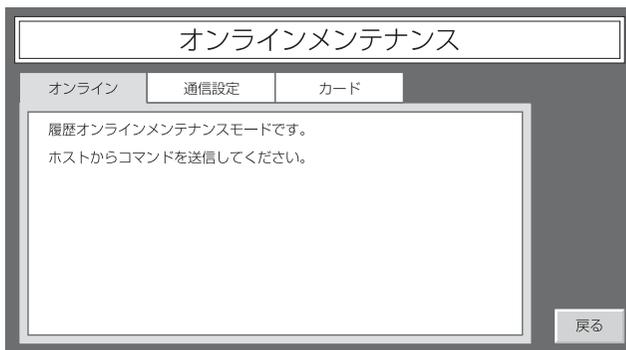
戻る

### ③履歴データの転送

履歴データ集計画面で **転送** にタッチします。履歴データの転送を行います。

データ受信待ち画面

ホストからのコマンドを待機している状態です。



#### 1 データ受信

ホストからデータ登録コマンドまたはデータ取得のコマンドが送信または受信が終了した状態です。

▲図中の「○○」は「送信」または「受信」と表示されます。



通信終了画面



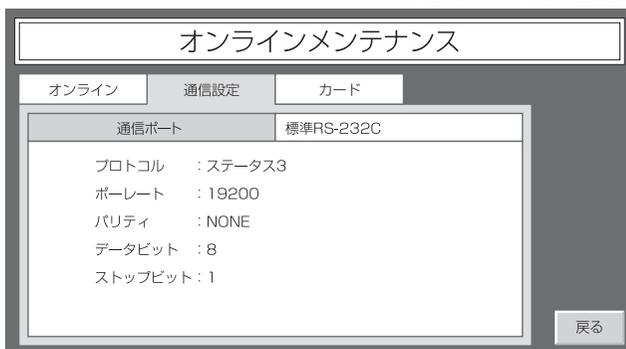
#### 2 通信ポート設定

通信ポートの設定を行います。

通信ポート設定画面

① データ受信待ち画面で **通信設定** にタッチします。  
右の画面が表示されます。

② 通信ポートにタッチし、選択します。



● オプションボードを装着している場合のみ選択できます。

### 3 カード保存

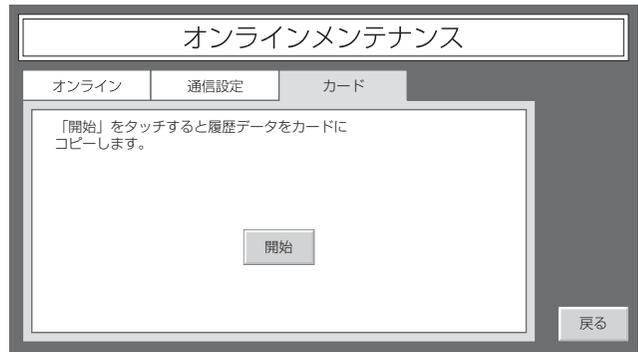
履歴データをカードにファイルとして保存します。

- ① データ受信待ち画面で **カード** にタッチします。  
右の画面が表示されます。

- ② **開始** ボタンにタッチし、履歴データをカードに保存します。



カード保存画面



- 保存される履歴はマスタテーブルに関わらず、直近の2000件分を全て保存します。

# 環境設定

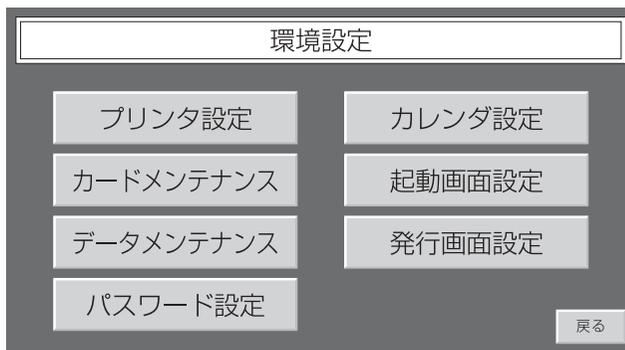
ここでは本機の各種設定およびカードおよびデータのメンテナンスについて、説明します。

## 環境設定の種類

環境設定は **プリンタ設定** **カレンダー設定** **カードメンテナンス** **起動画面設定**  
**データメンテナンス** **発行画面設定** **パスワード設定** の7つの種類があります。

選択する項目にタッチします。

- 変更がないときは **戻る** にタッチします。  
メニュー画面に戻ります。



## 1. プリンタ設定

### 1 用紙

用紙に関連した設定を行います。

- 各項目にタッチし、選択してください。
- 縦ラベルサイズ、横ラベルサイズ、縦基点補正、横基点補正はテンキーで数字を入力します。
- 入力、選択後は **確定** にタッチします。  
環境設定メニュー画面に戻ります。



#### <用紙画面のキー説明>

タッチキー名	はたらき
縦ラベルサイズ	●設定範囲は15～200 (mm) になります。
横ラベルサイズ	●設定範囲は25～104 (mm) になります。
縦基点補正	●設定範囲は-66.00～66.00 (mm) になります。
横基点補正	●設定範囲は-66.00～66.00 (mm) になります。
印字濃度	●「A」、「B」、「C」、「E」から選択します。
印字濃度レベル	●「薄い」、「やや薄い」、「普通」、「やや濃い」、「濃い」から選択します。
センサタイプ	●「反射式センサ」、「透過式センサ」、「センサ無視」から選択します。 ●発行動作設定を「ティアオフ」、「ハクリ」に設定している場合、「センサ無視」を選択できません。
ピッチサイズ チェック	●1枚目発行時にピッチサイズをチェックする機能を有効にするか無効にするかを「有効」、「無効」から選択します。

## 2 動作

動作に関連した設定を行います。

- 各項目にタッチし、選択してください。
- 選択後は **確定** にタッチします。  
環境設定メニュー画面に戻ります。



### <動作画面のキー説明>

タッチキー名	はたらき
印字速度	●印字速度を2～10(インチ/秒)から選択します。
ハクリ・カッタ動作	<p>●ハクリ・カッタのバックフィード動作を「ヘッド位置」、「ハクリ・カッタ位置」、「バックフィードなし」(カッタ・ノンセパ時のみ有効)から選択します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.ハクリ動作「ヘッド位置」:ラベルハクリ後にヘッド位置までバックフィードします。</li> <li>2.ハクリ動作「ハクリ位置」:印字開始前にヘッド位置までバックフィードし、印刷終了後、ハクリ位置までフィードします。</li> <li>3.カッタ動作「ヘッド位置」:ラベルカット後にヘッド位置までバックフィードします。</li> <li>4.カッタ動作「カッタ位置」:印字開始前にヘッド位置までバックフィードし、印字終了後ラベルカットします。</li> <li>5.カッタ動作「バックフィードなし」:バックフィードしません。バックフィードしないため、先頭から25mmは印字しません。</li> <li>6.ノンセパ動作「カッタ位置」:印字開始前にヘッド位置までバックフィードし、印字終了後ラベルカットします。</li> <li>7.ノンセパ動作「バックフィードなし」:バックフィードしません。バックフィードしないため、先頭から25mmは印字しません。</li> </ol>
初期フィード	●初期フィードを「無効」、「有効」から選択します。
オンラインフィード	●オンラインフィードを「無効」、「有効」から選択します。
再発行指定	<p>●再発行指定を「再発行しない」、「再発行する」から選択します。</p> <p>●「再発行する」を選択すると、オンライン発行時に(紙送り)キーをタッチし、前回発行したラベルをもう1枚発行することができます。</p>
ブザー音量	●ブザー音量を「0」(ブザー音なし)～「5」から選択します。
印字モード	●印字モードを「感熱固定」、「熱転写/感熱専用」から選択します。
ハクリ待ちの警告表示	<p>●ハクリ待ちの警告表示を「警告する」、「警告しない」から選択します。</p> <p>「警告する」を選択すると、発行ラベルのハクリ待ち状態が10秒継続しますとハクリ待ちの警告画面を表示します。</p>

### 3 文字

文字に関連した設定を行います。

- 各項目にタッチし、選択してください。
- 選択後は **確定** にタッチします。  
環境設定メニュー画面に戻ります。



#### <文字画面のキー説明>

タッチキー名	はたらき
漢字コード	●漢字コードを「JISコード」、「シフトJISコード」から選択します。
0スラッシュ	●数字の0(ゼロ)にスラッシュを付加するか否かを「有効」、「無効」から選択します。 ●文字種を「WB」、「WL」、「X20」～「X24」に設定した場合有効になります。
プロポーショナルピッチ	●プロポーショナルピッチを適用するか否かを「有効」、「無効」から選択します。 ●文字種を「X1」～「X3」、「X21」～「X24」、「X80」～「X89」、CGフォントに設定した場合有効になります。

## 4 通信

通信に関連した設定を行います。  
標準インターフェイスでのRS-232Cと  
オプションインターフェイスに関する  
ものです。

- 各項目にタッチし、選択してください。
- バーコード検証時間設定はテンキーで数字を入力します。
- 選択後は「確定」にタッチします。  
環境設定メニュー画面に戻ります。

プリンタ設定			
用紙	動作	文字	通信
通信ポート	通信1: RS-232C		
通信1: RS-232C	マルチアイテム受信		
プロトコル	Ready/Busy		
ボーレート/パリティ	19200	NONE	
データ/ストップビット	8ビット	1ビット	
通信2: IEEE1284	マルチアイテム受信		
外部信号/外部信号再発行	TYPE1	無効	
バーコード検証設定	無効	0.0	

<通信画面のキー説明>

タッチキー名	はたらき
通信ポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>●通信ポートを「通信1: RS-232C」、「通信2: (接続されているオプションインターフェイス)」から選択します。</li> <li>●オプションインターフェイスを接続していない場合は選択できません。</li> </ul>
通信1:RS-232C	<ul style="list-style-type: none"> <li>●受信モードを「1アイテム受信」、「マルチアイテム受信」から選択します。</li> </ul>
プロトコル	<ul style="list-style-type: none"> <li>●通信1のプロトコルを「Ready/Busy」、「Xon/Xoff」、「ステータス3」、「ドライバ専用プロトコル」、「ステータス2」から選択します。</li> </ul>
ボーレート	<ul style="list-style-type: none"> <li>●通信1のボーレートを「9600」、「19200」、「38400」、「57600」、「115200」から選択します。</li> </ul>
パリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●通信1のパリティを「NONE」、「ODD」、「EVEN」から選択します。</li> </ul>
データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●通信1のデータビットを「7ビット」、「8ビット」から選択します。</li> </ul>
ストップビット	<ul style="list-style-type: none"> <li>●通信1のストップビットを「2ビット」、「1ビット」から選択します。</li> </ul>
通信2	<ul style="list-style-type: none"> <li>●オプションインターフェイスのIEEE1284使用時には「受信モード」、LAN使用時には「プロトコル」が設定可能です。</li> <li>●RS-232C使用時には、インターフェイスボードのDSWにて各種設定を行い、表示欄には設定された内容が表示されます。</li> <li>●USBは設定がないため表示されません。</li> </ul>
外部信号	<ul style="list-style-type: none"> <li>●外部信号を「無効」、「TYPE1」、「TYPE2」、「TYPE3」、「TYPE4」から選択します。</li> <li>●発行動作を「ハクリ」、「カット」に設定した場合にのみ有効になります。</li> </ul>
外部信号再発行	<ul style="list-style-type: none"> <li>●外部信号の再発行を「無効」、「有効」から選択します。</li> </ul>
バーコード検証設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>●バーコード検証の設定を「無効」、「有効」から選択します。</li> <li>●バーコード検証機を接続した場合有効になります。</li> </ul>
バーコード検証時間 (秒)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●発行を開始してからバーコード検証を開始する(スキャナのレーザーを出力開始する)時間を入力します。設定範囲は0.0~3.0(秒)になります。</li> </ul>

## 5 税率

税率に関連した設定を行います。

- 各項目にタッチし、選択してください。
- 選択後は **確定** にタッチします。  
環境設定メニュー画面に戻ります。

### <税率画面のキー説明>

タッチキー名	はたらき
税率	●設定範囲は00.0～99.9 (%) になります。
端数処理方法	●端数処理方法を「切り捨て」、「切り上げ」、「四捨五入」から選択します。
バーコード内価格	●バーコードにリンクする価格を税抜きにするか税込みにするかを「税抜き」、「税込み」から選択します。

## 6 他

その他の設定を行います。

- 各項目にタッチし、選択してください。
- 選択後は **確定** にタッチします。  
環境設定メニュー画面に戻ります。

### <他画面のキー説明>

タッチキー名	はたらき
NW-7スタートコード指定	NW-7のスタートコードを「a」、「b」、「c」、「d」から選択します。
NW-7ストップコード指定	NW-7のストップコードを「a」、「b」、「c」、「d」から選択します。
NW-7スタート/ ストップコード	NW-7のスタート/ストップコードの解説文字を「解説文字 小文字」、「解説文字 大文字」から選択します。
日付一時変更	日付一時変更を「許可」、「不許可」、「パスワード」から選択します。 「パスワード」を選択するとパスワード4桁の入力を行います。 パスワードの設定値は、「.」「3」「1」「0」固定となります。
日付一時変更保持期間	日付一時変更の保持期間を「電源を切るまで」、「1アイテムのみ」から選択します。

## 2. カレンダー設定

カレンダーの設定を行います。

- 各項目にタッチし、選択してください。
- $\rightarrow$ ・ $\leftarrow$  でカーソルを移動します。
- テンキーで数字を入力します。
- **和暦**の入力は文字の入力画面で行います。
- 入力、選択後は **確定** にタッチします。環境設定メニュー画面に戻ります。

カレンダー設定	
西暦日付	002年01月01日
時間	17:35:59
和暦	平成 14年

- 西暦の入力範囲は「2001～2099」です。
- 和暦年号は「01～99」です。
- **戻る** にタッチすると内容を確定せずに、環境設定メニュー画面に戻ります。

## 3. カードメンテナンス

カードに登録されているデータのコピーおよび削除を行います。

- 各項目にタッチし、選択してください。
- ▲ 選択した画面が表示されます。ここでは **マスターテーブル** を例に説明します。

### 1 マスターテーブル

- ①  $\blacktriangle$ ・ $\blacktriangledown$  でマスターテーブルの一覧を切り替えます。
- ② 削除するマスターテーブルが見つかったらそのマスターテーブルにタッチします。
- ③ **削除** にタッチします。削除確認画面が表示されます。

マスターテーブル	選択テーブル
マスターデータ	選択データ
レイアウト	単語テーブル
スケジュール	グラフィック
BMPファイル	フォームオーバーレイ
外字データ	プリンタ設定情報コピー
カードコピー	

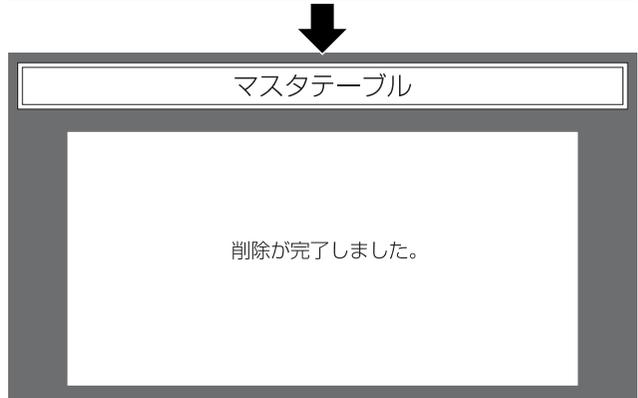
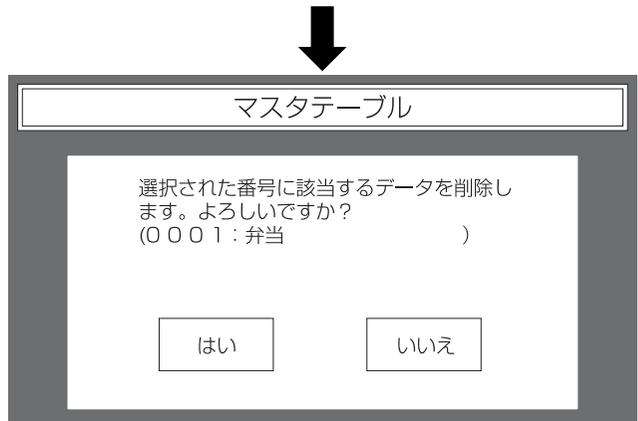


マスターテーブル	
番号検索	
No.	テーブル名
0001	サンプルマスターテーブル1
0002	サンプルマスターテーブル2
0003	サンプルマスターテーブル3
0004	サンプルマスターテーブル4

- **全て削除** にタッチすると、登録されているマスターテーブル全てが削除されます。
- **戻る** にタッチするとカードメンテナンス画面に戻ります。

- ④ **はい** にタッチします。  
該当するデータが削除されます。

**いいえ** にタッチすると削除をキャンセルし、マスタテーブル参照の画面に戻ります。



▲データの削除が完了すると右の画面が表示されます。

表示後、マスタテーブル参照画面に戻ります。

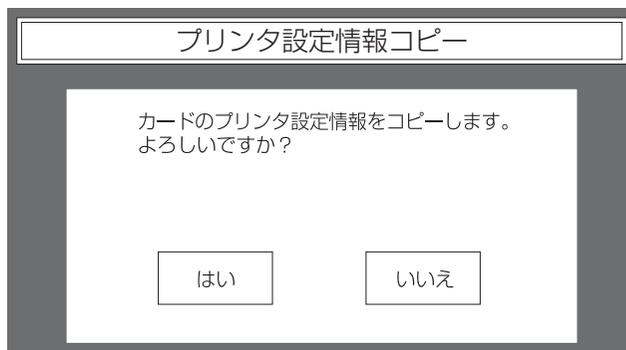
<カードメンテナンス画面のキー説明>

タッチキー名	はたらき
マスタテーブル	●マスタテーブル参照画面が表示されます。
選択テーブル	●選択テーブル参照画面が表示されます。
マスタデータ	●マスタデータ参照画面が表示されます。
選択データ	●選択データ参照画面が表示されます。
レイアウト	●レイアウトデータ参照画面が表示されます。
単語テーブル	●単語テーブル参照画面が表示されます。
スケジュール	●スケジュール参照画面が表示されます。
グラフィック	●グラフィック参照画面が表示されます。
BMPファイル	●BMPファイル参照画面が表示されます。
フォームオーバーレイ	●フォームオーバーレイ参照画面が表示されます。
外字データ	●外字データ参照画面が表示されます。
プリンタ設定情報コピー	●カードのプリンタ設定情報をコピーします。
カードコピー	●カードコピーを実行します。

## 2 プリンタ設定情報コピー

カードに登録されているプリンタ設定情報をコピーします。

- ① **はい** にタッチします。  
プリンタ設定情報をコピーします。  
**いいえ** にタッチするとプリンタ設定情報コピーをキャンセルし、カードメンテナンス画面に戻ります。



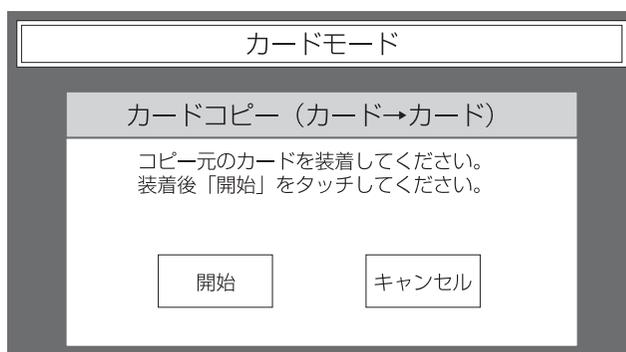
## 3 カードコピー

カードに登録されている全データを別のカードにコピーします。  
一旦プリンタ内部に格納します。

カードコピー画面  
(コピー元→プリンタ)

- ① コピー元のカードを装着します。

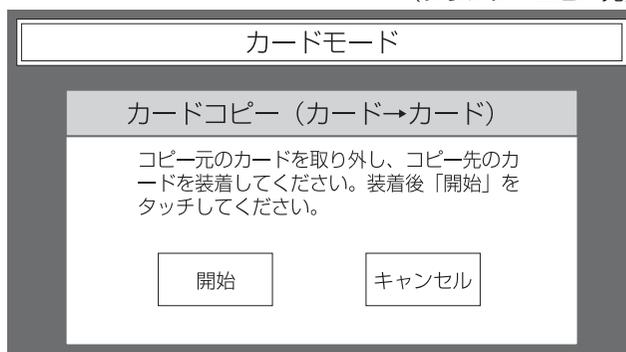
- ② **開始** にタッチします。  
コピーを開始します。



カードコピー画面  
(プリンタ→コピー先)

- ③ コピー元のカードを取り外し、  
コピー先のカードを装着します。

- ④ **開始** にタッチします。  
プリンタに一時コピーしたコピー元のカードデータをコピー先のカードにコピーを行います。



- ▲ コピー元のデータを全てコピー済みの場合、カードメンテナンス画面に戻ります。
- ▲ 全てコピーが終了していなければ次のカードコピー画面(コピー元→プリンタ)に自動で切り替わります。

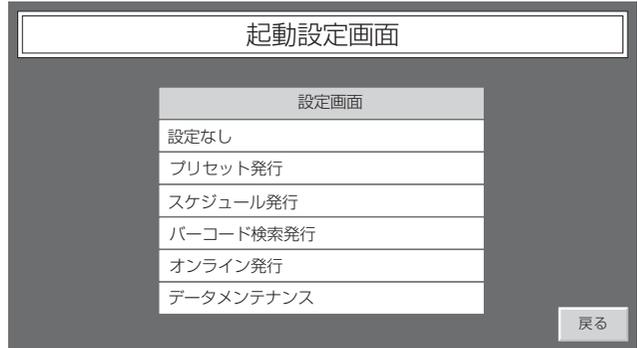
### 重要

- コピーをするカードは必ずクリアした状態にしてください。
- **キャンセル** にタッチするとカードメンテナンス画面に戻ります。

## 4. 起動画面設定

電源投入時の初期起動画面の設定を行います。

- 各項目にタッチし、選択してください。  
選択した項目が設定されます。
- ▲ 「設定なし」にタッチすると通常のメニュー画面が電源投入時に表示されます。



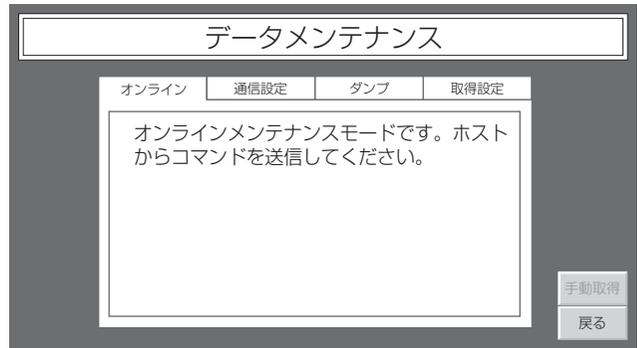
## 5. データメンテナンス

### 1 オンラインメンテナンスモード

テーブル等の登録データを送信または受信します。

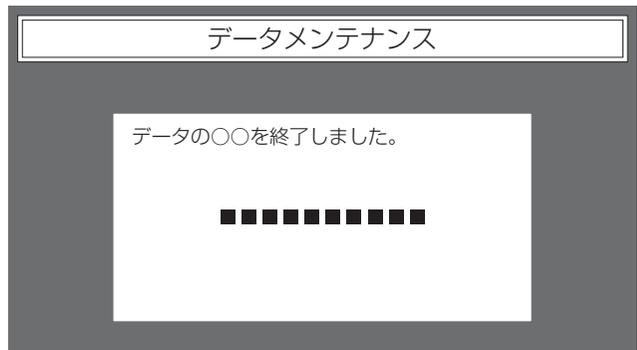
ホストからのコマンドを待機している状態です。

待機中画面



データの送信または受信が終了した状態です。

送信／受信終了画面



- ▲ 図中の「〇〇」は「送信」または「受信」と表示されます。
- ▲ 1秒後に自動的に待機中画面に戻ります。

## 2 通信設定

送信／受信する通信設定を行います。  
環境設定のプリンタ設定で設定している  
インタフェースの状態が表示  
されます。

通信設定画面

### ① 通信ポートを設定します。

通信ポートの詳細設定は環境設  
定のプリンタ設定で行います。

## 3 ダンプ

登録している各データの一覧を印字  
します。

- 各項目にタッチし、選択して  
ください。
- ▲選択した画面が表示されます。  
ここでは「マスタテーブル」を例  
に説明します。

### ① ▲・▼でマスタテーブルの一覧 を切り替えます。

- ### ② ダンプ印字するマスタテーブルが みつかったらそのマスタテーブルに タッチします。
- 選択されているマスタテーブルが  
ダンプ印字されます。

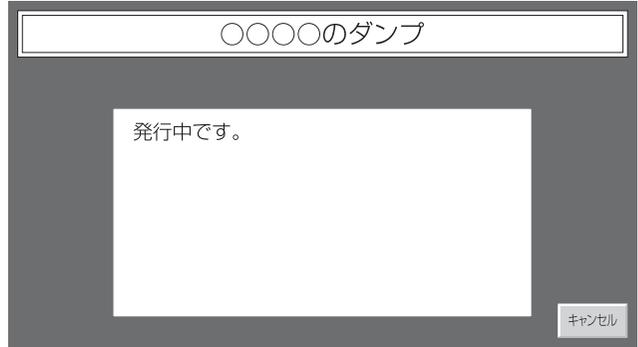


No.	テーブル名
0001	サンプルマスタテーブル1
0002	サンプルマスタテーブル2
0003	サンプルマスタテーブル3
0004	サンプルマスタテーブル4

- 「全て選択」にタッチすると、登録されているマスタテーブル全てをダンプ印字します。
- 「戻る」にタッチするとデータメンテナンス画面に戻ります。

キャンセルするときは **キャンセル** にタッチします。

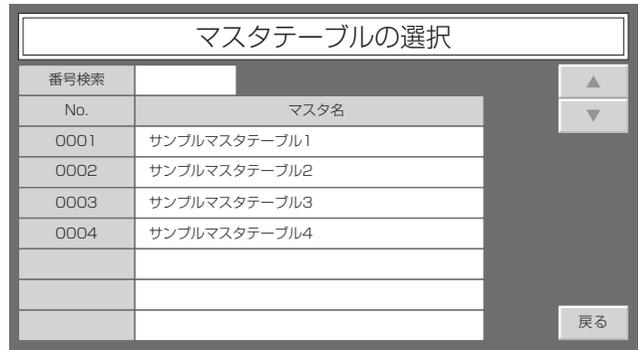
発行中の画面



### 3-1 マスタデータ (設定レイアウト)

マスタデータに登録されているレイアウトの印字を行います。最初にマスタテーブルを選択します。

- ① ▲・▼ でマスタテーブルの一覧を切り替えます。
- ② ダンプ印字するマスタテーブルが見つかったらそのマスタテーブルにタッチします。



- ① ▲・▼ でレイアウトの一覧を切り替えます。
- ② ダンプ印字するレイアウトが見つかったらそのレイアウトにタッチします。



① **発行/停止** でダンプ印字します。

**マスタデータ（設定レイアウト）**

マスタテーブル	0001 サンプルマスタテーブル1		番号あり 戻る
設定レイアウト	0001 サンプルレイアウト1		
ダンプ発行指定	レイアウトを設定しているマスタテーブルのみ ダンプ発行する		
マスタデータ 選択	全て選択		
マスタデータ No.範囲	開始No 00001	終了No 00010	

<マスタデータ（設定レイアウト）画面のキー説明>

タッチキー名	はたらき
マスタテーブル	●マスタテーブル選択画面が表示されます。
設定レイアウト	●マスタデータ（設定レイアウト）選択画面が表示されます。
ダンプ発行指定	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ダンプ発行方法を指定します。選択項目は「レイアウトを設定しているマスタデータのみダンプ発行する」「設定レイアウトで指定したレイアウト固定でダンプ発行する」です。</li> <li>●「レイアウトを設定しているマスタデータのみダンプ発行する」を選択した場合は、レイアウト選択で指定したレイアウトが設定されているマスタデータのみダンプ発行されます。</li> <li>●「設定レイアウトで指定したレイアウト固定でダンプ発行する」を選択した場合は、マスタデータにレイアウトの設定の有無に関わらず、指定したレイアウトでダンプ発行されます。</li> </ul>
マスタデータ選択	●マスタデータ選択を指定します。「全て選択」「範囲指定」を選択します。
マスタデータNo.範囲	●マスタデータNo.の範囲を指定します。マスタデータ選択が「範囲指定」を選択している場合に有効となります。開始No.と終了No.をマスタデータ一覧画面より選択します。
番号あり/なし	●プリセットNo.をラベル上に印字するか否かを選択します。

① **キャンセル** でダンプ印字をキャンセルします。

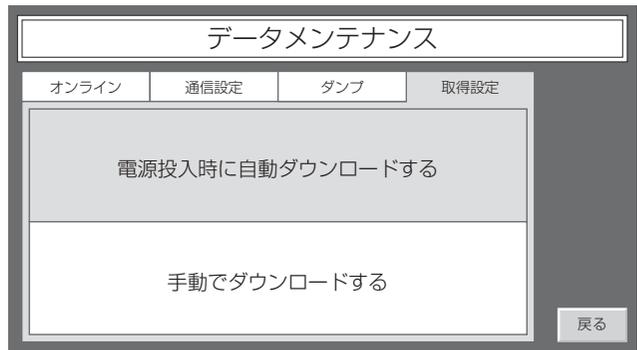
**マスタデータ（設定レイアウト）のダンプ**

発行中です。

キャンセル

## 4 取得設定

FTPクライアント機能を使用する場合のみに設定します。



### 注意

- 取得設定の説明については、「FTPクライアント機能について」を参照してください。  
→187ページ

## 6. 発行画面設定

プリセット発行画面の設定を行います。

各品名キーに登録プリセットを割り当てることができます。

1つのマスタテーブルに5画面分(最大200品名キー)割り当てることができます。

設定するマスタテーブルをタッチし選択します。

- 各品名にタッチし、選択してください。
- **番号順** にタッチすると、プリセット番号順に選択できます。
- **パターン**、**マスタ** にタッチするとキーパターンとマスタテーブルをそれぞれ選択できます。

発行画面設定

画面 1

マスタ情報 0001:マスタテーブル

日替わり弁当	幕の内弁当	えびシューマイ弁当	和風弁当
うなぎ弁当	中華弁当	ちらし弁当	生姜焼き
から揚げ弁当	カレー丼	中華丼	親子丼
オムライス	エビピラフ	スパゲティー	さば寿司

番号順  
パターン  
マスタ  
確定  
戻る

### 1 品名キー選択

- ① 設定する品名キーにタッチし、選択します。

選択したマスタデータ一覧画面が表示されます。

- ▲・▼ でマスタデータの一覧を切り替えます。
- **解除** にタッチすると、品名データを解除し、発行画面設定画面に戻ります。

品名キーに設定するマスタデータが見つかったら品名データをタッチします。

- ② **改行** にタッチします。

品名の改行位置指定画面が表示されます。

- ③ **品名** の改行位置を指定します。

→・← でカーソルを左右に移動し、**指定** にタッチします。

カーソル位置にある改行指定を解除するときは、**解除** にタッチしてください。

- ④ **確定** にタッチします。

改行位置が確定され、発行画面設定画面に戻ります。

マスタデータ

番号検索

No.	品名 (確認用)
0001	日替わり弁当
0002	幕の内弁当
0003	えびシューマイ弁当
0004	和風弁当
0005	うなぎ弁当
0006	
0007	

解除  
改行  
確定  
戻る

品名の改行位置指定

No. 0001

えび  
シューマイ  
弁当

指定  
解除  
確定  
戻る

## 2 キー パターン選択

発行画面のキーパターンを設定します。

① ▲・▼キーにタッチし、キーパターン画面を切り替えます。

② **選択** にタッチします。

画面パターンが選択されます。

- **大**には、縦4文字×横7文字、**中**には、縦2文字×横7文字、**小**には、縦2文字×横3文字の品名が表示できます。

パターン1

中	中	中	中
中	中	中	中
中	中	中	中
中	中	中	中

パターン2

大	大	大	大
中	中	中	中
小	小	小	小
小	小	小	小

パターン3

大	大	大	大
大	大	大	大
中	中	中	中

パターン4

小	小	小	小
小	小	小	小
中	中	中	中
小	小	小	小
小	小	小	小

パターン5

大	大	大	大
中	中	中	中
中	中	中	中
中	中	中	中

### 【注意】

- キーパターンを設定した場合、品名キーに割り当てたプリセットは解除されます。

## 7. パスワード設定

発行モード、登録モード、環境設定、履歴出力の各モードに切り替わる時にパスワードの設定有無と4桁の数字を設定できます。

- 各モードの設定で「有」、「無」を指定します。
- 各モードの設定を「有」にしてパスワードをタッチすると、パスワードの入力することができます。テンキーで4桁の数字を入力し、**実行**キーを押します。
- 入力後は**確定**にタッチします。環境設定メニュー画面に戻ります。

パスワード設定		
モード	設定	パスワード
発行モード	無	****
登録モード	有	****
環境設定	無	****
履歴出力	無	****

確定  
戻る

- パスワードの初期設定値は、「.」 「3」 「1」 「0」になります。
- パスワードが異なると各モードに切り替りません。
- **戻る**にタッチすると、内容を確定せずに、環境設定画面に戻ります。
- 設定したパスワードは忘れないようにメモし、大切に保管してください。設定したパスワードを忘れてしまった場合、再度設定し直してください。

## スケジュール発行について

マスタテーブル別、レイアウト別に登録したスケジュールを発行することができます。

▲発行モード画面で **スケジュール発行** にタッチすると次の画面が表示されます。

- ① 登録されているスケジュール名にタッチして、選択します。

スケジュール一覧	
番号検索	
No.	スケジュール名
0001	スケジュール1
0002	スケジュール2
0003	スケジュール3
0004	スケジュール4
0005	スケジュール5
0006	スケジュール6
0007	スケジュール7

- ② **発行/停止** キーを押します。

スケジュールに登録したラベルが一括発行されます。

- ・発行枚数の変更は画面にタッチして指定した後、テンキーで入力します。
- ・発行枚数が「0」の場合は発行しません。

スケジュール1				4月 1日
マスタ【0001:マスタテーブル1】				レイアウト【0001:レイアウト1】
No.	一覧(8件)	発行枚数	残発行枚	
0001	日替わり弁当	000003		
0002	幕の内弁当	000005		
0003	えびシューマイ弁当	000010		
0004	和風弁当	000015		
0005	うなぎ弁当	000005		日付変更
0006	カレー丼	000000		ティアオフ
0007	エビブラフ	000003		戻る
0008	スパゲティー	000004		

- ▲ スケジュール発行中の画面が表示されます。
- ▲ 発行中は残りの発行枚数を減算して表示されます。

ラベル発行中				
マスタ【0001:マスタテーブル1】				レイアウト【0001:レイアウト1】
No.	一覧(8件)	発行枚数	残発行枚	
0001	日替わり弁当	000003	000000	
0002	幕の内弁当	000005	000000	
0003	えびシューマイ弁当	000010	000008	
0004	和風弁当	000015	000015	
0005	うなぎ弁当	000005	000005	
0006	カレー丼	000000	000000	
0007	エビブラフ	000003	000003	キャンセル
0008	スパゲティー	000004	000004	戻る

- ▲、▼ でスケジュールの一覧を切り替えます。
- 日付を一時変更するときは **日付変更** にタッチします。

## 発行を中止するときは

- ① **キャンセル** にタッチします。  
発行中のデータを中止し、右の画面が表示されます。

- ② **戻る** にタッチします。  
すべてのスケジュール発行を中止し、スケジュール一覧画面に戻ります。

ラベル発行停止中			
マスタ【0001:マスタテーブル1		】 レイアウト【0001:レイアウト1	
No.	一覧(8件)	発行枚数	残発行枚数
0001	日替わり弁当	000003	000000
0002	幕の内弁当	000005	000000
0003	えびシューマイ弁当	000010	000008
0004	和風弁当	000015	000015
0005	うなぎ弁当	000005	000005
0006	カレー弁当	000000	000000
0007	エビブラフ	000003	000003
0008	スパゲティ	000004	000004

キャンセル  
戻る

## 発行を再開するときは

- ① **発行/停止** キーを押します。  
スケジュール発行を再開します。

# スケジュール登録

スケジュールの登録について説明します。  
スケジュールの追加、修正、削除を行います。

- ▲・▼ でスケジュールの一覧画面を切り替えます。
- テンキーで数字を入力し、**(実行)**キーを押すと入力したスケジュールNo.のスケジュールから表示されます。

▲登録件数は最大100件です。

番号検索	スケジュール名
No.	スケジュール名
0001	スケジュール1
0002	スケジュール2
0003	スケジュール3

## 1 スケジュールを追加する。

① **追加** にタッチします。  
自動的に設定されていない空番号が表示されます。

② 変更する場合はテンキーで数字を入力し、スケジュールNo.を指定します。

③ スケジュール名の空欄にタッチします。  
文字の入力画面が表示されます。  
スケジュール名を入力します。

④ スケジュール名を入力します。

⑤ **(実行)** キーまたは **閉じる** を押します。  
スケジュール名が確定され、右のマスタテーブル選択画面が表示されます。



追加処理画面

No.	スケジュール名
0004	



マスタ選択画面

番号検索	マスタ名
No.	マスタ名
0001	マスタテーブル1
9999	サンプルマスタテーブル



---

## 2 レイアウトを修正する。

---

① 修正するスケジュールにタッチして選択し、**修正**にタッチします。

---

② スケジュール名にタッチして名称を指定します。  
文字の入力画面が表示されます。スケジュール名を修正します。

---

③ **実行**キーまたは**閉じる**を押します。  
スケジュール名が登録され、追加処理画面に戻ります。

---

④ **詳細**にタッチします。  
スケジュール修正画面で修正します。

---

## 3 スケジュールを削除する。

---

① 削除するスケジュールにタッチして選択し、**削除**にタッチします。  
削除の画面が表示します。

---

② **はい**か**いいえ**に直接タッチします。  
**はい**にタッチすると削除してスケジュール登録画面に戻ります。

## バーコード検索発行について

プリセット発行済みのバーコードが印字されたラベルと同じラベルを発行する場合、オプションのスキヤナでバーコードを読み取ることで、プリセットNoを入力することなく発行することができます。

▲発行モード画面で **バーコード検索発行** にタッチすると次の画面が表示されます。

- ① マスタテーブル別、レイアウト別に登録したプリセットをスキヤナで読み取ります。
- ② **発行/停止** キーを押すとラベルが発行されます。

プリセット	発行枚数
内容量	
単位	
価格	

- プリセットの記憶、記憶確認、日付変更機能は使用可能です。
- テンキーから直接バーコードを入力することができます。

## オンライン発行について

オンラインでのデータ受信発行について説明します。

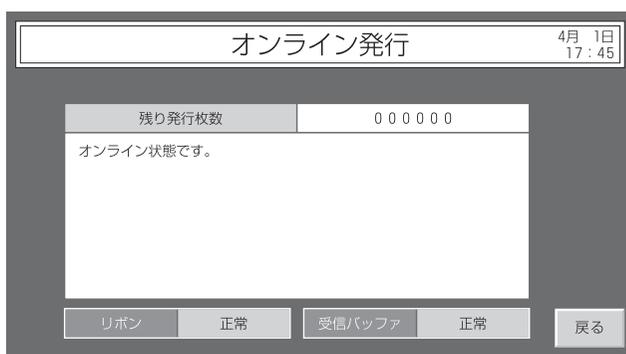
本機は、ホストコンピュータと通信インタフェースを介して発行を行います。

▲プリンタ本体の電源を切ってから、オンラインケーブルをRS-232C用コネクタに差し込みます。

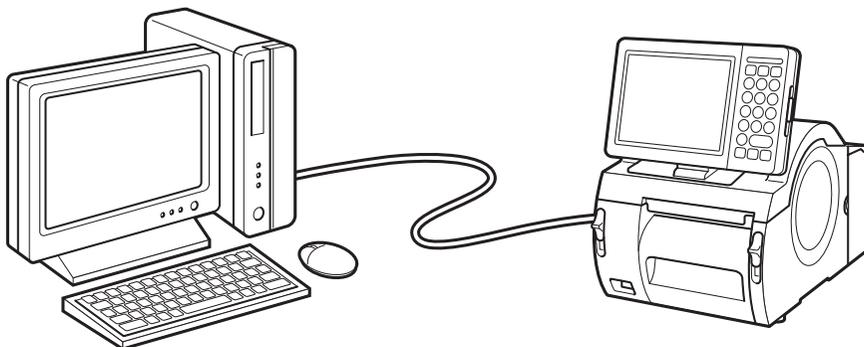
▲次に通信条件を設定してください。

▲発行モード画面で **オンライン発行** にタッチすると次の画面が表示されます。

プリンタ状態と発行枚数が表示されます。



リボン	「正常」:リボンの残り長さが十分ある場合に表示されます。 「ニアエンド」:リボンの残り長さが少なくなった場合に表示されます。 リボンがなくなった場合はリボンエンドのエラーメッセージが表示されます。
受信バッファ	「正常」:受信バッファの空き容量が十分ある場合に表示されます。 「ニアフル」:受信バッファの空き容量が少なくなった場合に表示されます。 受信バッファがフル状態になった場合は、バッファオーバーのエラーメッセージが表示されます。



## 登録したグラフィックデータを表示するときは

プリセット発行するとき、プリセットデータに登録したグラフィックをすることがあります。

発行モード画面で、グラフィックデータのフィールド名にタッチすると、グラフィックプレビュー画面が表示されます。

### 発行時入力を「不可」にしたとき

プリセット発行画面

- ① 登録されているグラフィックデータのフィールド名またはグラフィック番号にタッチします。

登録されているグラフィックのグラフィックプレビュー画面が表示されます。



幕の内弁当				4月 1日 17:45
マスタ【0001:マスタテーブル】		レイアウト【0001:レイアウトテーブル】		
プリセット	00001	発行枚数	00001	▲
内容量	1			▼
単位	個			
価格	780			
日替わり弁当	幕の内弁当	えびシュウマイ弁当	和風弁当	▲
うなぎ弁当	中華弁当	ちらし弁当	生姜焼き	▼
から揚げ弁当	カレー丼	中華丼	親子丼	
オムライス	エビピラフ	スパゲティー	さば寿司	
おにぎり梅	おにぎり鮭	おにぎりタラコ	おにぎり昆布	

マスタ  
レイアウト  
記憶確認  
日付変更  
ティアオフ  
戻る



グラフィックプレビュー画面

↑、↓、→、← でプレビュー領域が上下左右にスクロールします。

↑  
↓  
→  
←

戻る

## 発行時入力を「許可」にしたとき

- ① 登録されているグラフィックデータのフォルド名にタッチします。  
グラフィック選択画面が表示されます。

● [解除]にタッチすると、グラフィックを解除し、前画面に戻ります。

グラフィック選択画面



- ② 印字するグラフィック名にタッチし、グラフィックを選択します。  
選択したグラフィックのグラフィックプレビュー画面が表示されます。

↑、↓、→、← でプレビュー領域が上下左右にスクロールします。

グラフィックプレビュー画面



## 文字の配置を変えて印字するときは

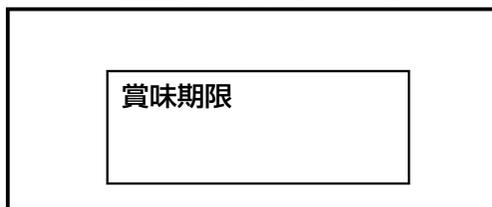
文字のフィールドパラメータ指定画面で幅×高さを「制限あり」に設定すると、入力した幅×高さの範囲内で文字の配置を変えて印字することができます。

### 横配置

#### 1 左揃え

入力した文字が指定した範囲の左側から印字されます。

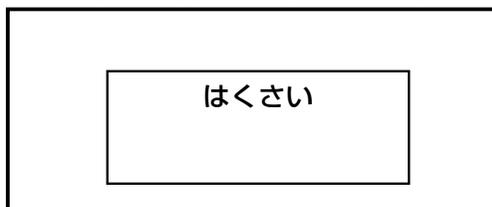
#### 〈左揃えの印字イメージ〉



#### 2 横中央揃え

入力した文字が指定した範囲の横位置の中央に印字されます。

#### 〈横中央揃えの印字イメージ〉



#### 3 右揃え

入力した最終桁の文字が指定した範囲の右側になるように印字されます。

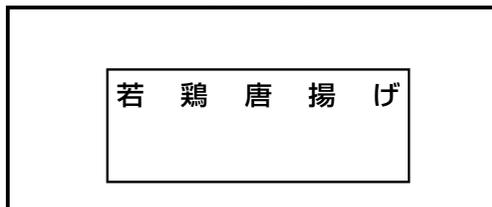
#### 〈右揃えの印字イメージ〉



#### 4 スペース均等

入力した文字が指定した範囲内に文字数分で均等に割り付けて印字されます。

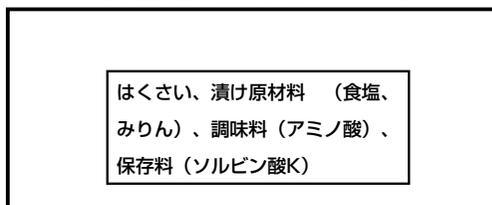
#### 〈スペース均等の印字イメージ〉



#### 5 自動改行

入力した文字が指定した範囲の幅を超えた場合改行されて印字されます。

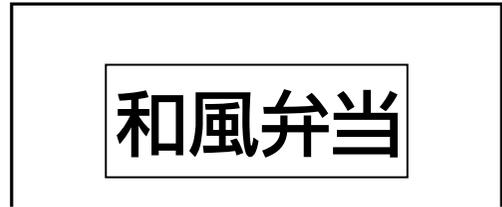
#### 〈自動改行の印字イメージ〉



## 6 文字均等

入力した文字が指定した範囲内のサイズで印字されます。

### 〈文字均等の印字イメージ〉

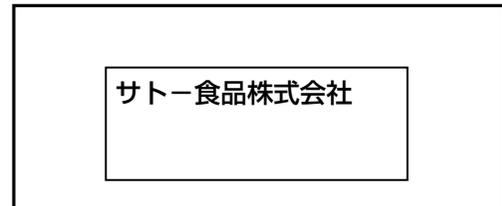


## 縦配置

### 1 上揃え

入力した文字が指定した範囲の上側から印字されます。

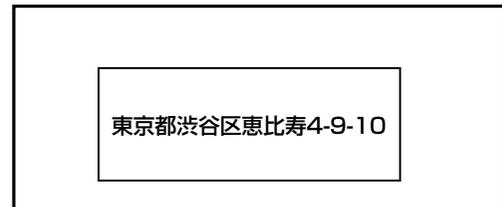
### 〈上揃えの印字イメージ〉



### 2 縦中央揃え

入力した文字が指定した範囲の縦位置の中央に印字されます。

### 〈縦中央揃えの印字イメージ〉



### 3 下揃え

入力した文字が指定した範囲の下側になるように印字されます。

### 〈下揃えの印字イメージ〉

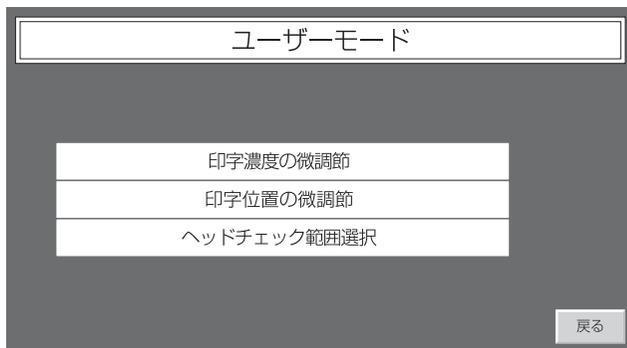


# プリンタの設定（ユーザーモード）

発行モードで、印字濃度・印字位置の微調整やヘッドチェック範囲の選択ができます。

▲各発行モードにおいて (F1) 、 ( ) の順にキーを押すとユーザーモードに切り替わります。

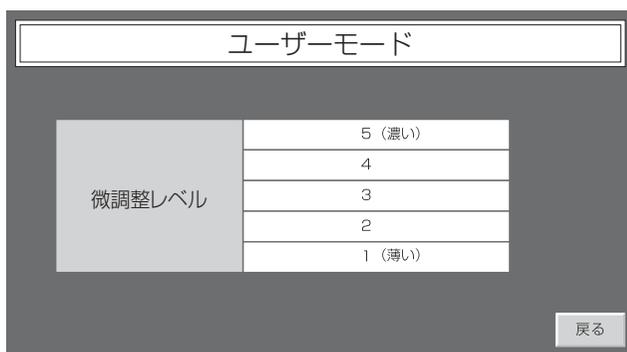
選択する項目にタッチします。



## ① 印字濃度の微調整

印字濃度の微調整を行います。  
微調整は5段階で設定が可能です。

- ① [1] ~ [5] にタッチし、印字濃度の微調整レベルを指定します。  
タッチするとユーザーモード画面に戻ります。



## ② 印字位置の微調整

縦横位置の微調整を行います。  
微調整は±3.00mm で設定が可能です。

- ① [▲]・[▼] または [▲]・[▼] にタッチして、指定します。
- ② [戻る] にタッチすると、ユーザーモード画面に戻ります。



- [▲]、[▼]：位置補正値をドット単位（±0.083mm）で指定します。
- [▲]、[▼]：位置補正値を±1mmで指定します。

### ③ヘッドチェックの範囲選択

ヘッドチェック範囲の選択とヘッドチェックの枚数指定を行います。

- 各項目にタッチし、選択してください。
- 選択後は「戻る」にタッチします。ユーザーモード画面に戻ります。

ユーザーモード	
ヘッドチェック範囲	印字領域
	バーコード
枚数指定	全枚数
	0001枚毎

戻る

- 「印字領域」にタッチすると、ヘッドチェック範囲を印字領域にします。
- 「バーコード」にタッチすると、ヘッドチェック範囲をバーコード印字領域にします。
- 「全枚数」にタッチすると、ヘッドチェック枚数指定を全枚数にします。
- 「XXXX枚毎」にタッチすると、ヘッドチェック枚数指定が有効になります。

#### ●ヘッドチェック枚数指定について

枚数指定を行うと指定枚数毎にヘッドチェックを行います。

「XXXX枚毎」にタッチすると、ヘッドチェック枚数指定設定画面が表示されます。

ユーザーモード	
ヘッドチェック範囲	印字領域
	バーコード
枚数指定	全枚数
	0001枚毎

戻る

ヘッドチェックの枚数指定を行います。入力はテンキーを使用します。

数字4桁を入力し、「実行」キーを押すことにより入力値を決定します。

ユーザーモード	
指定された枚数毎にヘッドチェックを行います。枚数を入力し、実行キーを押してください。	
【0001】枚毎	
尚、1枚目と最終の1枚についてはヘッドチェックを行います。	

戻る

## ※ ヘッドチェック機能について

ヘッドチェック機能（ディップスイッチ3「ON」）は、ヘッド断線の目安で、バーコード読取りを保証する機能ではありません。定期的に読取りチェックをお願いします。（印字の白抜けとヘッドチェック機能が動く時期とは多少ずれが生ずることがあります。また、ヘッドに付着したゴミ等による印字の白抜けはチェックされません。）

### 〈ヘッドエラー発生時の対処方法〉

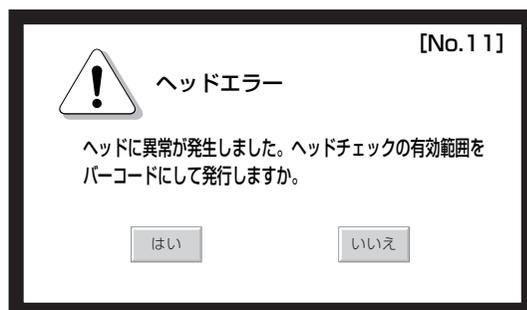
#### ①ヘッドチェック範囲が印字領域の場合

ヘッドエラーのメッセージ画面が表示されます。

[はい]にタッチすると、ヘッドチェック範囲をバーコードに選択します。

[いいえ]にタッチすると、発行を中止します。

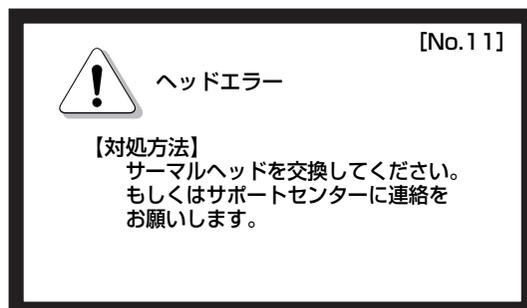
「サーマルヘッド交換をしてください。もしくはサポートセンターに連絡をお願いします。」のメッセージが表示されます。



#### ②ヘッドチェック範囲がバーコードの場合

ヘッドエラーのメッセージ画面が表示されます。

ヘッドエラーを解除して発行を継続する場合は「F1」、「0」の順にテンキーを押します。



## 注 意

- ヘッドエラー発生後に発行したラベルについては、印字状態とバーコードの読み取り確認を行ってください。

# 単語テーブル登録

本機は、頻繁に使用する単語を予め登録しておく機能があります。

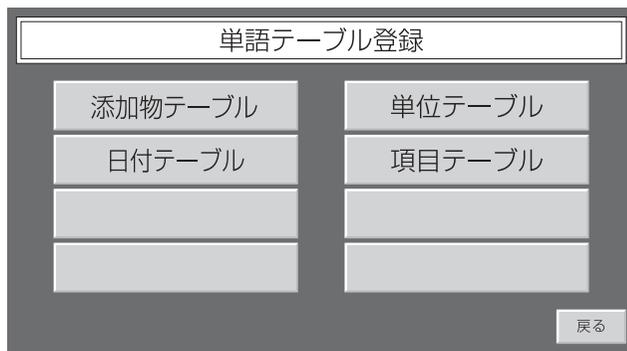
「**添加物テーブル**」、「**単位テーブル**」、「**日付テーブル**」、「**項目テーブル**」は登録してあります。

テーブル名が設定されていない「**テーブル**」は新しく作成することができます。

登録モード選択画面で「**単語テーブル**」にタッチします。

単語テーブル画面 1

登録する項目にタッチします。  
テーブル登録画面に切り替わります。



▲テーブル名称が設定されていない場合は、文字の入力画面に切り替わります。



単語テーブル画面 2

登録済みのテーブルデータが表示されます。修正・削除する場合はテーブルデータを選択してください。



- ▲・▼ でテーブルデータの一覧を切り替えます。
- テンキーで数字を入力し、(実行)キーを押し、入力したテーブルNo.のテーブルデータが表示されます

## <単語テーブル画面2のキー説明>

タッチキー	はたらき
名称変更	<ul style="list-style-type: none"> <li>● テーブル名を変更します。</li> <li>● 添加物テーブル、単位テーブル、日付テーブル、項目テーブルは変更できません。</li> <li>● タッチすると文字の入力画面に切り替わります。</li> </ul>
追加	<ul style="list-style-type: none"> <li>● テーブルデータの追加を行います。</li> </ul>
修正	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 選択したテーブルデータ、省略名の修正を行います。</li> </ul>
削除	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 選択したテーブルデータ、省略名の削除を行います。</li> </ul>
番号検索	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 入力したテーブルNo.のテーブルデータから表示します。</li> <li>● テンキーより検索するテーブルNo.を入力後、(実行)キーを押します。</li> </ul>
省略名検索	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 入力した省略名のテーブルデータを表示します。</li> <li>● タッチすると文字の入力画面に切り替わります。検索する省略名を入力します。</li> </ul>



## 1 テーブルデータを追加する

画面 3

- ① **追加**にタッチします。
- ② テンキーで数字を入力し、テーブルNo.を指定します。
- ③ **確定**にタッチします。  
文字の入力画面が表示されます。  
テーブルデータを入力します。
- ④ **(実行)** キーまたは**閉じる**を押します。  
テーブルデータが登録され、単語  
テーブル画面2に戻ります。

No.	1000
-----	------

### 注 意

- テーブル番号は1～9999で指定してください。
- あらかじめ添加物テーブルは1～572、単位テーブルは1～8、項目テーブルは1～43まで登録されています。詳細は単語テーブルデータ一覧表を参照してください。→217ページ

## 2 テーブルデータを修正する

- ① 単語テーブル画面2で登録されているテーブルデータにタッチして選択し、**修正**にタッチします。  
文字の入力画面が表示されます。テーブルデータを表示します。
- ② **(実行)** キーまたは**閉じる**を押します。  
テーブルデータが登録され、単語テーブル画面2に戻ります。

## 3 テーブルデータを削除する

- ① 単語テーブルデータ画面2で登録されているテーブルデータにタッチして選択し、**削除**にタッチします。  
削除確認画面が表示されます。
- ② **はい**または**いいえ**にタッチします。  
**はい**にタッチすると、削除して単語テーブル画面2に戻ります。

## 登録した単語テーブルデータを番号検索するときは

単語テーブルデータを選択するとき、Noを入力して、入力したテーブルNoのテーブルデータを一覧表示することができます。

ここでは添加物テーブルの「No：411 フラボノイド」を例に説明します。

文字の入力画面

- ① 文字の入力画面で「テーブル」にタッチします。  
単語テーブル選択画面が表示されます。



文字の入力

小	かな	カナ	英	記号	特殊	JIS	ローマ	半角	▲	▼	←	↑	↓	→
、	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ	後退	全クリア		
、	を	り	(	み	ひ	に	ち	し	き	い	下線	クリア		
・	ん	る	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う	変換	確定		
ー	°	れ	)	め	へ	ね	て	せ	け	え	テーブル	閉じる		
	。	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ	お				



単語テーブル選択画面

- ② 添加物テーブルにタッチします。  
添加物テーブルデータ一覧画面が表示されます。

単語テーブル選択

添加物テーブル	単位テーブル
日付テーブル	項目テーブル

戻る



添加物テーブルデータ画面

- ③ テンキーでフラボノイドのテーブルNoを入力し、実行キーを押します。  
「No：411 フラボノイド」からの添加物テーブルデータ一覧に切り替わります。

添加物テーブル

番号検索	テーブル名	省略名検索	省略名
No.	テーブル名		省略名
0001	亜鉛塩類		あえ
0002	亜鉛素酸ナトリウム		あえ
0003	アジピン酸		アジ
0004	亜硝酸Na		あし
0005	アスコロビン酸		アス
0006	アスパラギン酸Na		アス
0007	アスパラテーム		アス

戻る

- ④ 「フラボノイド」にタッチします。  
文字の入力画面に戻ります。



添加物テーブルデータ画面

添加物テーブル		
番号検索	411	省略名検索
No.	テーブル名	省略名
0411	フラボノイド	フラ
0412	フルフラール及びその誘導体	フル
0413	プロタミン	プロ
0414	プロピオン酸	プロ
0415	プロピオン酸イソアミル	プロ
0416	プロピオン酸エチル	プロ
0417	プロピオン酸Ca	プロ



- ⑤ 選択した添加物テーブルデータの  
「フラボノイド」が表示されます。

文字の入力画面

文字の入力												
フラボノイド											↑	
											← ↓ →	
小	かな	カナ	英	記号	特殊	JIS	ローマ	半角	▲	▼		
、	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ	後退	全クリア
・	を	り	（	み	ひ	に	ち	し	き	い	下線	クリア
ー	ん	る	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	ず	く	う	変換	確定
	。ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ	お	テーブル	閉じる	

## 登録した単語テーブルデータを省略名検索するときは

単語テーブルデータを選択するとき、省略名を入力して、入力した省略名のテーブルデータを一覧表示することができます。

ここでは添加物テーブルの「鉄葉緑素 省略名：てつ」を例に説明します。

文字の入力画面

- ① 文字の入力画面で「テーブル」にタッチします。  
単語テーブル選択画面が表示されます。



単語テーブル選択画面

- ② 添加物テーブルにタッチします。  
添加物テーブルデータ一覧画面が表示されます。



添加物テーブルデータ画面

- ③ 省略名検索の横の入力項目にタッチします。  
文字の入力画面が表示されます。

番号検索	テーブル名	省略名検索	省略名
No.	テーブル名		省略名
0001	亜鉛塩類		あえ
0002	亜鉛素酸ナトリウム		あえ
0003	アジピン酸		アジ
0004	亜硝酸Na		あし
0005	アスコロビン酸		アス
0006	アスパラギン酸Na		アス
0007	アスパラテーム		アス

- ④ 「てつ」を入力し、**確定**にタッチし、文字を確定します。

文字の入力画面

- ⑤ **実行**キーまたは**閉じる**を押します。

「省略名：てつ」で登録されている添加物テーブルデータ一覧画面が表示されます。

添加物テーブルデータ画面

番号検索	省略名検索	省略名
No.	テーブル名	省略名
0341	鉄葉緑素	てつ

- ⑥ **鉄葉緑素**にタッチします。  
文字の入力画面に戻ります。

文字の入力画面

- ⑦ 選択した添加物テーブルデータの「鉄葉緑素」が表示されます。

- 省略名検索では、ひらがなとカタカナは区別して検索します。

## FTPクライアント機能について

プリンタよりホストへアクセスし、商品マスタファイルをダウンロードすることができます。

※FTPクライアント機能を使用する場合、プリンタ本体の設定（ディップスイッチ1「ON」）とミニLANインタフェースボードの設定が必要になります。

設定方法等、ご不明な点がございましたら、購入された販売店、ディーラー、または、サポートセンターにお問い合わせください。

### ミニLANインタフェースボードの設定

環境設定画面で、**データメンテナンス**→**通信設定**タブにタッチすると次の画面が表示されます。

※通信ポート（環境設定画面→**プリンタ設定**→**通信**タブ）をLANに設定してください。

**プリンタの設定を使用する**にタッチすると、ミニLANインタフェースボード設定選択画面が表示されます。



#### 【補足説明】

- 「LANボードの設定を使用する」について

通信ポート（インタフェースボード）を切り替えることができます。FTPクライアント機能を使用する時は、通信ポートをLANに設定します。その際、前回設定したミニLANインタフェースボードの通信設定で通信を行います。通信設定項目の詳細は『1.「プリンタの設定を使用する」を選択』を参照してください。→188ページ

通信ポートのインタフェースボード名をタッチすると、通信ポートが切り替ります。

通信ポート設定画面



# 1 「プリンタの設定を使用する」を選択

## 1-1 プリンタの設定を使用する

ミニLANインタフェースボードの各項目を設定します。設定値欄をタッチすると、各項目の設定画面が表示されます。

● ▲・▼で設定項目を切り替えます。

ミニLANインタフェースボード設定画面

データメンテナンス			
オンライン	通信設定	ダンプ	取得設定
通信ポート	LAN		
IPアドレス	1. 1. 1. 1		
サブネットマスク	1. 1. 1. 1		
ゲートウェイアドレス	1. 1. 1. 1		
FTPクライアント	有効		
ユーザ名	sato		
パスワード	sato		
FTPサーバURL	sato@com.ini		

戻る



データメンテナンス			
オンライン	通信設定	ダンプ	取得設定
FTPポート番号	21		
PASVモード	無効		
再接続間隔	10		
ジョブタイムアウト	90		
ダウンロード先	/TASSHA/DATA/		
アップロード先	/DATA/		
Firewall指定	無効		
Firewall接続タイプ	USER FTPユーザ名@FTPサー		

戻る



データメンテナンス			
オンライン	通信設定	ダンプ	取得設定
Firewallサーバ名			
Firewallポート番号	8021		
Firewall認証	無効		
Firewallユーザ名			
Firewallパスワード			
DNSプライマリアドレス	1. 1. 1. 1		
DNSセカンダリアドレス	1. 1. 1. 1		

戻る

### 1-1-1 IPアドレス設定

ミニLANインタフェースボードのIPアドレスをテンキーで入力します。

IPアドレス入力画面

The screenshot shows a web interface titled "データメンテナンス" (Data Maintenance). It has four tabs: "オンライン" (Online), "通信設定" (Communication Settings), "ダンプ" (Dump), and "取得設定" (Acquisition Settings). The "通信設定" tab is selected. The main area is split into two columns: "IPアドレス" (IP Address) on the left and a text input field on the right containing "【 1. 1. 1. 1 】". On the right side of the interface, there are up and down arrow buttons and a "戻る" (Back) button at the bottom right.

### 1-1-2 サブネットマスク設定

サブネットマスクをテンキーで入力します。

サブネットマスク入力画面

The screenshot shows a web interface titled "データメンテナンス" (Data Maintenance). It has four tabs: "オンライン" (Online), "通信設定" (Communication Settings), "ダンプ" (Dump), and "取得設定" (Acquisition Settings). The "通信設定" tab is selected. The main area is split into two columns: "サブネットマスク" (Subnet Mask) on the left and a text input field on the right containing "【 1. 1. 1. 1 】". On the right side of the interface, there are up and down arrow buttons and a "戻る" (Back) button at the bottom right.

### 1-1-3 ゲートウェイアドレス設定

ゲートウェイアドレスをテンキーで入力します。

ゲートウェイアドレス入力画面

The screenshot shows a web interface titled "データメンテナンス" (Data Maintenance). It has four tabs: "オンライン" (Online), "通信設定" (Communication Settings), "ダンプ" (Dump), and "取得設定" (Acquisition Settings). The "通信設定" tab is selected. The main area is split into two columns: "ゲートウェイアドレス" (Gateway Address) on the left and a text input field on the right containing "【 1. 1. 1. 1 】". On the right side of the interface, there are up and down arrow buttons and a "戻る" (Back) button at the bottom right.

### 1-1-4 FTPクライアント設定

ミニLANインタフェースボードのFTPクライアント機能を有効にするか無効にするかを設定します。

FTPクライアント設定選択画面

#### 注意

- FTPクライアント設定は、「有効」を設定してください。

### 1-1-5 ユーザ名設定

FTPサーバにログインする際のユーザ名を入力します。

英数文字記号で、最大31桁入力可能です。

文字入力画面

### 1-1-6 パスワード設定

FTPサーバにログインする際のパスワードを入力します。

英数文字記号で、最大31桁入力可能です。

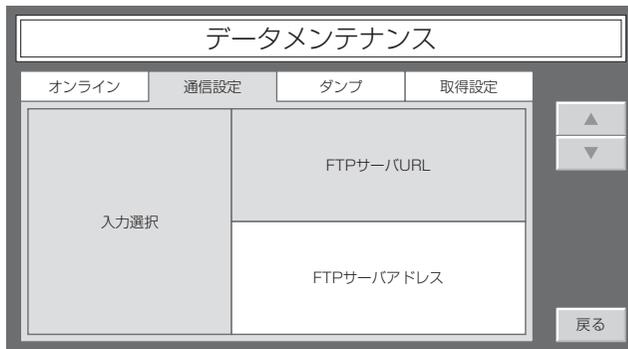
文字入力画面

## 1-1-7 FTPサーバURL／FTPサーバアドレス設定

FTPサーバの接続先をURL指定にするか、IPアドレス指定にするかを選択します。

- ・FTPサーバURL  
FTPサーバ接続先をURLで指定します。**[FTPサーバURL]**にタッチすると、文字入力画面が表示されます。
- ・FTPサーバアドレス  
FTPサーバ接続先をIPアドレスで指定します。**[FTPサーバアドレス]**にタッチすると、IPアドレス入力画面が表示されます。

FTPサーバURL／FTPサーバアドレス選択画面



### 1-1-7-1 FTPサーバURL設定

FTPサーバのURLを設定します。英数文字記号で、最大31桁入力可能です。

文字入力画面



#### 注意

- URLを設定する際に、「ftp://」（プロトコル名）は入力する必要はありません。

### 1-1-7-2 FTPサーバIPアドレス設定

FTPサーバのIPアドレスを設定します。

FTPサーバアドレスをテンキーで入力します。

FTPサーバIPアドレス入力画面



### 1-1-8 FTPポート番号設定

FTPポート番号を設定します。

FTPポート番号をテンキーで入力します。  
入力範囲は1～65535となります。

FTPポート番号入力画面

### 1-1-9 PASVモード設定

PASVモードの無効、有効を設定します。

PASVモード設定選択画面

### 1-1-10 再接続間隔設定

FTPサーバが無応答時の再接続（リトライ）間隔（秒）を設定します。  
再接続間隔をテンキーで入力します。  
再接続間隔をテンキーで入力します。

再接続間隔入力画面

### 1-1-11 ジョブタイムアウト設定

FTPサーバから応答待ち時間を設定します。

ジョブタイムアウトをテンキーで入力します。  
入力範囲は30～600（秒）となります。

ジョブタイムアウト入力画面

The screenshot shows a web interface titled 'データメンテナンス' (Data Maintenance). It has four tabs: 'オンライン' (Online), '通信設定' (Communication Settings), 'ダンプ' (Dump), and '取得設定' (Acquisition Settings). The '通信設定' tab is selected. The main area is divided into two sections: 'ジョブタイムアウト' (Job Timeout) on the left and a large input field on the right containing the value '【 90】'. On the right side of the interface, there are up and down arrow buttons and a '戻る' (Back) button at the bottom right.

### 1-1-12 ダウンロード先設定

FTPサーバ上からダウンロードするファイルの格納先ディレクトリを設定します。

英数文字記号で、最大48桁入力可能です。

文字入力画面

The screenshot shows a '文字の入力' (Text Input) screen. At the top, there is a text input field containing the path '/tassha/data/'. Below this is a numeric keypad with columns for '小' (Small), 'かな' (Kana), 'カナ' (Kana), '英' (English), '記号' (Symbols), '特殊' (Special), 'JIS', 'ローマ' (Roman), and '半角' (Half-width). The keypad also includes arrow keys and a numeric row (0-9). To the right of the keypad are function buttons: '後退' (Back), '全クリア' (All Clear), '下線' (Underline), 'クリア' (Clear), '変換' (Convert), '確定' (Confirm), 'テーブル' (Table), and '閉じる' (Close).

### 1-1-13 アップロード先設定

ダウンロードしたデータの格納先ディレクトリを設定します。

英数文字記号で、最大48桁入力可能です。

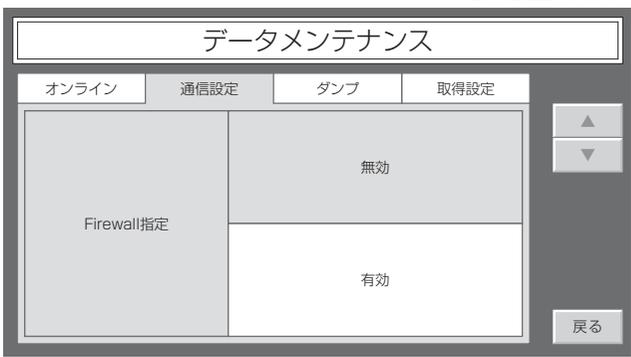
文字入力画面

The screenshot shows a '文字の入力' (Text Input) screen. At the top, there is a text input field containing the path '/data/'. Below this is a numeric keypad with columns for '小' (Small), 'かな' (Kana), 'カナ' (Kana), '英' (English), '記号' (Symbols), '特殊' (Special), 'JIS', 'ローマ' (Roman), and '半角' (Half-width). The keypad also includes arrow keys and a numeric row (0-9). To the right of the keypad are function buttons: '後退' (Back), '全クリア' (All Clear), '下線' (Underline), 'クリア' (Clear), '変換' (Convert), '確定' (Confirm), 'テーブル' (Table), and '閉じる' (Close).

### 1-1-14 Firewall指定

Firewallの有効、無効を設定します。

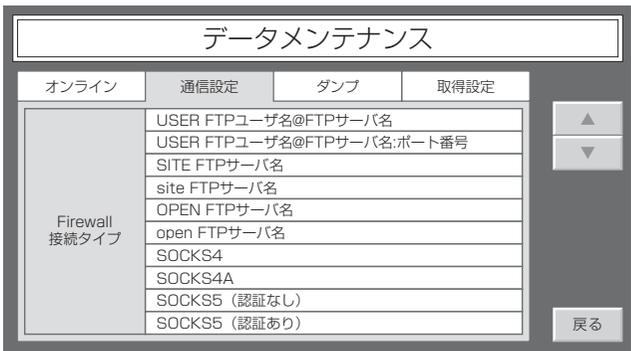
Firewall指定選択画面



### 1-1-15 Firewall接続タイプ設定

Firewall接続タイプを設定します。

Firewall接続タイプ選択画面



### 1-1-16 Firewall サーバ名設定

Firewallサーバ名を設定します。

英数文字記号で、最大31桁入力可能です。

文字入力画面



### 1-1-17 Firewallポート番号設定

Firewallポート番号を設定します。

Firewallポート番号をテンキーで入力します。  
入力範囲は1～65535となります。

Firewallポート番号入力画面

### 1-1-18 Firewall認証設定

Firewall認証の有効、無効を設定します。

Firewall認証選択画面

### 1-1-19 Firewallユーザ名設定

Firewallのユーザ名を設定します。

英数文字記号で、最大31桁入力可能です。

文字入力画面

### 1-1-20 Firewallパスワード設定

Firewallパスワードを設定します。

英数文字記号で、最大31桁入力可能です。

文字入力画面

### 1-1-21 DNSプライマリアドレス設定

DNSプライマリアドレスのIPアドレスを設定します。

DNSプライマリアドレスをテンキーで入力します。

DNSプライマリアドレス入力画面

### 1-1-22 DNSセカンダリアドレス設定

DNSセカンダリアドレスのIPアドレスを設定します。

DNSセカンダリアドレスをテンキーで入力します。

DNSセカンダリアドレス入力画面

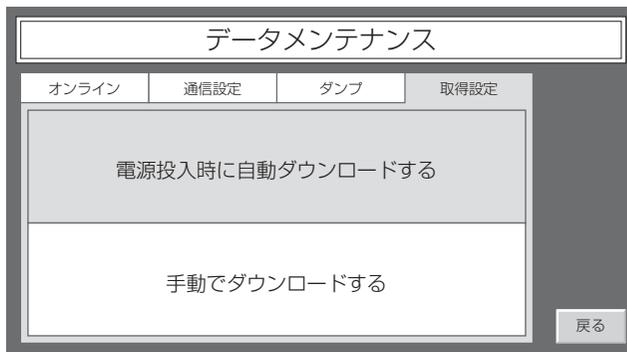
## ダウンロード方法設定について

FTPサーバよりダウンロードするモードは、「電源投入時に自動ダウンロードする」、「手動でダウンロードする」の2通りとなります。

環境設定画面で、**データメンテナンス**→**取得設定**タブにタッチすると次の画面が表示されます。

**取得設定** タブにタッチすると、ダウンロード方法設定画面が表示されます。

- ・ **電源投入時に自動ダウンロードする**  
プリンタ起動時に、自動でダウンロードを行います。
- ・ **手動でダウンロードする**  
「オンライン」タブにて、手動でダウンロードを行います。



### 1 「電源投入時に自動ダウンロードする」を選択

プリンタの電源を入れるとFTPサーバ接続画面が表示され、FTPサーバとの接続を開始します。

FTPサーバ接続画面



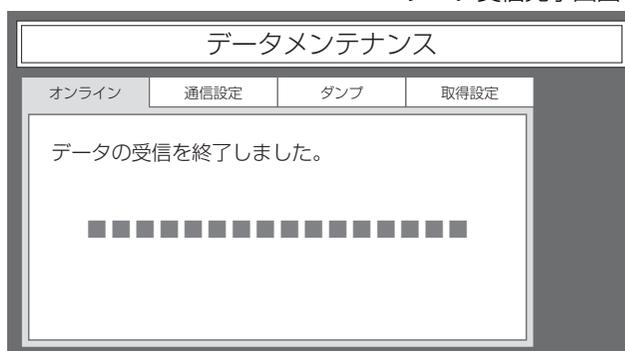
データ受信画面

FTPサーバとの接続が確立すると、データ受信画面が表示され、マスターデータ受信を開始します。



データ受信完了画面

マスターデータ受信が完了すると、データ受信完了画面が表示されます。既存データの削除を開始します。



データ削除画面

データ受信が完了すると、既存データ削除画面が表示され、既存データの削除を開始します。



**【補足説明】**

- マスタテーブル、マスタデータ、選択テーブル、選択データ、ビットマップファイル、各設定データ、各リストデータを削除します。

## 受信データ保存画面

既存データの削除が完了すると、受信データ保存画面が表示され、受信データの保存を開始します。



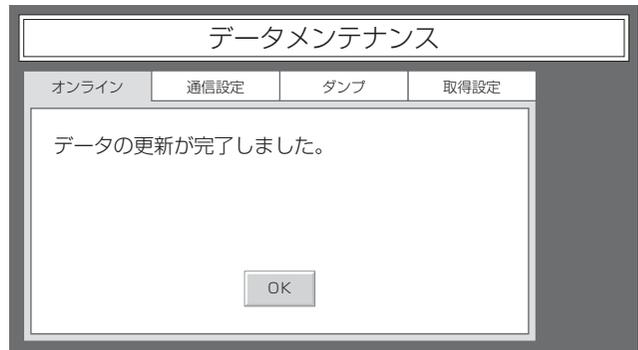
## 第4章

### プリンタを使いこなす

受信データの保存が完了すると、データ更新終了画面が表示されます。

[OK]にタッチすると、メインメニューに戻ります。

## データ更新終了画面

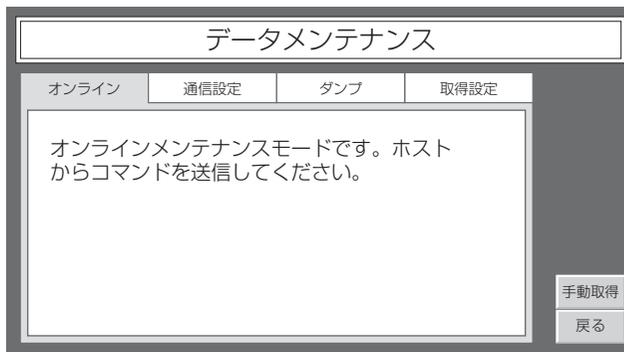


## 2 「手動でダウンロードする」を選択

環境設定画面で、**データメンテナンス**→**オンライン**タブにタッチすると次の画面が表示されます。

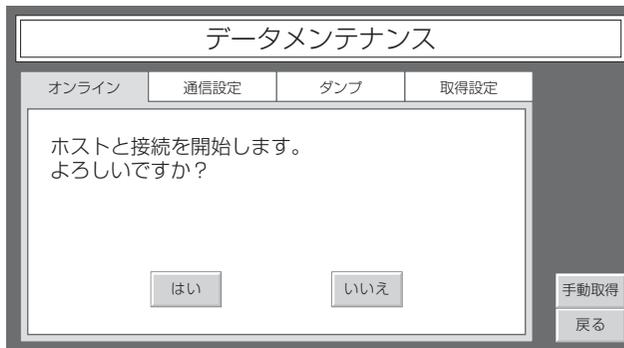
オンライン画面

**手動取得**にタッチすると、FTPサーバ接続開始確認画面が表示されます。



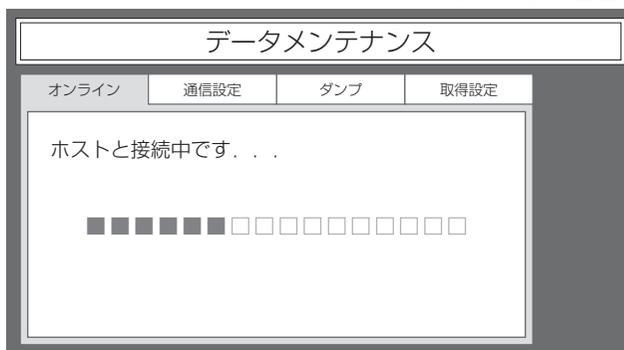
FTPサーバ接続開始確認画面

**はい**にタッチすると、ダウンロードを開始します。



FTPサーバ接続画面

ホスト接続画面が表示され、FTPサーバとの接続を開始します。



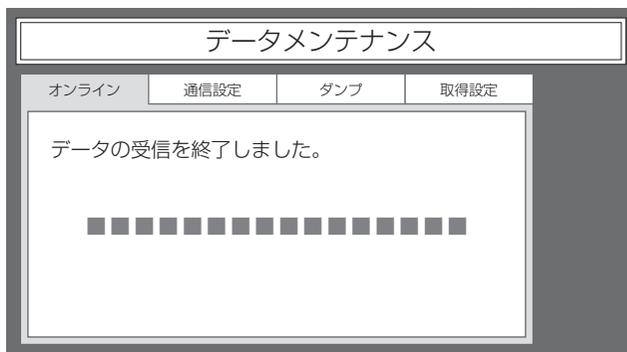
FTPサーバとの接続が確立すると、データ受信画面が表示され、マスターデータ受信を開始します。

データ受信画面



マスターデータ受信が完了すると、データ受信完了画面が表示されます。既存データの削除を開始します。

データ受信完了画面



データ受信が完了すると、既存データ削除画面が表示され、既存データの削除を開始します。

データ削除画面

**【補足説明】**

- マスタテーブル、マスタデータ、選択テーブル、選択データ、ビットマップファイル、各設定データ、各リストデータを削除します。

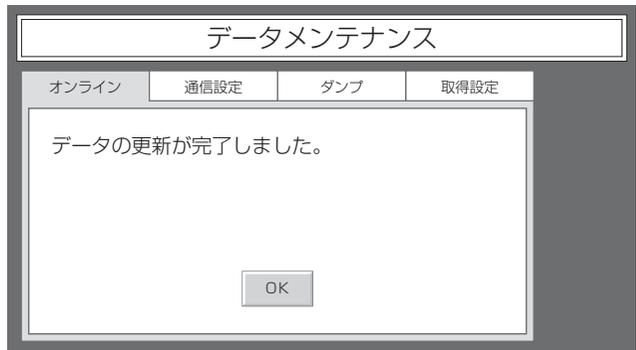
既存データの削除が完了すると、受信データ保存画面が表示され、受信データの保存を開始します。

受信データ保存画面



受信データの保存が完了すると、データ更新終了画面が表示されます。  
[OK] にタッチすると、メインメニューに戻ります。

データ更新終了画面



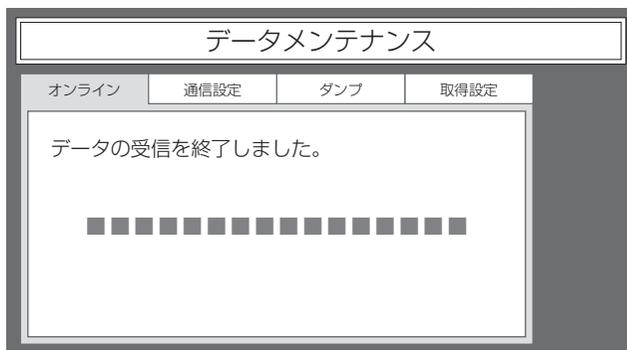
### ● FTPサーバ上の更新日時データが一致するケース

FTPサーバ上の更新日時設定ファイルの設定日時がTASSHA上で保持している更新日時と一致する日時が設定されていた場合、データの更新を行いません。

FTPサーバ接続画面

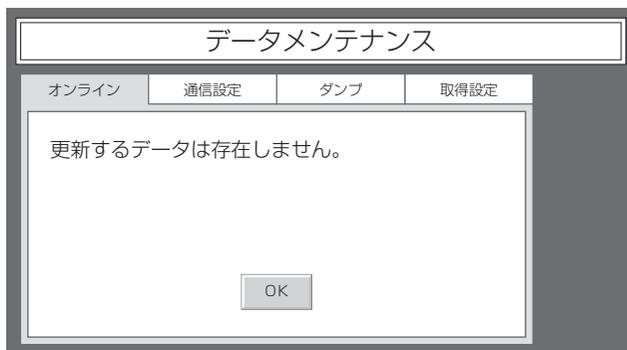


データ受信完了画面



更新日時を比較し、FTPサーバ上の更新日時が一致する場合、データの更新を行わず終了します。

[OK] にタッチすると、メインメニューに戻ります。



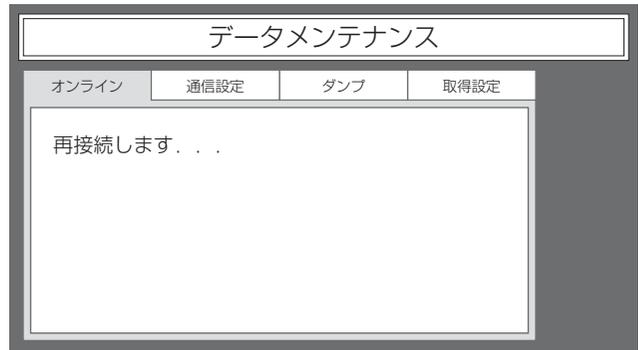
● LANアダプタ設定無効による再接続について

LANアダプタの設定無効、LAN接続時の異常を検知した場合、再接続を行います。  
 再接続回数は30回（初回含まず）となります。



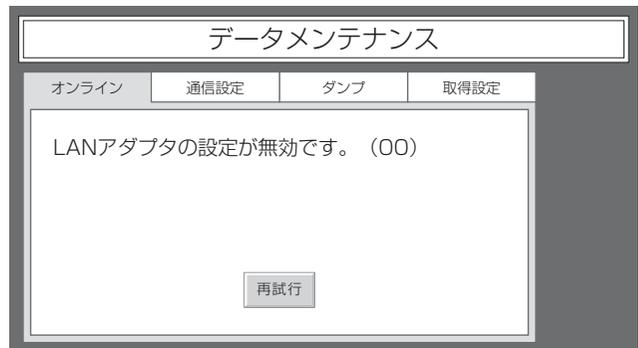
再接続を行います。

LANアダプタの設定異常を検知した場合、再接続を行います。  
 LAN接続が復旧した場合、通常手順（データ受信）を行います。



30回再接続後、エラーが表示されます。

[再試行] にタッチすると、ホスト接続を開始します。

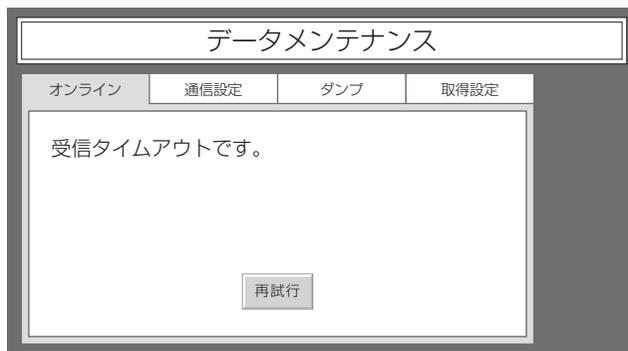


**● ダウンロード強制終了手順**

ホスト接続中、ダウンロード中、または、エラー発生時にエラー画面から終了する場合 **取消** キーを3回押すと、強制終了となります。

**● ホストから無応答タイムアウト**

TASSHAよりホスト側への要求に対し、ホスト側から一定時間応答がない場合、エラーを表示します。タイム値はミニLANインタフェースボード設定時の「ジョブタイムアウト」とします。



## ● エラーコード

エラーコード	内 容
01	FTPサーバが存在しない
02	FTPサーバへのログイン失敗（ユーザ権限なし）
03	FTPサーバへのログイン失敗（パスワードエラー）
04	FTPサーバへのログイン失敗（その他異常）
05	FTPサーバからのログアウト失敗
10	コマンド処理エラー
20	マスタデータが存在しない
90	ダウンロード中にエラーが発生
00	LANアダプタの設定が無効状態

## ● 更新日時表示

ミニLANインタフェースボード装着時のみ更新日時を電源投入後のオープニング画面に表示します。



更新日時

## 【補足説明】

- データ更新が未実施の場合、日時がー（ハイフン）で表示されます。  
表示例）UPDATE：-----年--月--日 --：--：--

## 注 意

- COMPACT FLASHカード上の差し替え、データの書き換え、ファイル、フォルダを作成した場合、正常にダウンロードができない可能性があります。また、電源投入時のミニLANインタフェースボード、LANケーブルの抜き差しにより正常にLAN接続できない可能性があります。
- LAN環境の通信状況により、正常にLAN接続できない可能性があります。
- 電源投入後から接続開始までLAN環境の通信状況により、10秒以上時間が掛かることがあります。
- ミニLANインタフェースボード設定項目の「ダウンロード先」に設定した（FTPサーバ上の）ディレクトリ内には、マスタファイル、更新日時設定ファイル以外のファイル、フォルダは置かないでください。正常にダウンロードできない可能性があります。ディレクトリには更新に必要なマスタファイル、更新日時ファイルのみとします。

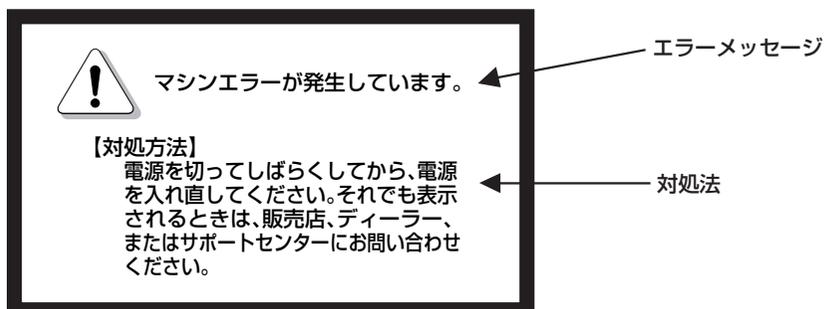
# あれ？どうしたのかな？

タッチパネルにエラーメッセージが表示されたとき、本機はエラー状態になります。こんなとき、どうしたらよいか説明します。また、本機の操作をしていてうまくいかなかったときはこの章をお読みください。

## ▲エラーメッセージがでたけれど



タッチパネルにエラーメッセージを表示したとき、プリンタはエラー状態になります。こんなときどうしたらよいか説明します。（対処方法も表示しています。）  
また、プリンタを操作していて、うまくいかなかったときもこの章をお読みください。



エラー名	エラーメッセージ	説明
マシンエラー	マシンエラーが発生しています。	原因：①プリンタ内部の異常です。 対策：①電源を切り、しばらくしてから電源を入れ直してください。 ：②それでも表示しているときは、販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 警告音：長音1回
設定情報エラー	設定情報エラーが発生しています。	原因：①プリンタの設定情報エラーです。 対策：①電源を切り、しばらくしてから電源を入れ直してください。 ：②それでも表示しているときは、販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 警告音：長音1回
印字範囲エラー	印字範囲エラー	<発行前に表示し、約2秒表示後、前の画面に戻ります。> 原因：①バーコード指定が印字範囲に入っていない。 対策：①レイアウトの登録画面で、バーコードのパラメータを調整してください。 警告音：短音1回

エラー名	エラーメッセージ	説明
パリティエラー	パリティエラーが発生しています。	原因：①RS-232Cの通信条件が合っていない。 ：②ケーブル接続異常。 対策：①プリンタとホストコンピュータの通信条件を確認してください。 ：②ケーブルの接続を確認してください。 警告音：短音3回
フレーミングエラー	フレーミングエラーが発生しています。	原因：①RS-232Cの通信条件が合っていない。 ：②ケーブル接続異常。 対策：①プリンタとホストコンピュータの通信条件を確認してください。 ：②ケーブルの接続を確認してください。 警告音：短音3回
オーバーランエラー	オーバーランエラーが発生しています。	原因：①RS-232Cの通信条件が合っていない。 ：②ケーブル接続異常。 対策：①プリンタとホストコンピュータの通信条件を確認してください。 ：②ケーブルの接続を確認してください。 警告音：短音3回
バッファオーバー	バッファオーバーが発生しています。	原因：①受信バッファを超えるデータを受信した場合。 ：②受信プロトコルが合っていない。 対策：①通信プロトコルに合うようにシステムを修正してください。 警告音：短音3回
プロトコルエラー	プロトコルエラーが発生しています。	原因：①プリンタとホストコンピュータの通信プロトコルが合っていない。 対策：①プリンタとホストコンピュータの通信プロトコルを確認してください。 警告音：短音3回
カバーオープン	カバーオープンの状態です。	原因：①オープンカバーがロックされていない。 ：②カバー開閉検知用のマイクロスイッチの異常。 対策：①オープンカバーをロックしてください。 ：②それでも表示しているときは、販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 警告音：短音3回

エラー名	エラーメッセージ	説明
ペーパーエンド	ペーパーエンドが発生しています。	原因：①用紙がありません。 ：②用紙が正しくセットされていない。 対策：①用紙を正しくセットしてください。 警告音：短音3回
リボンエンド	リボンエンドが発生しています。	原因：①リボンがありません。 ：②リボンが正しくセットされていない。 対策：①リボンを正しくセットしてください。 ：②リボン搬送ルートの清掃を行ってください。 警告音：短音3回
センサエラー	センサエラーが発生しています。	原因：①センサの種類が合っていない。 ：②用紙蛇行。 ：③ピッチセンサのレベルが合っていない。 対策：①用紙に合ったセンサを選択してください。 ：②用紙搬送ルートの清掃と調整を行ってください。 ：③それでも表示しているときは、販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 警告音：短音3回
カッタエラー	カッタエラーが発生しています。	原因：①カッタ部で用紙が詰まった場合。 対策：①用紙を取り除き、カッタ部の清掃を行い、再確認してください。 ：②それでも表示しているときは、販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 警告音：短音3回
巻き取りフル	巻き取りフルが発生しています。	原因：①ラベル台紙の巻き取りがフル状態の時。 ：②巻き取りフル検出用マイクロスイッチの異常。 対策：①巻き取った用紙または台紙を取り除いてください。 ：②それでも表示しているときは、販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 警告音：短音3回
ヘッドエラー	ヘッドエラーが発生しています。	原因：①ヘッドに異常があります。 対策：①販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 警告音：短音3回

エラー名	エラーメッセージ	説明
ヘッドチェック選択が印字領域指定のヘッドエラー	ヘッドエラー (ヘッドチェックの有効範囲をバーコードにして発行しますか。)	原因：①ヘッドに異常が発生した場合。 対策：① [ほい] にタッチするとヘッドチェック範囲をバーコードに選択し、発行を再開します。 ：② [いいえ] にタッチすると発行を中止します。そのときは、販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 警告音：短音 3 回 注意：ヘッドエラー発生後に発行したラベルについては、印字状態とバーコードの読み取り確認を行ってください。
ヘッドチェック選択がバーコード指定のヘッドエラー	ヘッドエラー (発行を継続する場合は、読み取り不良が発生する恐れがあります。発行を継続しますか。)	原因：①バーコード印字部でヘッドに異常が発生した場合。 対策：① [ほい] にタッチするとヘッドチェックを解除して発行を続けます。 ：② [いいえ] にタッチすると発行を中止します。そのときは、販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 警告音：短音 3 回 注意：ヘッドエラー発生後に発行したラベルについては、印字状態とバーコードの読み取り確認を行ってください。
カードエラー (リード/ライトエラー)	カードエラーが発生しています。	原因：①カードが装着されていません。 ：②登録されていない番号で呼び出しを行った時。 ：③コピー中にリード/ライトエラーが発生しました。 対策：①カードを確認してください。 ：②登録されているか確認してください。 ：③コピーファイルを確認してください。 警告音：短音 3 回
カードなし	カードありません。	原因：①カードが装着されていません。 対策：①カードを装着してください。 警告音：長音 1 回
カード空き容量不足	カード容量不足です。	原因：①カードの空き容量がありません。 対策：①カードの不要なデータを消してください。 警告音：短音 3 回
メモリ電池交換	メモリ電池の交換が必要です。	原因：①バックアップ用メモリの電池が消耗している時。 対策：①各種設定が消える場合があります。早めに販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 警告音：短音 3 回

エラー名	エラーメッセージ	説明
漢字ROM チェックエラー	漢字ROMチェック エラーです。	原因：①漢字ROMが搭載されている基板の異常です。 対策：①販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせ ください。 警告音：短音3回
カレンダー エラー	カレンダーエラーが 発生しています。	原因：①カレンダーの年・月・日・時・分の数値に異常が発生した場合。 ：②カレンダーにアクセスした日付けが、プリンタ本体に保存した 日付けより古い場合。 ：③バックアップ用メモリの電池が消耗しているとき。 対策：①カレンダー設定を行ってください。 ：②それでも表示しているときは、販売店、ディーラー、またはサポ ートセンターにお問い合わせください。 警告音：短音3回
価格入力値 エラー	価格入力値エラー	原因：①税抜・税込価格入力タイプを指定しているフィールドで入力値 の計算結果が指定桁数を超過している場合。 対策：①税抜・税込価格入力タイプを指定しているフィールドの入力値 を確認してください。 警告音：長音1回

### ▲あれ？メッセージが無いのにブザー音が…

オンライン発行でコマンド記述の誤り、または印字領域指定が誤っています。

対策：プログラムを見直してください。

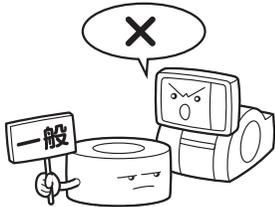
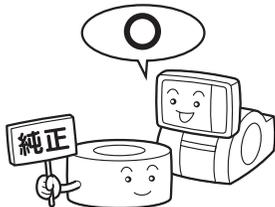
### ▲税率関連の設定確認メッセージが表示されたら…

プリンタ設定の税率設定に異常が発生しています。

対策：プリンタ設定における「税率」関連の設定を再設定してください。

- 税率関連の設定確認メッセージは、プリンタ設定の税率設定の再確認を促すものであり、電源投入時に前回の設定と現在の設定内容を比較し、相違チェックするものではありません。

## 印字位置がずれる

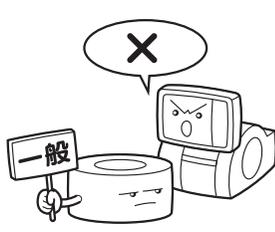
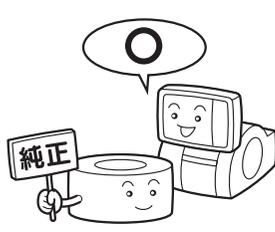
	【確認してください】	【直しかた】
1	用紙が正しくセットされていますか？	用紙をきちんと固定してください。 また、オープンカバーを開けて、用紙が正常な位置にあるようにセットし直してください。
2	プラテンローラが汚れていませんか？	プラテンローラが汚れていたら、添付のクリーニングセットで汚れをふき取ってください。
3	型くずれした用紙を使っていませんか？	用紙の周囲が型くずれしていると紙送りが正常にできません。新しい型くずれしていない用紙を使ってください。
4	本機専用の純正用紙を使っていませんか？ 	本機専用の純正用紙を必ず使ってください。 
5	用紙センサが汚れていませんか？	用紙センサが汚れていたら、添付のクリーニングセットで汚れをふき取ってください。「毎日のお手入れ」を参照してください。→28ページ
6	コンピュータから送られてくるデータ・信号の内容が誤っていませんか？	電源を入れ直してください。 それでもメッセージが表示されたら、コンピュータ側のソフトウェアの内容や通信条件の確認をしてください。
7	ピッチ補正（ボリューム）または、基点補正（ユーザーモード設定）の内容がおかしくありませんか？	ピッチ補正（ボリューム）または、基点補正（ユーザーモード設定）の内容を設定し直してください。



- 清掃は、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。

## きれいに印字しない

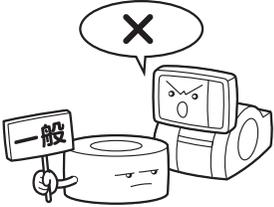
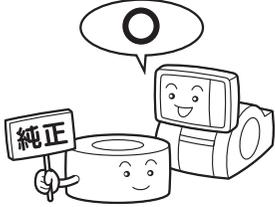


	【確認してください】	【直しかた】
1	用紙が正しくセットされていますか？	用紙がきちんと固定されているか調べてください。また、オープンカバーを開けて、用紙が正常な位置にあるか調べてください。
2	印字濃度が薄すぎたり、濃すぎたりしていませんか？	設定操作で印字濃度を設定し直してください。
3	プラテンローラが汚れていませんか？	プラテンローラが汚れていたら、添付のクリーニングセットで汚れをふき取ってください。
4	サーマルヘッドが汚れていたり、ラベルが貼りついていませんか？	サーマルヘッドが汚れていたら、添付のクリーニングセットで汚れをふき取ってください。ラベルが貼りついていたらはがしてください。 *金属物での除去は避けてください(サーマルヘッドを傷つける恐れがあります)。 このとき、ラベルののりがサーマルヘッドに付着していたら、添付のクリーニングセットでふき取ってください。
		
5	汚れた用紙を使っていませんか？	きれいな用紙を使ってください。
6	本機専用の純正用紙を使っていますか？	本機専用の純正用紙を必ず使ってください。
		



- 清掃は、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。

## 紙送りはするけど印字されない

	【確認してください】	【直しかた】
1	<p>サーマルヘッドが汚れていたり、ラベルが貼りついていませんか？</p>	<p>サーマルヘッドが汚れていたら、添付のクリーニングセットで汚れをふき取ってください。ラベルが貼りついていたらはがしてください。</p> <p>* 金属物での除去は避けてください(サーマルヘッドを傷つける恐れがあります)。</p> <p>このとき、ラベルののりがサーマルヘッドに付着していたら、添付の清掃用具でふき取ってください。</p> 
2	<p>本機専用の純正用紙を使っていますか？</p> 	<p>本機専用の純正用紙を必ず使ってください。</p> 
3	<p>用紙センサが汚れていませんか？</p>	<p>用紙センサが汚れていたら、添付のクリーニングセットで汚れをふき取ってください。「毎日のお手入れ」を参照してください。→28ページ</p>
4	<p>コンピュータから送られてくるデータ・信号の内容が誤っていませんか？</p>	<p>電源を入れ直してください。</p> <p>それでもメッセージが表示されたら、コンピュータ側のソフトウェアの内容や通信条件の確認をしてください。</p>



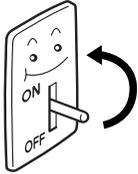
- 清掃は、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。

## ▲こんなときは？

本機の手操作をしてもうまくいかなかったときは、つぎのことを確認してみてください。

電源を入れてもディスプレイに何も表示されない。



	【確認してください】	【直しかた】
1	電源コンセントに、電源コードがしっかりと差し込まれていますか？	電源コードを、コンセントにしっかりと差し込み直します。
2	本機に、電源コードがしっかりと差し込まれていますか？	電源コードを、本体の電源コネクタにしっかりと差し込み直します。
3	電源コードがいたんでいませんか？	電源コードを取り替えてください。 新しい電源コードは、本機を購入された販売店・ディーラーで必ず本機専用の電源コードをお求めください。本機専用の電源コード以外は絶対に使用しないでください。
4	本機の電源を取っている電源コンセントに電気がきていますか？	電源コンセントのもと電源を調べてください。もと電源に問題がないときは、建物全体に電気がきているか調べてください。停電の可能性も調べてください。 
5	建物の電源ヒューズやブレーカーが切れていませんか？	建物の電源ヒューズを取り替え、ブレーカーを電源オンの位置に直してください。
6	照度調整ボリュームが正しい位置になっていますか？	照度調整ボリュームをスライドさせて、調整してください。

### 注意

- 濡れた手で電源スイッチの操作やヒューズの交換、電源コードの抜き差しをしないでください。感電する恐れがあります。

# 単語テーブルデータ一覧表

## 添加物テーブル

### 1 あ行

あ

テーブル番号	テーブルデータ
1	亜鉛塩類
2	亜塩素酸ナトリウム
3	アジピン酸
4	亜硝酸Na
5	アスコルビン酸
6	アスパラギン酸Na
7	アスパルテーム
8	アセチルリシノール酸メチル
9	アセト酢酸エチル
10	アセトフェノン
11	アセトン
12	アナトー
13	アナトー色素
14	アニスアルデヒド
15	甘草
16	甘茶
17	アラニン
18	亜硫酸塩
19	亜硫酸K
20	アルギニングルタミン酸塩
21	アルギン酸エステル
22	アルギン酸Na
23	アルコール
24	アントラニル酸メチル
25	安息香酸
26	安息香酸Na
27	安定剤
28	アンモニア
29	アンモニウムミョウバン

い

テーブル番号	テーブルデータ
30	イーストフード
31	イーストフード (塩化アンモニウム)
32	イーストフード (V. C)
33	イオノン
34	イオン交換樹脂
35	異性化液糖
36	イソオイゲノール
37	イソ吉草酸イソアミル
38	イソ吉草酸エチル
39	イソチオシアネート類
40	イソロイシン
41	イノシン酸Na
42	イマザリル
43	インドール及びその誘導体

う

テーブル番号	テーブルデータ
44	ウリジル酸Na
45	ウンデカラクトン

え

テーブル番号	テーブルデータ
46	エーテル類
47	エステルガム
48	エステル類
49	エチルアルコール
50	エチルバニリン
51	エチルパラベン
52	エリソルビン酸
53	エリソルビン酸Na
54	塩化アンモニウム
55	塩化K
56	塩化Ca
57	塩化鉄
58	塩化Mg
59	塩酸

お

テーブル番号	テーブルデータ
60	オイゲノール
61	オキシエチレン高級脂肪族アルコール
62	オクタナール
63	オクタン酸エチル
64	オレイン酸Na

### 2 か行

か

テーブル番号	テーブルデータ
65	核酸系調味料
66	過酸化水素
67	過酸化ベンゾイル
68	果実色素
69	カセイソーダ
70	カセイソーダ (結晶)
71	カゼインNa
72	カフェイン
73	ガムベース
74	からし
75	カラメル色素
76	ガラクトオリゴ糖
77	過硫酸アンモニウム
78	カルシフェロール
79	カロチノイド色素
80	カロチン
81	カロチン色素
82	かんすい
83	甘味料
84	甘味料 (甘草)
85	甘味料 (サッカリンNa)
86	甘味料 (サッカリンNa, 甘草)
87	甘味料 (ステビア)
88	甘味料 (ステビア, 甘草)

き

テーブル番号	テーブルデータ
89	ギ酸イソアミル
90	ギ酸ガラニル
91	ギ酸シトロネソル
92	キサントラン
93	揮発ガイシ油
94	起泡剤
95	牛肉エキス
96	凝固剤

く

テーブル番号	テーブルデータ
97	グアニル酸Na
98	クエン酸
99	クエン酸アンモニウム
100	クエン酸エステル
101	クエン酸K
102	クエン酸Ca
103	クエン酸Na
104	クエン酸鉄
105	クエン酸鉄Na
106	クリーンソルト
107	グリシン
108	グリセリン
109	グリセリンエステル
110	グリセロリン酸カルシウム
111	グリチルリチン酸Na
112	グルコノラクトン
113	グルコン酸
114	グルコン酸Ca
115	グルコン酸鉄
116	グルタミン酸
117	グルタミン酸K
118	グルタミン酸ソーダ
119	グルタミン酸Na
120	グルタミン酸Mg
121	グルテン
122	クロレラ色素
123	くん液

け

テーブル番号	テーブルデータ
124	ケイ皮アルコール
125	ケイ皮アルデヒド
126	ケイ皮酸
127	ケイ皮酸エチル
128	ケイ皮酸メチル
129	結着保強剤
130	ケトン類
131	ゲラニオール
132	ゲル化剤
133	ゲル化剤（増粘多糖類）
134	ゲル化剤（ペクチン）

こ

テーブル番号	テーブルデータ
135	こうじ酸
136	香辛料
137	合成甘味料

テーブル番号	テーブルデータ
138	合成香料
139	合成着色料
140	合成保存料
141	酵素
142	光沢剤
143	高度サラシ粉
144	香料
145	コハク酸
146	コハク酸Na
147	胡麻油
148	糊料
149	糊料（増粘多糖類）
150	コリン
151	コンドロイチン硫酸Na

3 さ行

さ

テーブル番号	テーブルデータ
152	酢酸
153	酢酸イソアミル
154	酢酸エチル
155	酢酸イーメンチル
156	酢酸ガラニル
157	酢酸シクロヘキシル
158	酢酸シナミル
159	酢酸テルビニル
160	酢酸Na
161	酢酸ビニル樹脂
162	酢酸フェネチル
163	酢酸ブチル
164	酢酸ベンジル
165	酢酸リナリル
166	酒粕
167	サッカリン
168	サッカリンNa
169	砂糖
170	サラシ粉
171	サラダ油
172	サリチル酸メチル
173	酸化チタン
174	酸化鉄
175	酸化防止剤
176	酸化防止剤（エリソルビン酸）
177	酸化防止剤（VC）
178	酸化防止剤（ビタミンE）
179	酸化防止剤（BHA, BHT）
180	酸味料
181	酸味料（クエン酸等）
182	酸化マグネシウム

し

テーブル番号	テーブルデータ
183	次亜塩素酸
184	次亜塩素酸Na
185	シクロヘキシルプロピオン酸アリル
186	システイン
187	紫蘇色素

し

テーブル番号	テーブルデータ
188	シチジル酸Na
189	シトラール
190	シトロネラール
191	シトロネロール
192	シナモン
193	脂肪酸類
194	脂肪族高級アルコール類
195	脂肪族高級アルデヒド類
196	脂肪族高級炭化水素類
197	シュウ酸
198	重曹
199	臭素酸K
200	重炭酸Na
201	酒精
202	酒石酸
203	酒石酸K
204	酒石酸Na
205	硝酸K
206	硝酸Na
207	しょうゆ
208	食塩
209	植物油
210	植物蛋白
211	植物油脂
212	食油
213	食用調合油
214	ショ糖エステル
215	シリカゲル
216	シリコーン

す

テーブル番号	テーブルデータ
217	酢
218	水酸化Ca
219	ステアリル乳酸Ca
220	ステビア
221	ステビオサイド
222	ステロール

せ

テーブル番号	テーブルデータ
223	セルロース
224	ゼラチン

そ

テーブル番号	テーブルデータ
225	増粘剤
226	増粘剤(カラギナン)
227	増粘剤(キサンタンガム)
228	増粘多糖類
229	ソルビタンエステル
230	ソルビット
231	ソルビトール
232	ソルビン酸
233	ソルビン酸K
234	ソルボース

4 た行

た

テーブル番号	テーブルデータ
235	脱脂粉乳
236	タマリンド色素
237	炭酸
238	炭酸アンモニウム
239	炭酸K
240	炭酸Ca
241	炭酸Na
242	炭酸Mg

ち

テーブル番号	テーブルデータ
243	チアミン
244	チオエーテル類
245	チオール類
246	着色料
247	着色料(青1)
248	着色料(青1, 黄4)
249	着色料(青1, 黄4, 赤3)
250	着色料(青1, 銅クロロフィリン酸Na)
251	銅葉緑素
252	着色料(青2)
253	着色料(青色1号)
254	着色料(青色2号)
255	着色料(赤102)
256	着色料(赤102, 赤105, 赤106)
257	黄4, 黄5
258	着色料(赤102, 赤106, 黄4, 黄5)
259	着色料(赤102, 赤106, 黄4, 黄5)
260	銅葉緑素, カロチノイド
261	着色料(赤102, アナトー, 銅葉緑素)
262	紅麴
263	着色料(赤102, 黄5, 銅葉緑素)
264	着色料(赤102, 黄5, 銅葉緑素)
265	カロチノイド
266	着色料(赤104)
267	着色料(赤105)
268	着色料(赤106)
269	着色料(赤106, 紅麴, パプリカ)
270	着色料(赤2)
271	着色料(赤3)
272	着色料(赤3, 青1)
273	着色料(赤3, 青3)
274	着色料(赤3, 青3, 黄3)
275	着色料(赤3, 赤102, 赤106)
276	着色料(赤3, 赤106)
277	着色料(赤3, 赤106, 黄4)
278	着色料(赤3, 赤106, 黄4, 青1)
279	着色料(赤色102号)
280	着色料(赤色104号)
281	着色料(赤色105号)
282	着色料(赤色106号)
283	着色料(赤色2号)
284	着色料(赤色3号)
285	着色料(アナトー)
286	着色料(アナトー, 赤102, 赤106)
287	黄4, 黄5

## ち

テーブル番号	テーブルデータ
288	着色料 (アナトー, 赤3, 赤102)
289	着色料 (アンカレット)
290	着色料 (カラメル)
291	着色料 (カラメル, 黄5)
292	着色料 (カラメル, 紅麴, カロチン)
293	着色料 (カルミン, 赤102, 黄4)
294	着色料 (カロチノイド)
295	着色料 (カロチン)
296	着色料 (カロチン, 紅花黄)
297	着色料 (黄4)
298	着色料 (黄5)
299	着色料 (黄色4号)
300	着色料 (黄色5号)
301	着色料 (クチナシ)
302	着色料 (くちなし色素, 紅麴色素)
303	着色料 (コチニール, 赤3, 黄5)
304	着色料 (銅クロロフィルN a)
305	くちなし色素)
306	着色料 (銅葉緑素)
307	着色料 (銅葉緑素, アナトー)
308	着色料 (銅葉緑素, アナトー, 黄4, 青1)
309	着色料 (パプリカ)
310	着色料 (パプリカ, カロチノイド)
311	着色料 (パプリカ, クチナシ)
312	着色料 (ビタミンB2)
313	着色料 ( $\beta$ -カロチン)
314	着色料 (V. B2)
315	着色料 (V. B2, カロチン)
316	着色料 (紅麴)
317	着色料 (紅麴, 赤3, 赤102)
318	着色料 (紅麴, アナトー)
319	着色料 (紅麴, アナトー, パプリカ)
320	銅葉緑素)
321	着色料 (紅麴, 銅葉緑素)
322	着色料 (紅麴, パプリカ, 赤102)
323	赤106, 黄4, 黄5)
324	着色料 (抹茶)
325	着色料 (緑3)
326	着色料 (緑色3号)
327	着色料 (モナスカス色素)
328	着色料 (ラック, カロチノイド, 紅花)
329	紅麴)
330	調味料
331	調味料 (アミノ酸)
332	調味料 (アミノ酸等)
333	調味料 (アミノ酸, 核酸等)
334	調味料 (核酸)
335	調味料 (無機塩)
336	調味料 (有機塩)

## て

テーブル番号	テーブルデータ
337	テアミン
338	デカナル
339	デカノール
340	デカン酸エチル
341	鉄葉緑素
342	デヒドロ酢酸

テーブル番号	テーブルデータ
343	デヒドロ酢酸N a
344	テルピネオール
345	テルペン系炭化水素類
346	澱粉
347	デンブングリコール酸N a
348	デンブリン酸N a

## と

テーブル番号	テーブルデータ
349	唐辛子
350	銅塩類
351	豆腐用凝固剤
352	銅葉緑素
353	トコフェロール
354	トリプトファン
355	トレオニン

## 5 な行

## な

テーブル番号	テーブルデータ
356	ナイアシン
357	ナトリウムメトキシド
358	軟化剤

## に

テーブル番号	テーブルデータ
359	苦味料
360	ニコチン酸
361	二酸化塩素
362	乳化剤
363	乳酸
364	乳酸C a
365	乳酸鉄
366	乳酸N a

## の

テーブル番号	テーブルデータ
367	ノナラクトン

## 6 は行

## は

テーブル番号	テーブルデータ
368	発色剤
369	発色剤 (亜硝酸N a)
370	発酵調味料
371	バニリン
372	パラオキシ安息香酸
373	パラメチルアセトフェノン
374	バリン
375	パントテン酸C a
376	パントテン酸N a

## ひ

テーブル番号	テーブルデータ
377	ヒスチジン
378	ビタミンA

## ひ

テーブル番号	テーブルデータ
379	ビタミンB1
380	ビタミンB2
381	ビタミンB6
382	ビタミンC
383	ビタミンD
384	ビタミンE
385	ビタミンP
386	ビスベンチアミン
387	ヒドロキシシトロネラル
388	ピペロナル
389	ヒペロニルプトキシド
390	漂白剤
391	漂白剤 (次亜硫酸Na)
392	漂白剤 (二酸化イオウ)
393	ピリドキシン
394	ピロリン酸K
395	ピロリン酸Ca
396	ピロリン酸鉄
397	ピロリン酸Na

## ふ

テーブル番号	テーブルデータ
398	フェニルアラニン
399	フェニル酢酸イソアミル
400	フェニル酢酸イソブチル
401	フェニル酢酸エチル
402	フェノールエーテル類
403	フェノール類
404	ふくらし粉
405	豚脂肪
406	ブチルパラベン
407	ブドウ糖
408	ぶどう糖果糖液糖
409	フマル酸
410	フマル酸Na
411	フラボノイド
412	フルフラール及びその誘導体
413	プロタミン
414	プロピオン酸
415	プロピオン酸イソアミル
416	プロピオン酸エチル
417	プロピオン酸Ca
418	プロピオン酸Na
419	プロピオン酸ベンジル
420	プロピルパラベン
421	プロピレングリコール
422	プロピレングリコールエステル
423	粉末醤油

## へ

テーブル番号	テーブルデータ
424	ベーキングパウダー
425	ヘキサ酸
426	ヘキサ酸アリル
427	ヘキサ酸エチル
428	ヘプタン酸エチル
429	紅麹色素
430	ベンジルアルコール

テーブル番号	テーブルデータ
431	ベンズアルデヒド

## ほ

テーブル番号	テーブルデータ
432	芳香族アルコール類
433	芳香族アルデヒド類
434	膨張剤
435	膨脹剤
436	防かび剤
437	防ばい剤
438	保存料
439	保存料 (ソルビン酸K)
440	保存料 (無添加)
441	没食子酸
442	ポリアクリル酸Na
443	ポリイソブチレン
444	ポリオキシエチレン高級脂肪族アルコール
445	ポリブテン
446	ポリリン酸K
447	ポリリン酸Na

## 7 ま行

## ま

テーブル番号	テーブルデータ
448	マヨネーズ
449	マントール
450	マンニト

## み

テーブル番号	テーブルデータ
451	水飴
452	味噌
453	ミョウバン
454	味醂

## む

テーブル番号	テーブルデータ
455	無水酢酸ナトリウム

## め

テーブル番号	テーブルデータ
456	メタリン酸K
457	メタリン酸Na
458	メチオニン
459	メチルセルロース
460	メチルβ-ナフチルケトン
461	メントール

## も

テーブル番号	テーブルデータ
462	モルホリン

## 8 や行

## ゆ

テーブル番号	テーブルデータ
463	ユーカリプトル

よ

テーブル番号	テーブルデータ
464	葉酸

## 9 行

ら

テーブル番号	テーブルデータ
465	酪酸
466	酪酸イソアミル
467	酪酸エチル
468	酪酸シクロヘキシル
469	酪酸ブチル
470	ラクトン類

り

テーブル番号	テーブルデータ
471	リジン
472	リナロール
473	リボヌクレオチドC a
474	リボヌクレオチドN a
475	リボフラビン
476	硫酸
477	硫酸アンモニウム
478	硫酸C a
479	硫酸鉄
480	硫酸N a
481	硫酸M g
482	リンゴ酸
483	リンゴ酸N a
484	リン酸
485	リン酸アンモニウム
486	リン酸塩 (N a)
487	リン酸K
488	リン酸C a
489	リン酸N a
490	リン酸 (N a, K)

れ

テーブル番号	テーブルデータ
491	レシチン
492	レチノール

## 10 その他

アルファベット

テーブル番号	テーブルデータ
493	BHA
494	BHT
495	BP
496	CMC
497	CMC-C a
498	DP
499	EDTA-C a-N a
500	EDTA-N a
501	l-ペリラルデヒド
502	N-メチルアントラニル酸メチル
503	OPP
504	pH調整剤
505	TBZ

テーブル番号	テーブルデータ
506	V. A
507	V. B1
508	V. B2
509	V. B6
510	V. C
511	V. D
512	V. E
513	V. P
514	α-アミルシンナムアルデヒド
515	α-ボルネオール

注記

テーブル番号	テーブルデータ
516	原材料
517	原材料名:
518	原材料は別途記載
519	原材料は裏面に記載
520	添加物
521	食品添加物
522	食品添加物は使用していません
523	使用
524	等使用

アレルギー

テーブル番号	テーブルデータ
525	あわび
526	あわび由来
527	いか
528	いか由来
529	いくら
530	いくら由来
531	えび
532	えび由来
533	オレンジ
534	オレンジ由来
535	かに
536	かに由来
537	キウイフルーツ
538	キウイフルーツ由来
539	牛肉
540	牛肉由来
541	牛乳
542	牛乳由来
543	くるみ
544	くるみ由来
545	鶏肉
546	鶏肉由来
547	原材料の一部を含む)
548	小麦
549	小麦由来
550	さけ
551	さけ由来
552	そば
553	そば由来
554	大豆
555	大豆由来
556	卵
557	卵由来

アレルギー

テーブル番号	テーブルデータ
558	チーズ
559	チーズ由来
560	ピーナッツ
561	ピーナッツ由来
562	豚肉
563	豚肉由来
564	まつたけ
565	まつたけ由来

テーブル番号	テーブルデータ
566	もも
567	もも由来
568	やまいも
569	やまいも由来
570	由来
571	りんご
572	りんご由来

## 単位テーブル

テーブル番号	テーブルデータ
1	g
2	k g
3	c c
4	m l

テーブル番号	テーブルデータ
5	l
6	個
7	枚
8	本

## 項目テーブル

テーブル番号	テーブルデータ
1	見出し
2	品名
3	名称
4	原材料名
5	添加物名
6	消費期限
7	賞味期限
8	品質保持期限
9	製造年月日
10	製造日
11	加工日
12	解凍日
13	陳列日
14	製造時間
15	時間
16	時刻
17	保存方法
18	使用上の注意
19	調理方法
20	価格
21	価格 (円)
22	単価
23	内容量
24	量目
25	NET

テーブル番号	テーブルデータ
26	100g当り
27	住所
28	製造元
29	販売者
30	販売元
31	加工元
32	加工者
33	輸入者
34	輸入元
35	代表者名
36	TEL
37	電話番号
38	所在地
39	製造者
40	原産地名
41	原料原産地名
42	アレルギー
43	栄養表示
44	税込価格
45	税抜価格
46	本体価格
47	消費税
48	呼び出し番号
49	プリセット

# 基本仕様

モデル名	TASSHA (FR410)	
印字方式	熱転写または感熱方式	
ヘッド密度	12ドット/mm	
印字速度	最大10インチ/秒 (約250mm/秒) 注) 但し、印字レイアウト用紙、カーボンリボンの種類によっては変更が必要になる場合があります。	
印字有効範囲	標準 : 幅104mm×ピッチ200mm	
用紙	当社製純正用紙を必ずお使いください。	
紙厚	0.08mm~0.25mm 但しカット仕様は0.08mm~0.19mm	
ラベル サイズ (台紙及び 厚紙サイズ)	連続	幅 : 25~115mm (28~118mm) ピッチ : 15~203mm (18~206mm)
	ティアオフ	幅 : 25~115mm (28~118mm) ピッチ : 25~203mm (28~206mm)
	ハクリ	幅 : 25~115mm (28~118mm) ピッチ : 25~120mm (28~123mm)
	カット	幅 : 25~115mm (28~118mm) ピッチ : 25~203mm (28~206mm)
	ノンセパ	幅 : 25~115mm (28~118mm) ピッチ : 25~130mm (28~133mm)
用紙形態	ロール紙 : 最大外径135mm (75m巻き)、40mm紙管使用 但しコアレスラベルは最大外径130mm (75m巻き) ファンフォールド紙 : 最大折り畳み高さ 180mm (本体外部より供給)	
カーボンリボン 幅 長さ 最大外径 色 巻方向	当社指定カーボンリボンを必ず使用してください。 45、59、76、92、111mm カーボンリボン幅は、ご使用になる用紙より広い幅をご使用ください。 100m/巻 39mm 黒 (標準) 表巻き	
ラベル発行	連続、ティアオフ、ハクリ、カット、ノンセパ	
外部インタフェース	RS-232C (9ピン)、PS/2 インタフェースボード ○パラレル (IEEE1284) ○RS-232C (25ピン) ・READY/BUSY ・XON/XOFF ・ステータス2/3 ・ドライバ専用プロトコル ○USB (Ver2.0) ○LAN2 (10BASE-T/100BASE-TX自動切替え) ○無線LAN2 (LAN : 10BASE-T/100BASE-TX自動切替え、 無線LAN : IEEE802.11b/g) ○ミニLAN (10BASE-T/100BASE-TX自動切替え) ○外部信号 (EXT) インタフェース (14ピン)	
メモリカード	PCMCIA COMPACT FLASHカード (64Mbyte標準)	
本体メモリ	コイン型リチウム電池 (5年)	
寸法	W250mm×D355mm×H355mm (標準)	
重量	10Kg (標準)	
電源	入力電圧 : 電圧 AC 100V±10% 50-60Hz 消費電力 : 最大 125VA 120W (待機時 36VA 34W)、印字率 30%	

モデル名		TASSHA (FR410)		
環境条件		動作周囲条件 0~40℃ 湿度 20~80% 但し、結露無きこと 保存周囲条件 -5~60℃ 湿度 20~80% 但し、結露無きこと 用紙、カーボンリボンは除く		
操作パネル		シートキー：「00」、「0」～「9」、「.」、「取消」、「実行」、「記憶」、「メニュー」、「紙送り」、「発行/停止」、「F1」、「F2」 LCD      : 7.2インチSTNカラー液晶ディスプレイ（バックライト付き） LED      : POWER、ERROR		
調整用ボリューム		VR1：印字濃度調整用 VR2：カット、ハクリ、ティアオフ停止位置調整用 VR4：ギャップセンサレベル調整用 VR5：アイマークセンサレベル調整用 照度調整用ボリューム		
センサ		用紙センサ、反射型、透過型		
フォント	ビットマップフォント	X20	5×9ドット (英数・記号・カナ)	
		X21	17×17ドット (英数・記号・カナ)	
		X22	24×24ドット (英数・記号・カナ)	
		X23	48×48ドット (英数・記号・カナ)	
		X24	48×48ドット (英数・記号・カナ)	
		OCR-B	30×36ドット (英数・記号)	
フォント	ビットマップフォント	X1	30×75ドット (英数・記号・カナ)	
		X2	12×30ドット (英数・記号・カナ)	
		X3	20×32ドット (英数・記号・カナ)	
		WB	18×30ドット (英数・記号・カナ)	
		WL	28×52ドット (英数・記号・カナ)	
		X80	42×42ドット (数字・¥・～・円)	
	漢字ビットマップフォント	漢字	16×16ドット	第1、第2水準 明朝体、ゴシック体
			24×24ドット	第1、第2水準 明朝体、ゴシック体
			22×22ドット	第1、第2水準 明朝体、ゴシック体
			32×32ドット	第1、第2水準 明朝体、ゴシック体
			40×40ドット	第1、第2水準 明朝体、ゴシック体
		X81	48×48ドット	(数字・¥・～・円)
		X82	59×59ドット	(数字・¥・～・円)
		X83	59×59ドット	(数字・¥・～・円)
		X84	59×59ドット	(数字・¥・～・円)
X85	59×59ドット	(数字・¥・～・円)		
X86	65×65ドット	(数字・¥・～・円)		
X87	89×89ドット	(数字・¥・～・円)		
X88	118×118ドット	(数字・¥・～・円)		
X89	296×296ドット	(数字・¥・～・円)		
CGフォント		CGTimes、CGTriumvirate、HG明朝、HGゴシック		
バーコード標準	1次元コード	UPC-A/E、EAN8/13、JAN8/13 NW-7 INTERLEAVED 2 of 5 (ITF) INDUSTRIAL 2 of 5 MATRIX 2 of 5 Code39、Code93、Code128 UCC/EAN-128 カスタマバーコード RSS-14		
	2次元コード	QRコードモデル2、マイクロQR (Ver8.1) PDF417 (Ver2.4 マイクロPDFを含む) MAXIコード (Ver3.0) データマトリックスECC200 (Ver2.0) 合成シンボル (UPC-A/E、EAN8/13、JAN8/13、CODE39、CODE128 RSS-14によるCC-A/B/C対応)		
倍率		縦1~12倍、横1~12倍 (文字) 1~12L (バーコード)		

モデル名	TASSHA (FR410)
回転	文字：0°、90°、180°、270° バーコード：パラレル1、シリアル1、パラレル2、シリアル2
自己診断機能	ヘッドチェック/カバーオープン/ペーパーエンド/リボンエンド/リボンカセットチェック/ 巻取フル/漢字ROMチェック/カレンダーチェック/テスト印字
バーコード比率	1：2、2：5、1：3、任意指定
ユーザーモード	1、印字濃度の微調整、2、印字位置の微調整、3、ヘッドチェック範囲指定
防虫対策方法	接触型害虫忌避加工
防水保護等級	1（防滴型） JIS C 0920—1993
ノイズ規格	放射ノイズ：VCCI クラスA
オプション	リボンユニット、カッタユニット、ノンセパユニット、内部巻取り装置、外部供給装置、 外部巻取装置、バーコードスキャナ、フルキーボード、EXTコネクタ（外部信号） インタフェースボード（RS-232C、USB、パラレル（IEEE1284）、 LAN2（10BASE-T/100BASE-TX）、 無線LAN2（LAN：10BASE-T/100BASE-TX、 無線LAN：IEEE802.11b/g）、 ミニLAN（10BASE-T/100BASE-TX））



# アフターフォローについて

サトーでは、お買い上げいただきましたサトーのシステム機器を、安心してご使用いただくために、保守サービス業務を行っております。

保守サービス業務について、ご説明します。

## サービスの種類一覧表

	交換部品	技術料	出向費
保証期間内サービス	保証規定に基づき無償	保証規定に基づき無償	保証規定に基づき無償
保守契約サービス	契約料金に含まれます	契約料金に含まれます	契約料金に含まれます
スポットサービス	そのつど有償	そのつど有償	そのつど有償

標準仕様機器の補修部品の保有は、当該機器の販売終了後より5年間とさせていただきます。

(機器の販売終了につきましては、弊社のホームページ<http://www.sato.co.jp>でご確認ください。)

## 保守サービスの内容一覧表

出向保守	オンサイト保守	故障が発生した場合、お客様のご要望により技術員を派遣し、故障の修復にあたります。
持ち込み保守	センドバック保守	故障が発生した場合は用紙を同梱した状態で、機器・故障ユニットを最寄りのサポートセンター・販売店へ、お客様により持ち込んで（運送して）いただいて、故障の修復にあたります。運送費はお客様負担となります。

## 保守サービスの説明

### 保証期間の保守サービス

製品は1台ごとに検査し、お届けしていますが、安心してご使用いただくため、正常な使用のもとでの故障については、納入日より6ヵ月間を保証期間として無償修理を行っております。

機種により保証条件が異なることがありますので、くわしくは保証書をご覧ください。

## 保守契約サービス

保証期間が過ぎましても、安心してご使用いただくために「保守契約サービス」があります。

### フルメンテナンスサービス

#### 1. 目的

お客様とサトーが保守契約し、契約期間中の正常なご使用のもとでの修理故障は、この契約に基づき実施いたします。技術料、および修理に使用した交換部品は、保守契約により充当されます。したがって、お客様にとりましては1年間一定の保守料で安心してご使用いただくことができます。

#### 2. 保守契約料

保守契約料は、機器ごとにご使用状況別に年間の契約料をお見積りいたします。

### 保守契約サービスの期間

フルメンテナンスサービスは1ヵ年単位で契約し、解約のお申し出がない限り、4年間まで継続して契約することができます。4年をこえる保守契約サービスについては、別基準にしたがい個々にお見積りいたします。

### 保守契約の対象地域について

保守契約の対象地域に、サトー本社、支店、営業所、サポートセンターの所在地より半径80km以内といたします。対象地域外の場合は、遠隔地料を含む保守契約料により保守契約を申し受けます。なお離島の場合は、交通費を含む保守契約料により保守契約を申し受けます。

## スポットサービス

保守契約を申し受けていない場合、保証期間終了後、すべてスポットサービスを実施いたします。故障時には、保守契約のお客様を優先して対応させていただきますので、修理に時間がかかる場合がございますが、ご了承ください。

スポットサービスを実施した場合、サービス料金表に基づき、保守料を請求させていただきます。そのつどお支払いいただきますよう、お願いいたします。

### 銀行預金口座振込

お支払いには、振込手続が不要で便利な「銀行預金口座振込システム」のご利用をお勧めいたします。

### 登録データについて

修理を依頼される場合は、機械又はカード等に登録された各種データ・ソフト（フォーマット・プリセットデータ・印字ソフト等々）は、修復作業時に壊れる場合があります。（登録された各種データ・ソフトの保証は出来ません）

特に預かり・持込み保守におきましては、お客様で予め別途保存されることをお勧めします。修理の完了した機械の受け取り時に登録データの確認または再登録をお願いいたします。

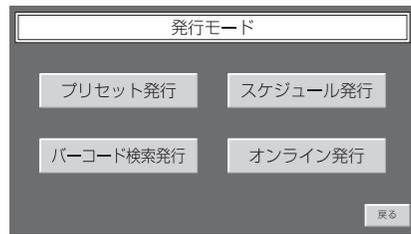


# 早見表 【発行のしかた】

設定した印字データを発行します。



発行モード



1 設定したマスタデータを発行します。

→ プリセット発行

2 設定した異なる複数のマスタデータを連続して発行します。

→ スケジュール発行

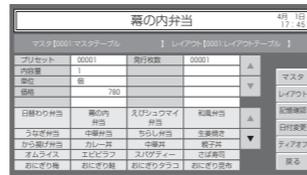
3 スキャナで読み取ったバーコードより設定したマスタデータを呼び出し、発行します。

→ バーコード検索発行

4 ホストコンピュータよりマスタを受信して、発行します。

→ オンライン発行

## 1.プリセット発行



品名キー

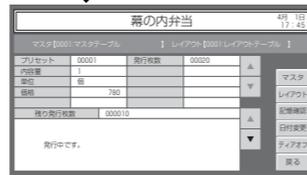


発行/停止

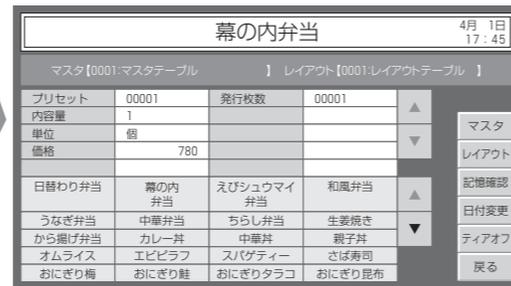


発行中

発行/停止



停止中



プリセット発行

マスタ



マスタテーブル  
選択

レイアウト



レイアウト  
選択

記憶確認



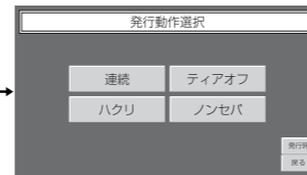
記憶確認  
一覧

日付



日付一時  
変更

ティアオフ



発行動作  
選択

## 2.スケジュール発行



スケジュール発行

## 3.バーコード検索発行



バーコード検索発行

## 4.オンライン発行



オンライン発行